

UFO・超能力・宇宙哲学

# UFO contactee

SINCE 1961  
GAP-JAPAN NEWSLETTER



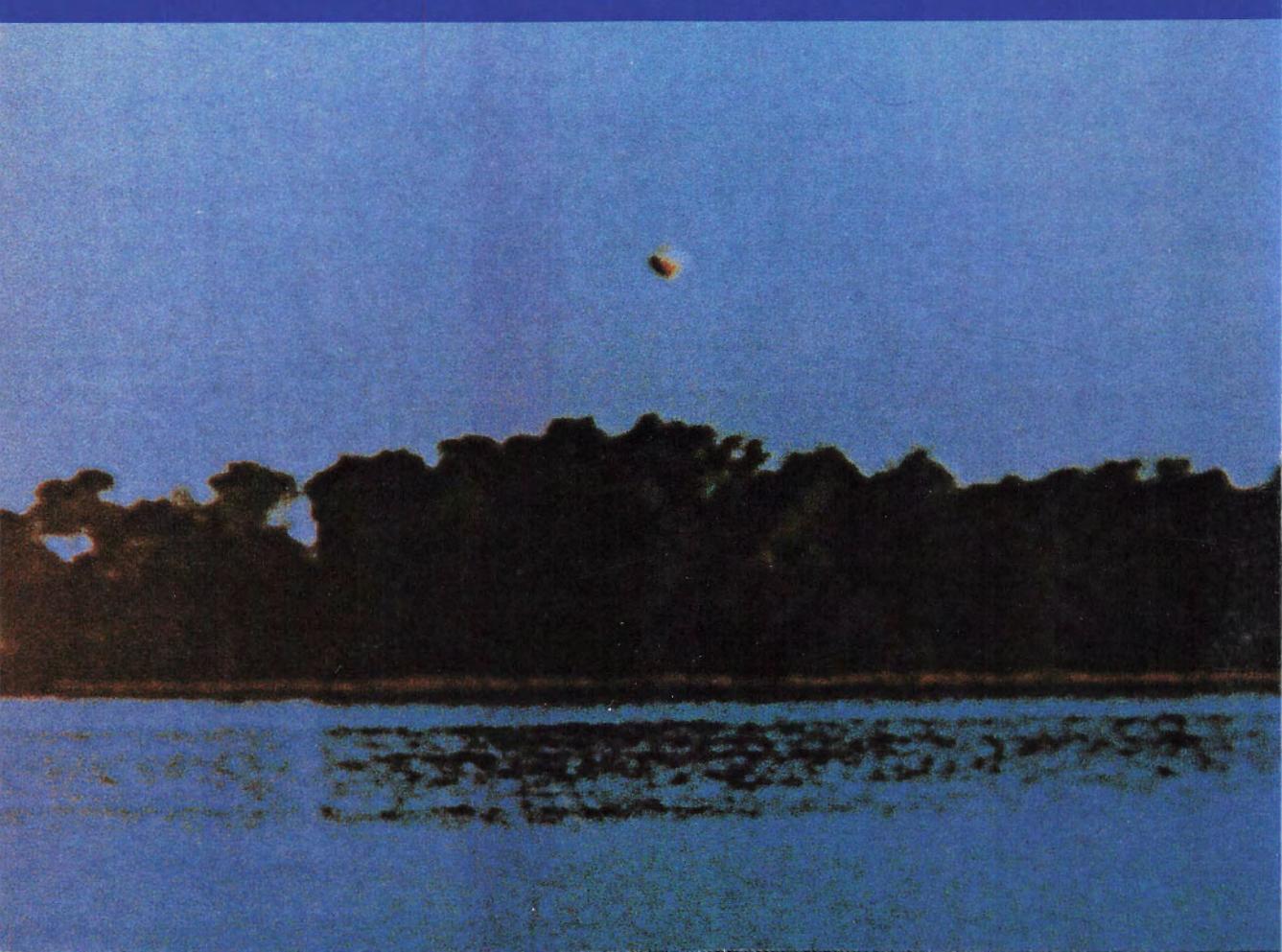
UFO・ESP・Cosmic Philosophy  
コンタクティー

SPRING  
1996

132

## 別な惑星の文明と創造性

イエスの時代を透視する  
奇跡を起こすイメージ療法  
宇宙船の形態に関する一考察  
アダムスキーの思い出と彼の宇宙哲学



## CONTENTS &lt;Dedicated to Space Brothers and Cosmic Consciousness&gt;

〈巻頭言〉 科学と人間	1
<b>別な惑星の文明と創造性</b>	秋山 真人 2
<b>イエスの時代を透視する</b>	遠藤 昭則 18
科学—SCIENCE	30
GAP短信	32
奇跡を起こすイメージ療法	原 永倉 33
宇宙船の形態に関する一考察	遠藤 昭則 34
<b>アダムスキーの思い出と彼の宇宙哲学</b>	アリス・ボマロイ 36
UFO contactee バックナンバー主要記事	44
好評、名古屋市の講演	46
東京造形大学で講演	47
〈投稿欄〉ユーコン広場	48
〈広告〉新アダムスキー全集	50
編集後記	51
日本GAP全国月例セミナー案内	52



金星人からジョージ・アダムスキーに伝えられた金星のシンボルマーク。2個の四角の内、左側は宇宙の父性原理(陽)、右側は母性原理(陰)を意味する。円は宇宙をあらわしている。

**GAPについて**

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コズミック・パワー”的子であり、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもつてること」がありました。この諸法則は他の世界（惑星）から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”的研究と理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・プラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることがあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米・他の大国政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト（接触）しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・プラザーズとコンタクトしている人々が少数存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

## 〈表紙写真〉

1966年5月8日午後1時半頃、ブラジルの首都ブラジリアの南のイバマリで、ジェームズ・ファイアード氏が撮影したUFO。物体は長時間静止した後に急上昇した。

**日本GAPへはいりませんか**

- 日本GAPはわが国最大のUFOと宇宙哲学の研究団体です。会員は約1700名、世界でもトップクラスの研究集団として、世界の多くの研究団体や個人研究家と交流を保っています。
- 東京本部と地方の17支部は毎月、月例セミナーを開催し、UFO問題や宇宙哲学の研鑽について研究討議を行なっており、UFO観測会その他の会合を開催して活動しています。
- 東京では毎月第一曜日に港区東京タワー前の機械振興会館で月例セミナーを開催。わが国のUFO研究と宇宙哲学の大先駆者・久保田八郎会長の解説講義、超能力開発練習その他のプログラムを実施、会員が宇宙的な波動下に研鑽します。品格のある楽しい雰囲気に満ちています。
- 入会は中学生以上なら誰でもできます。下記へ入会案内書をハガキでお申し込み下されば、お送りいたします。

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511

**日本GAP** ☎03-3651-0958

卷頭言  
**科学と人間**



一九五二年一月二〇日、アダムスキーがカリフォルニア州デザートセンター砂漠で金星人と劇的な会見をしてから早くも四三年が経過した。そして彼の宇宙的体験なるものは風化し、特にアメリカでは偽説の部類に入れられて、顧みる人はほとんどいない状態になつた。これはアダムスキーオの体験記が一般に出回らないことも一因だが、コンピューターでUFO写真の真偽を分析可能と称するグループが、アダムスキーのUFO写真類を、模型を吊り下げて撮影したトリック写真だと断定

したために、科学という言葉に弱い一般アメリカ人が信じなくなつたせいもあるらしい。

しかし編者があるコンピューターの大メーカーに勤める専門家に聞いた限りでは、「いかにコンピューターが発達したとはいえ、UFOのプリント写真を検査して糸を発見することなどが出来るはずはない。その場合は、ネガをタタミ一～二層程度の巨大な印画紙に伸ばして顕微鏡で精密に検査する以外に方法はないだろう」と語っていた。たぶんアダムスキーオを消すために何か

の意図的な操作を施したのではないと言ふ。コンピューターは科学の申しき子であろうが、万能でないことはこれから精通している人達が熟知しているところだ。

ところがコンピューターと聞けば科学の神様が放つた魔法の武器のように思い込み、UFO写真の「科学的」分析だから絶対に間違いないと思い込んでしまうのが現代の一般的風潮である。

機械文明に毒されて「科学」という言葉のワナに取り込まれた現代人は思考法を喪失する一方だ。

編者は科学そのものを否定するのではない。むしろ地球人の未来は科学の大發展にかかっているというのが持論である。というのは、地球人がペイロードの大なる宇宙船を建造して近隣の惑星に到達したときこそ、別な惑星の大文明を発見する最初の幕開きなのである。あつて、それまでは太陽系文明について特殊な知識を有する人が如何に声高く叫んでも誰も見向きもしないからだ。

したために、科学という言葉に弱い一般アメリカ人が信じなくなつたせいもあるらしい。

したために、科学という言葉に弱い一般アメリカ人が信じなくなつたせいもあるらしい。

したためには、科学という言葉に弱い一般アメリカ人が信じなくなつたせいもあるらしい。

計によつて、その惑星の表面温度は大体に平均摂氏四二五度のデータを得たというのが最初の発表である。その後一九六七年のマリナー五号と一九七三年の同一〇号によつても、一様に金星の高溫説が流された。一方、ソ連の金星探査機ベネラ七号はついに金星に着陸して、表面温度を摂氏四七五度と報告してきたといふ。実はこの時期に大きな謎と隠蔽が発生したのである。

一体、米政府や大国政府が宇宙開発による新発見を「はい、このとおりでした」とまともに発表するだろうか。NASAは科学者の集団だが、実は米政府の息のかかつた秘密機関が内部に存在しており、惑星探査機から最初に入つてくる信号は数名の最高幹部の秘密の部屋で受信され、それを改ざんしたデータが別なセクションに送られ、さらに一般に流されているのだと、アメリカのUFO研究家ダニエル・ロス氏が編者に語つてくれたことがある。その内容は驚倒すべきものであつた。

これに関してはロス氏の著書『UFO－宇宙からの完全な証拠』（中央アート出版社）にも述べられている。政府と云うのは政治家と官僚の集団であり、その内部には陰謀、策略、隠蔽が渦巻いているのである。「私達の太陽系の別な惑星に驚異的な文明が存在する」とが惑星探査機によって発見されましたが、たとえ発見しても、どこの政府がまぬけ顔で発表するだろう。それ

は地球を大混乱に陥れるだけなのだ。編者は科学者のすべてを「純情」だとは思わないが、米航空宇宙局の惑星探査機による発表を「科学」の二文字のもとに「も二もなく信じ込んで、アダムスキーオ」という大先駆者の体験を葬り去ろうとする本などを出している人がいるのをみると（そんな本を読んだことはない。聞いただけだ）、眞実科学を理解している人ではないと思う。

ドイツのロケット工学の大先駆者であったヘルマン・オーベルト博士は、「自分達の研究は別な惑星から来た人達によつて援助されている」と語つていたし、一九六〇年代の初期に編者が京都で会つたアメリカ東部の大会社の社長アダムスキーオの親友であつたアグニュー・バンソン氏は、ある驚くべき情報を伝えてくれた。それは米政府の内部とアダムスキーオに関する秘密情報である。実は日本でも世界的な凄い科学家がアダムスキーオの伝えた別な惑星の重力場機関による推進法をひそかに研究している事実があるのである。これでもアダムスキーオを「世間をだました山師」呼ばわりする者がいれば、一種の盲目としか言いようはない。編者は他人を受けなしたくはないが、あまりにも社会の裏面にうとい人間が科学の名のもとに不遜な言辞を弄するので一言述べた。この論説は攻撃ではなくて直言である。心ある人には理解してもらえると思う。

# 別な惑星の文明と創造性

秋山眞人 — 哲学博士



秋山博士はわが国の代表的な超能力者でUFO関係の凄い体験を有する人として有名な方。以下は昨年九月二三日、都内港区東京タワー前の機械振興会館で開催された一九九五年度日本GAP総会で行なわれた博士の講演全文。二七〇名の参会者に多大の感銘を与えた。

## 超能力は創造性

本日は有難うございます。久しぶりにこれだけの方の前でお話をするものですから、珍しく今日はドキドキしております。

いま私どものかかわっている心の問題は、いろんな意味で注目されている時期にはいりました。私がこの人間の能力やUFOの問題や、その手前あります超能力や創造性の問題などにかかりわりをもちました当時は、私が一五歳ぐらいのときでした。今から二〇年ほど前になります。

その当時はまだ本当にまだこういった物(UFO)が存在するのかどうかという論争が、さかんにやりとりされていた頃でございました。そしてこの問題全体に関心を寄せる人の数がまだ圧倒的に少ない時代だつたんですね。その当時私はそういった心の力というものを触れる原体験を致しました。それからこの二〇年間、私自身は人

間の超能力、内在する潜在的な力——この超能力という言葉は非常に問題があると言わねながらも、いまだに変えることができずにここまできてしまったわけなんです。「超」という言葉にはやや語弊があると思うんですがね。人間の内なる創造性と言ったほうが私は正しいと思います。

創造性というのは、ゼロから何かを生み出すことなんですね。ゼロから何かを生み出すなどと言いますと、それこそ某教授あたりにはだいぶうるさく言われそうなんですが――。

でも人間の心にはそれが出来る力があるんです。私達は原始の時代から沢山の物を生み出してきました。または沢山のシステムを生み出してきました。そういった生み出された物の手前に、私達がそれを作るというイメージ、意思、集中力、などがなかつたら今のこの地球の文明はないわけです。ここにひとつ私達は地球の文明というものを、私達の先祖の力と共にしながら生み出してきたわけです。

その原動力になるのが、私は今相変わらず超能力と言わっているような力ではないかなと思います。

## ソニーは超能力を研究してきた

私はGAPでお話をするときには非常にホッとするんです。テレビとか雑誌等で、またビジネスの先端分野でこういった能力を活用しようという動きが盛んになっておりまして、つい先頃の記事でしたでしょか、週間新潮誌の中で、とうとうソニーグループが超能力の研究をやつていることを公開したという記事が出でました。

実はそのソニーグループの超能力を研究する部署というのは、だいぶ以前から設立されていたんです。私もその設立の当初からいろんな意味でかかわっておりました。いつかこういったことをおおやけに言える日がくるといつてありました。その時代がどうこう來たわけですね。

## 超能力は認められてきた

そういった分野でいろいろと研究はされていますけれども、おおやけの世界になりますと、どうしても超能力の話までは、そういうふだ意味ではなくと認められたといいますか、認めて下

さるようになってきたですね。本当に社会を動かす企業や財界や政治や文化人のトップクラスでも、実はもうこういった能力を認める人の数のほうが多いんです。今、現在は——。

メディアの中でもそういうことを（超能力を）認める人がほんとうに多くなってきました。そこで私が、実は私はUFOと遭遇した経験があるんですと言うと、エーッと言われるんです。

ですからなかなかそういうふた話をオーブンに出来ないままここまでいる現状があります。しかし、ここでは結構そういう裏話も自由にお話が出来るんで、今日はしゃべれるだけしゃべつて帰ろうというふうに思つております（笑い）。

彼は確か三歳から六歳ぐらいにかけて、最初にコンタクトがあつて、自宅の家庭の近くにUFOが降りてきて、グリーンのライトをパーッとUFOから当たられたことが、実際に超能力が発揮されるきっかけだったと言つております。

ただユリ・グラーの場合は最近はUFOの話をすると、「またユリがUFOの話をしているのか。あの人があの

話しさえしなければなあ」と言われちゃうというので、あまり表に出さないんです。

でも私が今まで世界中でお会いしたさまざまの超能力を持たれている方、創造的な能力を發揮する秘訣をつかんだ方、こういった方々は誰一人漏らすことなしに、間違いなくプラザーズ、つまり宇宙人とのかかわりがあるという事実があります。これは本当にさざざまな超能力を持たれている方、創造的な能力を發揮する秘訣をつかんだ方、こういった方々は誰一人漏らすことなしに、間違いなくプラザーズ、

そういう意味ではプラザーズは非常に、ある意味ではシステム的に私たち

## 超能力者は異星人とコンタクトする

の文明に援助の手を差し伸べてきています。

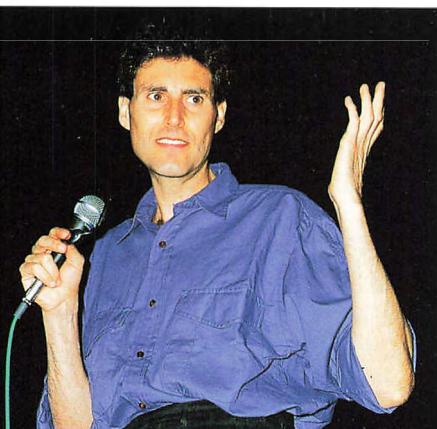
まず、何を援助しているかと言いますと、叡知を与えること、きつかけを与えることで援助しているわけです。

よくUFO論争の中では、もし友好的な宇宙人がいるんだつたら、なんでおやけに出て来ないんだ、国会議事堂の前に（宇宙船で）降りて来ないんだ、と瀕死の地球を助けてくれないんだ、という話があります。

または、いつかUFOが大挙して飛来して、地球から私達人類を救つて宇宙へつれて行つてくれるということを、宗教的に信じている人達も沢山おられるようです。しかし実際にプラザーズ（友好的な異星人）の私達に対する援助の仕方というのは、そういうやり方ではないということは私は間違いないと思います。

まず私達の心の中に、正確に言えば心の非常に奥深くにある、本当の非常にはバイプレーションの高い、非常に高度な、誰もが共有しているその部分にですね、プラザーズは沢山のヒントを、恵みを分け与えています。また、沢山の力を分け与えているというふうに思っています。

少しおさらいになるかもしれませんのが、私が最初にプラザーズに出会つてから、どういう経験をしたか、そしてその中で何を学んだかということを、少しこまかくお話をしてみたいと思います。



◀ 東京都千代田区公会堂で超能力実演中のユリ・グラー（一九八九年九月一三日）

撮影／松村芳之

ます。

## 初めてUFOに遭遇

皆さんもそういう意味では私どもと同じような経験をされることがあるかもしれません。また別な意味でプラザーズからの支援を受けていらっしゃる方が、この中で沢山いると思うんです。そういう意味ではプラザーズの私達に対する手の差し伸べ方、援助の方といふのは、心の中にダイレクトに——といっても最近はやりの変なマインドコントロールという意味ではないですよ——あの、非常に愛を注ぐ形で私達の自由を守る形で、またそれをうながし、より発展的に創造的にする形で、宇宙人は私達の心と握手をしようとしているんですね。それを非常に感じなんですね。

私は一五歳のときに——最近ではマスメディアでは私は非常にショックな経験をして超能力が出たんですけど話しているんですけど——本当のことと言つちやうと皆さんはご存じかもしれません、要するに大きなUFOを見たということなんですね。

ソロバン玉のような形をしていまして、フォースフィールドが取り巻いていたのかもしれません。そのような形に見えました。オレンジ色で、非常にゅつたりと飛んでいました。

私の視線にそれが捕捉されて、アッ

皆さんもそういった意味では私どもと同じような経験をされることがあるかもしれません。また別な意味でプラザーズからの支援を受けていらっしゃる方が、この中で沢山いると思うんです。そういう意味ではプラザーズの私

達に対する手の差し伸べ方、援助の方といふのは、心の中にダイレクトに——といっても最近はやりの変なマインドコントロールという意味ではないですよ——あの、非常に愛を注ぐ形で私達の自由を守る形で、またそれをう

ながし、より発展的に創造的にする形で、宇宙人は私達の心と握手をしようとしているんですね。それを非常に感じなんですね。

よくUFOと接触された方の話の中でも、皆さんもお聞きになると思います。UFOが出た、目撃したと。一〇人で見たんだけど、あとでいろいろと話し合ってみると、それぞれ見た色が違うとか、同じUFOを見ているのに、それぞれ見た目撃の報告の色が違うとか、また写真に撮ろうとしたら写らなかつたという話があります。

## 目撃には意味がある

これは非常に一見不思議なことのよう見えましてね、またそれがUFOは非常に心靈的なものではないかといふ考え方の発端にもなつたんですけれども、実際にはそういうことではない

て意味のある形で見せてているということもないです。私はそのUFOを目撃したときに、そのイメージが鮮明に頭の中に残りました。何度も目を閉じても、寝ても覚めても、そのイメージが消えないということは非常に重要な意味があるということでした。UFOの目撃です。

よくUFOと接觸された方の話の中でも、皆さんもお聞きになると思います。UFOが出た、目撃したと。一〇人で見たんだけど、あとでいろいろと話し合ってみると、それぞれ見た色が違うとか、同じUFOを見ているのに、それぞれ見た目撃の報告の色が違うとか、また写真に撮ろうとしたら写らなかつたという話があります。

UFOが来てくれるのか?

あちらさんにも都合があると思うんですか? 不思議に思いました。きっと何らかのかかわりを彼らは考慮してくれているんだろうなと思いました。

これは非常に一見不思議なことのよう見えましてね、またそれがUFOは非常に心靈的なものではないかといふ考え方の発端にもなつたんですけれども、実際にはそういうことではない

だからと言われましたがね(笑い)。でも非常に楽しかったですね。その当時はね。

最初は自分一人かまたは自分のすぐ気心の知れた知り合いがないと見れなかつたんです。ということは自分の心が平穏裏に豊かなバイブルーションに満たされて落ち着いていないと現われてこないということがわかつたんです。私の心理にとつては、夕方の山並みにゆつくりと日が沈んでゆくあの夕暮れの時間というのは、非常に心が落ち着くんです。その時間にUFOを見ることが多くなりました。

そのうち、その時間帯であれば、ある程度人数があえてよい、つまりどんな共有の目撃者がいても、ある程度UFOが目撃できるようになりました。

でも、そのときにも私の最初の疑問、つまり「なぜUFOはこんな形で飛んでくるのか」とか、そのときでも沢山の人がならんで見ていても、実際に目の前で金属的な物体が飛んでいるのに、つまり「なぜUFOはこんな形で飛んでくるのか」とか、そのときでも沢山の人がいますね。これもすごく不思議でした。

でも本当にここで重要なのは、UFOは心靈的な存在ではないということです。それは「意味がある」ということです。それは「意味がある」となんですよ。そういう見え方がするということですね。それは彼らのそこからが援助のシステムの一つなんで

す。または写真に撮つても写らないというのも非常に深い意味があります。または写真に撮つて写つたということにも当然逆説的に意味があるということなんですね。

それからしばらく時間がたつてから、実際に今度は直接のコンタクトの前に、プラザーズ側からいろいろな意味でテレビページのメッセージが届き始めました。最初は簡単な幾何学図形でした。私の場合には最初は映像として見えたんですけど、夜、床に入つて目をつぶつたり、ボーッと目をつぶつて瞑想をしたりしますと、まぶたの裏のちょっとと上方の目と目の間隔からいくと少し上の額の少し上あたり、またはたまに端の方から出てくる場合もあります。必ずその最初の映像は端の方から出てくるんです。それで全体にフワーッと広がつて映像が全体的に見えるんです。

そのテレビメッセージが入つているあいだは、そのメッセージを記録にとるまで、または明確に何か形に残すか、自分の忘れないようになるまでくりかえしくりかえし、私の心理を阻害しない程度に、感情を阻害しない程度に、くりかえしくりかえし、その映像が出てくるんです。

最初はとにかく記録に取るだけなんです。意味がわからないから。でも簡

## テレパシーのメッセージがくる

実際に今度は直接のコンタクトの前に、プラザーズ側からいろいろな意味でテレビページのメッセージが届き始めました。最初は簡単な幾何学図形でした。私の場合には最初は映像として見えたんですけど、夜、床に入つて目をつぶつたり、ボーッと目をつぶつて瞑想をしたりしますと、まぶたの裏のちょっとと上方の目と目の間隔からいくと少し上の額の少し上あたり、またはたまに端の方から出てくる場合もあります。必ずその最初の映像は端の方から見てくるんです。それで全体にフワーッと広がつて映像が全体的に見えるんです。

▲ステージ上で背後から気を送つて人体を動かす実験を行なう秋山氏。すべて成功した。  
撮影／松村芳之

ようやく、そのテレビメッセージの中では、相互通行が出来るようになります。最初は背後から気を送つて人体を動かす実験を行なう秋山氏。すべて成功した。

最初から複雑なものをテレビで映像として送つたならば、ぼくは混乱しちゃうだろうな。彼らはそれを配慮しているんだろうな」ということは、幼心にも僕自身にも非常に理解できて、嬉しいなあとと思いました。

最初から複雑なものをテレビで映像として送つたならば、ぼくは混乱しちゃうだろうな。彼らはそれを配慮しているんだろうな」ということは、幼心にも僕自身にも非常に理解できて、嬉しいなあとと思いました。



## 異星人の物凄いリサーチ

そのときに最初にぶつけた質問が「なぜ私に見えたんでしょうね」ということです。また「なぜ特定の人しか見えないんでしようか」という質問です。それこそ本当に国會議事堂の前にドカーンと出てきたらしいのにどう見えないんでしょうか」という質問けたんです。

そうしましたら、彼らは非常に面白いメカニズムを話してくれたんです。実は私達の意識というのは、本当に高性能のビデオカメラのように、意識しないで見た映像でも、とにかく目に映つた物は全部ストックするだけの力を保持しているというわけです。潜在意識といいますか、集合的無意識といいますか、心の奥底にある膨大なエリアに、スーパーコンピューター以上の、となるべくか、どういう人間を輩出してゆくか、ある程度そらへんがプラザーズ側はリサーチが出来るというんです。

ですから、この人の場合には（UFO）を見せたほうがよいと、または見せるのはいいけれども、写真には残さないほうがいいとか、そういういたことを考えながら、セレモニー的に、つまり儀式的に、そこに現われたり記録を残したりするわけです。

ですからUFOが証拠を残すということもすごい意味があるんです。心理的にいいますとね。見せる、映像を残す、音を残す。これはそこからがも

つたんです。こちら側からこういう疑問について答えてもらいたいんですけれど、と思うと、答えるヒントになるような事がパツッと映像で浮かぶ、という

ことが返つてくるようになつたんです。それが非常に感動的でした。何かアマチュア無線をやっている方が最初に海外の方と交信をしたような、そういう気持ちだつたんです。

最初に大人になつて、そして宇宙的なものに興味を持ったとします。そうするとその人はその映像と思い出を持つたまま大人になつて、そして宇宙的なものに興味を持ったとします。そうすると、その人の息子にはどういう影響がゆくか、どういう教育がなされるか、そしてその人の孫にはどういう影響がのこるか。

そうすると、この遺伝的な気質の流れの中で、UFOを見たという現象自体が、この血筋にどういう影響をおぼし、どういう人間を輩出してゆくか、ある程度そらへんがプラザーズ側はリサーチが出来るというんです。

でもないデータ処理の機能があつて、そこに見た映像、つまり映像として知覚したものは全部記録する回路がある

というのです。

要するにプラザーズは、そういう映像をこの人に与えた場合に、この人の心理に對してどういう影響がゆくかで、それを明確に科学的に計算できる能力があるというわけです。リサーチできる能力があるというのです。

う一種の我々が宇宙的なセンスに近づくためのメンタルトレーニングであると考えてもいいと思います。

要するに彼らは（スペーススピーブルは）、たぶん私が感じる限りでは、私達の子孫、それも百代近くに至るまでも、——今自分がこういう状態だと私達の子孫の百代がどういう状態で生きてゆくかというような概要まで——かなり明確に把握できるんです。それぐらいの技術力を持つた人達です。

それぐらいに心というものの性質、心というものの可能性を大切に大切に大切にする人達なのです。それはそれは本当に深い愛を感じました。まあ、愛がすべてではないと地球では言われますけれども、私はその愛が非常に私の人生にとって勇気になりました。

当然、当時の私はここで将来的にこうやって話をしたりとか、おおやけのメディアにガンガン乗るとか、企業に行つて超能力のレクチャーやをするとか、そんなことを将来的にするとか、そんなことは夢にも思つていなかつたんですね。本当にその当時は夢にも思つていませんでした。

でもそれが出来る勇気を与えてくれたわけですよ。当時私は非常に憶病な人間だったと思います。中学生でしたけれども町場の学校から田舎の学校へ転校して行きまして、非常に過敏になつていて、人とのコミュニケーションがうまくゆかなくて、ものすごく萎縮

していました。ですから人前に立つとボーッと顔が赤くなるんです。今日は多少昔の赤面症の影響が残つていて、顔が赤くなっているかも知れませんけれど——。非常にそれがファイードバックされて気になるんですね。よくそういうことはありますよね。自分の体型だと外見だとか、そういうことがすごく神経質に気になるんです。まわりの評価などとも気になります。

まあ、気にすることは気にすることでの、のちのち心の肥やしになることは沢山あるんです。当時私はそれによつてものすごく萎縮していました。気にしてすぎで、バランスのとれていない気の使い方をしていました。

## スペーススピーブルとともに生きよう

そこに對して猛烈な勇氣を彼ら（スペーススピーブル）は注ぎ込んでくれました。そのとき私は決めたんです。

「とにかく彼ら（スペーススピーブル）とともに生きよう」と。そして彼らのなかで勉強した事を少しでも人のために役に立つことがあれば、僕は僕なりのやり方で、少しでも多くの人に話を聞いてゆこうと思いました。

当時、そのような事に興味を持つ人々が集まつて、しだいに人の縁が広がって嬉しかつたですね。また、自分と共有して一番嬉しかつたことは、自分がうまくゆかなくて、ものすごく萎縮

ということに、気がつき始めたときで、そのときの醍醐味たるやるものすごいことの意味では能力はありましたね。自分の心を開発するための重

つけたと思いましたね。

高校一～二年のときに、その当時、私は静岡県の焼津市にある高校に通っていましたんですけども、そこにいたとき、私の同級生が「いや、秋山、実はね、おまえがときどき俺に話していくようなUFOの体験と同じような体験をしているやつがいるんだよ。そいつも秋山と同じようにノートにUFOの形とかいろんな図形をメモしたりしているんだよ。会つてみるか」と言われたんです。

メモをしていると聞いたときに、あつてみると、お互いにお互いのメモ帳を見てみたら、同じとき同じ形のUFOをしきたま目撃しているということがわかりました。そういうことが何度もあつたんです。

これは私も、いろんなセミナーの中でも沢山の人にお話するんですけども、もし、本当にUFOを目撃するような経験があつたら、またテレパシーのように個性をねじ曲げずに、個性を抹殺せずに、（地球のように）同じペーパーテストで同じ試験をしないと社会的に認められないなどというような仕組みをとらずに、個々の感性を、非常に社会に有益な創造性まで引き上げて

が、あるときには同じ共有の精神状態、共有の波動を感じる、同じ価値観、同じ経験をしている人達とのお互いを重ねと自分の心を開発する、自分の中に必要なバイブルになってゆくんです。確かに今はそういう意味では能力開発の本であるとか、超能力を開発するための重

要的なバイブルになつてゆくんです。確かに今はそういう意味では能力開発の本であるとか、超能力を開発するための重りいろんなレクチャーであるとかに開いて、いろんなところで聞かれるようになりました。ほんと楽しい時代であると思うんです。ただ我々はそれぞれに顔付きが違うように、それぞれなりに自分に合つた個性的な方法が少しずつ存在するんです。共通項は一緒だとしても、その上にあるもの、つまり個性的な道筋があると思うんです。

要するにプラザーズの教育方法といふのは、そういつた個性を非常に重んじるやり方をするんです。ですから、テレパシーによる教育システムといふのは、個性をねじ曲げずに、個性を抹殺せずに、（地球のように）同じペーパーテストで同じ試験をしないと社会的に認められないなどというような仕組みをとらずに、個々の感性を、非常に社会に有益な創造性まで引き上げては非常に感動的なことでした。

そうして私は沢山の人と話をするとなりました。ネットワークが出来

# 奇妙なUFO

1965年8月のある夜、当時14歳の新聞少年アラン・スミスが  
米オクラホマ州タルサの町に降下した物体を撮影した。一  
見抽象画みたいだが、写真をさかさにするとアダムスキー型  
のスカウトシップのように見える。

—UFO over Tulsa, Oklahoma—



ました。そして人前でも話をするようになりました。

## テレパシー・メッセージで母船の光景が見える

その頃になつてきますと、並行して

プラザーズのテレパシー的なメッセー  
ジというのは非常に複雑多岐にわたりま  
した。彼らに言わせれば、「今あなた  
が経験しているのは、あなたたちの  
地球で言う小学校であり中学校であり  
高校なんです」というような比喩を述  
べられたことがあるんです。

その内容たるや非常に面白いんです。  
突然テレパシーイメージの中に、ジュー  
ラルミンのような色をした巨大な母船  
が出てまいりました。ゴーツと視野の  
中に横から入つて来るんです。それは  
それはワクワクする勇姿と言いますか、  
非常にきれいな姿でした。両端がちよつと切  
れていきました。(別な惑星から  
来る)母船でも両端がちよつと切れた  
形というのは、これは私達の太陽系内  
にかかるプラザーズ達の母船なんです。  
太陽系外から直接飛んで来る宇宙  
船に関しては両端がとんがっています。  
または真ん中がくびれています。  
と異形の変わった形が多いんです。

とにかく母船がゴーツと入つてきま  
す。あ、母船だ、今日は母船を見せら  
れるのかなと思っておりますと、いき  
なり非常にナンセンスな映像が見える  
んです。その母船の底の部分から、水

銀のしづくのように、小型のUFOが  
ボタンと落ちるんです。つまり母船の  
金属の一部が液状化してボタツと空中  
に落ちるんです。「エッ?」と僕はそ  
のテレパシーアイメージの中で目を点に  
してしまったわけです。

すると「この意味」という言葉がボ  
ットとひらめくんです。それは当然UF  
Oから本当にしづくのよう小型のU  
FOが分かれるわけではありません。

本来のUFOは非常に機械的な物だと  
思いますけれども、そのときには非常  
に比喩的な映像としてそれを彼らは私  
に見せてくれているわけです。

最初は意味がわからなかつたんです。  
ですから私は正直に今度は返答として、  
「わかりません」と答えたんです。

すると今度はその小型のUFOと母  
船が分かれて空中に止まっている光景  
から始まるんです。その先の映像が出  
てきます。いきなり大空の中に巨大な  
木槌が出てくるんです。それがシュー  
と出てきまして、小型の小さいUFO  
をコーンとたたくんです。それがコー  
ンと振動するんです。ところが、その  
振動した瞬間に母船の映像全体がカ一  
ンと振動するんです。そのハーモニ  
が非常に心地よい音になります。

そこでこの意味がひらめくんです。

さて困つたなあと思つていました。

その当時、それから一ヶ月弱だった  
でしようか、たまたま家の近くのある  
神社の宮司さんとお話をする機会があ

つたんです。日本の古神道のなかには、  
「一即多」「多即一」という考え方が  
あるんだということを教わりました。  
この「百匹のサル」の話がありますと  
一匹のサルがイモの洗い方を覚えると、  
突然百匹のサルがみんなイモの洗い方  
を覚えちゃう。

つまり小型のUFOと大型の母船と  
いうのは、乗つっている乗組員から、そ  
れを構成する金属の粒子一つ一つから、  
完全にテレパシー的にと言いますか、  
精神的につながっているんです。

だから小型のUFOがどこかで何か  
を記録するといしますと、その記録はそ  
こから電波でキューッと飛んで母船に  
行つて、よしよしと言つてファックス  
に出てくるわけではなしに、同時に母  
船に伝わるんです。小型のUFOも母  
船も同じ物なんです。そういう情報の  
ネットワークなんです。それがわかっ  
たんです。「一即多」「多即一」なの  
かと。

そうしたら次の夢の中に出でまいり  
ました。それは小型のUFOと母船が  
楽しそうに動いているんです。晴れた  
空の空の空の空の空の空の空の空の空  
解という感じがするんです。

ところがそれだけでは終わらないん  
です。そこから先にそれに関連する深  
い意味があるんです。ですから私自身  
が、なぜ、なぜ、なぜ、と追求をする  
ところがどんどん深い意味が出てくるんで  
す。私はそのときに子供心に本当にワク  
ワクしたんです。その探求をするだけ

す。逆に言うと、プラザーズというの  
は、私達が「なぜ?」ぐらいでとめて  
おくことを、なぜ、なぜ、なぜ、なぜ、  
と、ずつと追いかけシミュレーション  
を常にやってらつしやると思うん  
です。

ここが結構ポイントなんです。私達  
が創造性を大きく飛躍的に開発してゆ  
こうとしたら、やはり小さいお子さん  
のように、親の立場からすると面倒く  
さいことですが、「お母さん、なぜ、  
なぜ、なぜ?」と、いうふうに、あれ  
を常にシミュレーションしているとい  
うことは、非常に創造性のトレーニン  
グになるんです。

だから彼ら(異星人)は本当にそ  
いつたことを深くやつていています。そ  
れが科学だという認識を持つていま  
す。だから地球上の科学というのは、  
最近ちょっとそれがあまりないよう  
に思うんです。「もう既成の物理学でこ  
のようには決まつているんだから、それ  
以外の物理学を超えたよう見える現  
象はあり得ない」というわけです。こ  
れは誰かの常套文句です。

でもこれつて非常に否定的だと思う  
んです。そこにはまらない現象が  
出てきたときに、なぜ、なぜ、なぜ、  
をやる気持ちさえあれば、もつと創  
造的になります。科学も経済も文化も芸  
術も発展するでしよう。

でも僕は何でも出来るんじやないか。思い上がりではなしにですよ、そういう実感がスポーンと入ってきたんです。その気づきがあったとたんに涙がポロポロ出ました。

## 別な惑星の建物と教育法

さにらにそういうトレーニングがあつたり、向こうの惑星の学校や教育施設も見ました。

今日、私はここへ（機械振興会館へ）歩いて来る最中に、ここ近くにロシヤ料理の店があるんです。「ボッカ」という名の店です。皆さん方の中にも見た方がいますか。そこはロシヤ正教会の形をしているんです。頭の部分がネギ帽子のような形をしています。よく京都の方へ行くと、橋の欄干の所にそんなのがありますね。しづくのよな形です。私が見た別な惑星の建物はああいう形をしているんですよ。屋根の部分が。

そこには意味があるというんですが、今日はその意味の話をすると四時間ぐらいいぶつとおしの話になってしましますので、ここでは割愛します。

そこでは（その惑星では）どうやって教育をするのかなと思って、なぜ？と聞いたわけです。そうしたら、本当にもうエンジェル（天使）のような、小さい子供達が、本当にきれいなハーモニーで教会の讃美歌のような響きの、

## 攻撃性のない別な惑星

非常にシンプルな惑星で、私は数日間でその惑星の波長に飽きて、あまりにもシンプルすぎて辛いということを彼らに申し出ました。戦争も何もないんです。植物一つ見ても昆虫一つ見ても、（ここにいらっしゃる）皆さんは本当に初対面でいい人だとわかる人達です（笑い）。（編注）これは誰も疑惑をもたずに真剣に聞いているから、こう言

ましたが、またはときにはいきなり中東の半音ずれたり（マイナーの旋律の混じるよう）ふらふらするような、なんとなくうつとりするような歌がありますね。あのような旋律で、みんながきれいに合唱をやっているんです。

でも、その言葉の一つ一つが実は全部が言語の単語だつたり、何か記憶すべき事の内容だつたりして、要するに歌をうたうことによって、いろんな事を記憶しているんです。

私はそれを見たときに非常にいいなと思いました。ああ、そうか、歌をうたいながら覚えるのかと。自慢じゃないでけど、私自身がむかし物を覚えるのが本当にダメな人間でして、何度も何度も人の何倍もくりかえしてやらないと覚えられなかつたんです。つまり今日起こつた事は明日はコロツと忘れているという、非常に便利な体質だつたんです。それが学問の世界では非常に災いとなりまして、すごく苦労した覚えがあります。そのときに、ああそうか、歌で覚えるのかと思って、これはだいぶ生活の中で活用させて頂きました。



▲秋山氏の驚くべき話しに耳を傾ける日本GAP会員。

撮影／松村芳之

つたもの)

その惑星で経験したのは、以前の講演でも話したのですが、よく我々は誰かと知り合いの人と道で会うと、何度も挨拶をしますね。相手の気持ちがどこで納得しているかわからないから、結局何度も挨拶することになります。

ところが（その惑星の）彼らの会釈というのには、相手の目を見てニコッと笑うだけなんです。そうすると、こちらへんが（と胸を押さえて）ボーッと温かくなります。あ、これが会釈といふものなんだな、と思いました。

でも一日目ぐらいになつてから、私自身はダメだったですね。これは地球人の性ですけどね。本当に飽きてきて、苦しくて、やあ、苦しいと言つたら、相手が言うんです。

「そうだろ。君は地球で生きる運命なんだ。そうだろ？ 地球へ戻りなさい」と言われたんですね。「あの青い惑星で生きなさい」と。

そのときにもその教えの中にあるものは凄く深いなあと思つたんです。

## 私達がおちいりやすい

それまで、私は宇宙人とのコンタクトが始まつてから——たぶん皆さんの方の中にも、いろんな段階でのコンタクト経験のある方がいらっしゃると思うんですが——非常におちいりやすいワナがあることに気づいたんです。宇宙

人やUFOとコンタクトしたり、テレ

パシーで交信した人が、おちいりやす

いワナがあるんです。

それは、『宇宙人に憧れてしまう、

プラザーズ（友好的な異星人）に憧れてしまふ』ということなんですね。

でも気がついてみたら、私の中にも

その当時は宇宙人に対する猛烈な憧れがあつたんです。宇宙人のようでなければダメだと。宇宙人の文明を一つ一

つ見せられるごとにですね。たとえば（あちらの惑星には）お金

というものが存在しない。彼らはお金

という問題で全く違う価値観を持つて

いるんです。

ただし彼らはお金否定してそういう

つたんではないんです。お金を超えて

そうなつたんです。これぐらいの（と

言つて手が形を示しながら）石のフロ

ッピーのような物があるんです。（ザラ

ザラしたきれいな、そうですね、翡翠（ひすい）

のような物で作られたような感じの物

です。そのフロッピーのある機械の所

に置いたり通したりすると、それでそ

の人の今の波動の状況がわかるんです。

そしてそれに見合つた物質的な物がそ

の人に与えられるという、いわば宇宙

共産的なシステムだと思います。それが彼らの唯一お金に近い物です。

それは我々のキャッシュカードの感覚ともかなり違うようにも思います。

波動、即、経済。その人の意識、即、

経済。そういう経済システムですね。

それなんかを見ますと私はすごく憧れてしまつて、すごく苦しむんです。

なんと（地球の）お金というのは汚い

ものだろと思って、汚いところばつ

かり見えるんです。その惑星に憧れれば憧れるほど、そなんんです。

それで自分の心がねじ曲がつたり、

社会に対して批判的になつたり、すざんなり、不満を持つたりしていくこと

に気がつかないんです。

## まず自分の心を豊かにする

です。かねがねそう思つています。

ですから、彼らは（異星人達は）そ

の私の強い憧れを、もう一回地球に対

する、足もとに対する希望や望みや喜びに向けさせる意味で、別な惑星での

体験をさせたというふうに思います。

ですから、本当に足長おじさんのよ

うな話なんですね。そのときには素晴らしい体験をしました。ですから、彼ら（異星人）は私を見たら、たぶん本当に小さい存在だらうなあと思います。

チンパンジーに言葉を教える世界だつたんだろうなあと思うんです。

それで、どうか、どうか、そういう

けーションができます。そこを豊かに

えられた私達自身の心です。そこを豊かにしておいて初めて豊かなコミュニ

ケーションができます。そこを豊かに

しておいて、初めて豊かに物が見れる、

豊かに世界が見える、豊かに宇宙を見

ることができるんです。これがプラザ

ーズも私達も共有の法則だと思います。

ところがえとして、コンタクトを体

験すると、それを忘れてしまいます。

UFOに憧れてしまう。乗つてみたい

最近私の所にも沢山の手紙が来ます。

秋山先生、一度UFOに乗つてみたい

んですけど、どうしたらいいでしようか。

その気持ちがすつごくわかるがゆえに私は辛いのです。『憧れはだめだ

よ。まず乗ることを願い祈る前に、きっとその人にとっては、他にやること

があるよ』と、私はこう思つているん

## 異星人の言語と テレパシー能力

あと、やはり言葉の問題があります。

これも偉大だなと思いました。彼らの

言語といいますか、コミュニケーションの問題は、テレパシーという概念の

根本をなす非常に重要な考え方です。

彼らの世界には物をさす名詞がない

んです。たとえば、「コップ」という

名前がないんです。なぜないかといいますと、テレパシーが使えるからなんですね。テレパシーを使うためになくしていったと言うほうが正確かもしれません。

私達は「コップ」という言葉にかなり依存して生きています。コップと呼べば、お互いがイメージの中で共有できます。ところが彼らは頭にコップのことを思い浮かべるだけで、アッとなるんです。コップという言葉は要らないんです。これを思い浮かべれば金員につながつてしまふんです。だから、この言葉は要らないんです。だから物をあらわす名詞がないんです。これはある意味での彼らの自由さだと思います。

ですから、私達地球人と彼らがアクセスする意味で、たとえば最初にある宇宙人が私にアクセスしてきたときに、どのようにお呼びすればいいのでしょうかという話をしたときに、最初に出てきた宇宙人は、いくつかの名前を名乗つたんです。しかしその名前というのは仮の名前だと言っています。『君達が私のことを思い描くのに、非常に必要な意味がこめられています。だから名前の意味を探索しなさい』と言われたんです。

その当時いろんな名前の宇宙人が現われました。いろんな名前を名乗つて、一人の宇宙人が複数の名前を名乗ることもありました。その名前の意味をい

ろいろ調べてみると、非常に古い時代の我々の先祖が、たとえば神を呼ぶ場合に使った名前だつたりするんです。

ここで誤解なきよう申し上げておき

ますが、古い時代に我々の先祖が呼んだ神というのは、自然界の中の非常に重要なシステムに対して神と名づけて

いる場合が非常に多いです。創造主のものを呼んでいるわけではないです。西洋のゴッドという言葉を神と

訳したこと自体に非常に問題があるんじゃないかと思うんですがね。何かそ

こに意味を感じるもの、意思を感じるもの、波動を感じるもの、そういった

ものすべてに、その波動の感じ方の性質に——まあ私達の先祖の言葉の中に

は言霊といいう言葉がありますけれども

——そのバイブレーションに見合つた

「アウイ」とか「エオア」とか「ケクキ」とか、そういう名前をつけている

んです。

そういう意味で彼らはその名前を使っているんです。ですからその名前の意味を私自身が探求してゆくと、その

宇宙人の歴史とか、性質とか、考

えている内容がなんとなく、こういう

感じなんだなどわかるようになつてい

るんです。これも面白いシステムだな

と思いました。

でも私達もほんとにふだんの生活の中で、ことばで伝えられないけど、やりとりしているものがいっぱいありますね。その中でも一番代表的なものが、

「氣」という言葉だと思うんです。これを海外の人に翻訳して伝えようと大変なんです。「気持ち」「氣になる」「ハンドパワー」など全部

「氣」でしょう。この空中に満ちるもの、バイブレーション。よく能力者の方はそれをエネルギーと表現しますけ

れども、でも今の物理学の測定器の上には乗らないエネルギーですから、なんとなく心でしか測れない力というこ

となるでしょうかねえ。

でも私達は、あつ、その気ね、あの気ね、とか言つて、氣という言葉だけ

で結構自由にやりとりしています。私はその部分がテレパシーだと思うんで

す。実は私達も「宇宙人はテレパシーで通信している。凄いなあ」と思っていませんが、実は私達もふだんの生活の中では、かなりテレパシーを使つていて

と思っていました。

でも私達は、あつ、その気ね、あの

気ね、とか言つて、氣という言葉だけ

で結構自由にやりとりしています。私はその部分がテレパシーだと思うんで

す。実は私達も「宇宙人はテレパシーで通信している。凄いなあ」と思っていませんが、実は私達もふだんの生活の中では、かなりテレパシーを使つていて

と思っていました。

## 異星人の驚異的なテレポーテーション技術

あと、驚いたのは、空間に関する技術です。空間とか時間に関する技術には、非常に驚くべきものがありました。私は物理学が専門ではありませんから、それをどう科学的に解釈するか説明するかということに関しては、よくわからませません。

しかししながら、その当時見せられたUFOの製造工程過程、操縦に関する過程、UFOの配列、空中を飛ぶ場合

の配列とか、飛ぶ経路、宇宙空間をどういう経路で飛ぶのか、または地球上に来たときにも地上をどういう経路で飛ぶか、こういったことに関しては、こ

の空間と波動と時間と、これがミック

スされた彼らなりの膨大な理論体系があるんです。

そのルールを毛先ほども違わないよ

うに彼らは行動しています。たとえば、その製造過程ですが、非常にわかりやすく見せられたんです。

ある日、突然NHKニュースのよう

に、宇宙人の上半身がテレパシーで送られてきたんです。『本日は秋山さん

にUFOの製造過程をお見せしたいと

思います』と、いきなり始まるわけ

です。ナレーションが。

エーツ、何だろう、突拍子もないこ

とだなと思うんですが、いきなりクシ

ヤクシャにたたまれた風船のような物

が出てくるんです。そこにジャバラの

ような物で出来たゴムチューブのよう

な物がシュー<sup>ツ</sup>と寄ってきて、ポンと接続されるんです。そしてブーツとふ

くらませるんです。そうすると、それ

がフラットの円盤の形になるんです。

あれ、UFOは風船だったのかと、そこまで。そして今度はコントロール

ルームに機材を運び込みます』とナレーションが入ります。

何が行なわれるかといいますと、いきなり上から大きななコンピューターのような物が、そのゴムの風船の上にボンと落とされるんです。外側から内側にテレポーテーションで放り込まれるんです。それを見たときには順番が逆だなと思いました。非常に驚いた映像なんです。

ただそれも非常に象徴的なんです。

正確に言うと、そのとおりにとんでもない形で造られているわけではないんです。

そのとおり、ああ、テレポーテーションというのは、あるんだなと思いました。そういう技術を利用したとすれば、宇宙のどこにでも現われられるし、空間とか固い壁などを通り抜けられるでしょう。

中国のアポート現象

以前に私が中国に参りましたときに、小型のFMの発信機を能力者がほかの空間にアポート（幻姿）させたという記録を見たことがあります。

そのとき、受信機をそばに置いておいて、FMの発信機から発信している電波がどのように変化するかを検証したデータがあるんです。要するにタイムリーに送受信機を使うことによって、

アポートの瞬間を観測したデータがあるんです。

そのデータは非常に面白くて、まず

FMの発信機の電波がずっとと出ますね。能力者が手の中にその小さい発信機を持った瞬間に、断続的に散り始めます。切れたり現れたりして、その物体が最初はスローベースですが、現われたり消えたりをずっとくりかえしていく、それがすっごく激しくなって、バーッと現れたり消えたりをくりかえして、ピュンと消えるんです。

そして離れた目標の場所に、その断続的な電波の切れたり現れたりが始まって、最初はゆっくりとモヤモヤとした物が現われて、FMの発信機がそこにポタンと落ちるんです。

どうもこれは何か既成の物理学で言われている事とそれほど反した現象ではないんじゃないかと、いうことを中國側でも言つていました。

## 人間の描くイメージは実現する

でも彼らは（異星人は）それを本当に自由自在にあやつっているんです。時間と空間の概念を超えて――。

私はそのときに『すごいですね！』と言つたんです。

すると彼らは何と言つたかといいますと、『もうすでにちゃんとテレポー

ト』と言つたんです。

いる。それを形にすることなんか小さい事だ』と言うんですよ。

私達はなんとかそれを理解できて、

形にしてということにこだわってきたのですが、それも鼻つぱらをポキッと折られたような感じがしました。

『だつて地球人の心の中にも豊かなイメージがあるじゃないか。イメージの中は時間空間に拘束されてはいいんだ。そのイメージの中にある概念は必ず現象化するんだよ。その明確な信念さえあれば、地球人も時間と空間を超えるんだ』というわけです。

なるほどなあと思いました。たしかに私もここにいながらにして、ニューヨークの事を思い描くことができます。

皆さんもここにいながらにして、この建物の外を俯瞰的に（高所から見下ろすように）たとえば五〇メートル上空から眺めることだってできます。イメージすればよいのです。イメージの中では時間とか空間のクサリは存在しないんですよ。本当に自由です。

そうすると、それがジワジワと運命の中で形になつてゆきます。形になるときには、たとえば誰かが（イメージで描いた望みの物）持つてくる形になるのかもしれません。または自分が作ることになるのかもしれません。ア

イデアがひらめいてですね。また誰かと連動して、そういう事を作るプロ

セクタを経験したときに、自己反省も含めていろいろなことを考えました。

そして、その豊かなシミュレーションはやはり忘れないことだと思います。

ところが、ここからが私達側の問題になります。そういういろんなコンタクトを経験したときに、自己反省も含めていろいろなことを考えました。

特に私達側の問題として、私達は本来与えられているその豊かなイメージの力とか、イメージを物質化する力を、まず信じられない、なかなか信じられ

ない、という問題があります。

正確に言いますと、なかなか信じられないことによつて、信じられないよ

うにするような現象しか起きない、とすることが起こっているわけです。私は、イメージが物質化する、そのときと折られたような感じがしました。

『だつて地球人の心の中の力ものが、やはり人間の気とかバイブルーーションとかいわれている力は、必ず現象化するんだよ。その明確な信念だけと思うんですがね。その気とかバイブルーーションとかいわれている力は、必ず現象化するんだよ。その明確な信念だけと思うんですがね。その気とかバイブルーーションとかいわれている力は、必ず現象化するんだよ。その明確な信念だけと思うんですがね。その気とかバイ

ブルーーションとかいわれている力は、必ず現象化するんだよ。その明確な信念だけと思うんですがね。その気とかバイ

ならないというふうに思います。

これはほんとに笑い話ですが、ある人に聞いた話です。ある家のご主人さんが、たまに奥様の仕事を手伝おうとして台所に立ちました。奥様がハムを切つてらっしゃいました。ハムといつてもソーセージ型の長いのです。そしてその両端を思いきり大きくバサツと切り落としたんです。

そのときに、ご主人さんは「なんでもいい」無駄なことをするんだろうと思つたんです。『おまえ、無駄じやないか、そのハムは』と言つたわけです。するとその奥様は『いや、お母さんもこうやつてたもの』と言うのです。そこで日那さんは『じゃ、お母さんのところへ電話をかけてごらん』と言つたら、奥様はお母さんのところへ電話をかけたんです。そうしたら、お母さんが『エーッ、だつて、それはおばあちゃんがやつてたのよ』と言うわけです。そこでおばあちゃんのところへ電話をかけたら、『いや、それはね、うちのオーブンが横幅が小さかつたの両端を切らないとハムが入らないのよ』と言つたというのです。

## 重要な習慣的概念

習慣性というものは怖いですね。ありとあらゆる所に忍び込みます、習慣性は。そしてその習慣性は気がつくと私達のイメージをがんじがらめに縛りあ

でも必ずその愚痴の先に、これも私は場合ですけれども、愚痴をもう一回二重否定する言葉を付け加える習慣を持つっています。“もうダメだ、大変だよなあ。でも何とかなるだろう。大丈夫、大丈夫』

すごくノーテンキな人にときどき見られるんですねけれどね。でもその習慣

なるんですよ。それはものすごく大きいことです。  
たとえば、人間というのは、どうしても愚痴をこぼす習慣があります。また何かを責める習慣があります。正直に言つて私もその習慣を沢山持っています。そしてよつちゅう愚痴をこぼしています。

げでしまいます。それこそが一番恐るべきマインドコントロールだと思いますよ。

当然、この習慣性そのものを敵だとと思う必要はありません。味方にはすればいいわけです。いい習慣をどんどん生み出せば、そのいい習慣は形になつて全くオートマチックにどんどん働きます。たとえば良いことを言う習慣、一日一回良いことを言う習慣です。

金時計かな、銀時計かな、文字板はどうなつているのかなど、いろんなイメージが起ります。だけど、そのイメージはストップウォッチという言葉だけでは弱いんです。

教えましょか。私が後ろで手に持つっているものは、実は丸い物なんです。上にボツチがついています。針が二本

べるのに、イメージしながらしゃべる  
というトレーニングも、すごく有利だ  
と思うんです。イメージしながら、し  
やべる。さきほどコツツといいました  
が、ここにストップウォッチがあるん  
です。これを隠しておいて『今私は後  
ろでストップウォッチを持つていま  
す』というと、ああ、どんな形がな、  
金時計かな、銀時計かな、文字板はど

をつけると、誰に対していくいかと言いますと、自分にたいして一番力になるんです、その言葉が自分を救う力にならんです。自分の言葉に見放されたら地獄です。自分の口が一人でパクパクしゃべっているようなもので、「お前はバカ、お前はバカ」と言っているようなものです。ですから自分の口が味方になるんです。

その人が最初にそのセールスの分野にはいつて売った物は、何か輪ゴムか何かだったらしいんです。今は島を売つてゐるんです。

けど、この前日本である分野ではセールスの神様といわれる人とお話しする機会がありました。その方はロシヤにある小さな島のセールスをしているということです。

『今私が売っているのは、島なんです。島をどこかの大使館に売ろうと思つているんですけどね』と言つていました。

その人が最初にそのセールスの分野

ついているようにも思つたなあ、と言ひますと、そうするとなんとなくイメージがモヤモヤしてきます。それで自分がハツと気づいた、それはストップウオツチでしよう、と言つたときに、その人にとっては、イメージがすごく楽しいものになります。

す。これは非常にオドロキでした。

じゃ、どうやつて説明するんですか

と言つたら、『商品の外側のイメージ

を相手が描きやすいように、相手のイ

メージの中にはいつて説明するんで

す』と言つてました。

ああなるほどと思ひましたね。

私達の心理というのは、どこかでア

マノジャクな部分があります。相手が

何かを隠しておいて、『見たい？ 見

たい？ 見せないよ』と言わると、

見たくなるんですね。

ところが、『見て下さいよ、絶対に

見て下さいよ』と言われると、かえつ

このところが人間のある種の個性的

な特徴だと思います。イメージがあ

れる会話というのは、すごく興味深く

て、私達の生活を豊かにするものだと

思いますね。

## 強力な目標の設定

自分で決めた自分のイメージですね。私達はやはり私達の体に対しても、今まで見たくなるんです。<sup>くふ</sup>このところが人間のある種の個性的な特徴だと思います。イメージがあれる会話というのは、すごく興味深くて、私達の生活を豊かにするものだと思いますね。

それと、くりかえし申し上げておきますが、悪い習慣性から外に出ようと思つたら、やはり一番大きな力になるのは、目標の設定です。それはもう耳にタコができたと言われるかもしれないが、私はどんな場所では必ずこの話をします。人生に対する目的を持つこと。それも並みの目的ではなくて、大きな目的のガソリンを自分の心といふ車にガーッと入れてあげることです。でもこれは常にやっていないと、どんどん習慣性に埋めつくされてしまいます。習慣性のなだれに押し倒される

か、それを目的のイメージでヤーッといつて押し返すか、です。人生というのは、そういったバランスの中にあるようにも思えます。私はこれもよくやるんですが、この中に腕立て伏せを三〇回以上出来るという方はちょっと手を上げてみて下さい。アッ、いますね。いや、素晴らしいことです。三回以上(笑い)なるべく全員で上げて頂きたいのですがね。はい、有難うございます。

これが『自己像』というものです。自分で決めた自分のイメージですね。私達はやはり私達の体に対して、いま現在もイメージ、つまり結果のイメージをすでに先取りして持つてしまつているんです。でも、いいですか。イメージの中では腕立て伏せが千回出来たつていいんです。二千回出来たつて、一万回出来たつていいんです。鉄腕アトムみたいに。

## 人を褒める言葉が最高

なぜ変えられないかというと、今までの習慣を変えられないからです。旦那さんの顔を見たら、「あなた、何をやっているのよ」と言ってしまう習慣とか、奥さんの顔を見たら、「おまえ、本当に俺の気持がわからないな」という習慣。これはよく日本人の会話にあります。奥さんが会話です。これを言つてしまふ習慣。これは習慣なんです。

ところで、たとえば心の知れた人同士ではそういう会話が多いんですが、その中でもまれに、ふだん褒めなかつた旦那さんが奥さんを褒めますと、これは物凄い喜びなんです。一方、旦那さんは物凄い喜びなんですが、「あなたを褒めなかつた奥さんが、『あなたがネクタイは今日はキマつているわね』と言うだけでも、旦那さんは物凄い喜んだりするんです。人間というの

瞬間から私達の心の中の力は猛烈に溢れ出します。そして猛烈に自分を、私達自身の心を宇宙に向けて羽ばたかせる、そこから生まれ変わるんです。

「ヨーロッパにお城を建てる」でもいいです。「日本を変える」でもいいです。

「エーイ、政治を変えてやる」でもいいです。何でもいい。「まず家庭の和合から」を私はおすすめしたいのです。

ですがね。何でもいいんです。出来ることは一杯あるんです。変えられること

は。

は、そういうところはすごく単純なんですが、それでも、でも、その喜びの言葉自体で、本当に家庭が変わってしまうという奇跡が起ころんです。

これにはお金も労力も要りません。

実は政治をえることも、日本を救うこと、地球を救うこと、宇宙を変えることだつて、そこから始まるのです。

これが私がスペースプラザーズから教わった事の結論です。いまだに私も教えられた事は一杯あるんです。変えられることもそれをしてやっている生徒です。

しかししながら、それをやり続けることはすごく楽しいなと、最近ようやく

そう思える所まできました。そのうち、たぶん何をやつても楽しくてしようがない、という境地に至りそうだという

のが、おぼろげに私の人生でも最近見えてきました。

でも、この気持を本当に沢山の人と分かちあいたいなあと思います。それが、私がこのような場所でお話をし続けている一つの大きな理由です。

まあ、そういつたことを私はブランズから教わりまして、地球上の生活でいろんな所でブランズから教わった事と照らし合わせて、いろんな意味で地球人が宇宙に羽ばたいて行くためのバランスということを考えてきました。

それでいいんです。そのイメージを持ち続けることなんです。ただし、それをやろうとすると、現実とのギャップの中で悩むのではないか、という人もいます。しかし、それをすぐに現実にしようとして焦るんではなしに、そういう自分がイメージの中で一人楽しく雄々しく生きているんだと、いう

ことを常に持つておくだけでも、その

## ノストラダムスの予言について

さて、今度は最近のブランズから

の情報について、特にこれから私達の国際的な観点から見る創造性の問題についてお話をしましょう。

今まで述べた価値観というのは、本当に貴重なベースになるわけですが、その価値観から見た場合において、特にこれから二千年までは一つの大きな時代の節目なんです。ノストラダムスの予言があります。一九九九年七月の月、アンゴルモアの大王が空から降りてきて、マルスは地球をほどよく統治するだろう、というような内容の予言詩があります。

私は、あれは当たらないという話をしました。あれは否定的な（暗いマイナス）意味では当たらないんです。あれは終末の予言ではないことは明らかです。しかしもっと重要なことは、ノストラダムスが大超能力者で、今の時代を明確に読み取ったということではなく、もっと重要なのは、未来を予言して当たっている予言というのは実は沢山あるんです。私達の歴史の中にも、多くの予言者がいて、その中には当たつているものも一杯あるのに、なぜあのノストラダムスの予言詩がこれだけ沢山の人々に注目されているのか。そこがポイントなんです。

要するに我々の意識を、我々が無意識で、潜在意識の中すでに感じてい

る未来の光景を、何か刺激するヒントが、あのような予言文書の中にあるといふことなんですね。

そういう観点から読み取ってみると非常に面白いと思いますね。アンゴルモアの大王の『アンゴルモア』といふのは、あのノストラダムスの予言詩を最初にアメリカで近代になつて翻訳出版したヘンリー・C・ロバートといふ人は、モンゴリアンの作り替えだと言っています。そうすると、世紀末の一九九九年、地球の文化を変えるのはモンゴリア、要するに中国を含めた東洋圏全体の一種の東洋的な文明だとうことを予言しているとも考えられます。

さらに、マルス。あれは今まで火星と訳されてきました。確かに占星術でいくと中国の子牛星というのは火星なんです。ですから中国対西洋という構造の中で新しい文明が生まれてくるだろうというふうにもどれるんですが、もう一つ、最近ちょっと気になることが出てきました。

最近やたらと経済情報誌のなかでも、一般の新聞や本や雑誌のなかでも自立つてきたのが、インターネットという言葉です。これはアメリカで戦略的に生み出した通信網なんですが、インターネットの先にはキヤルスというシス

テムが用意されているといわれています。これが東洋圏で現実化するかどうかは微妙な問題です。むかしアメリカはスーパーサテライト構想という通信衛星ネットワークを使って世界をつないでしまおうという情報網の推進をすすめましたけれども、これは今のところうまくいつていません。

こんど出てきたのはキヤルスです。これはかなりリニアリティーがあります。この前コンピュータ業界では、ビル・ゲイツ率いるコンピューターのアメリカの大軍団マイクロソフト社が、ウインドウズ95というのを発表しました。このシステムの中にはすでにインターネットからキヤルスに向かうためのシステムが組み込まれています。

これは世界的な大ヒットになつたといわれているんですが、非常に戦略的だという見方もあります。

実はこのキヤルスが普及した場合に我々の生活をどう変えるか、ということをちょっとお話ししておきたいと思います。これは実は私達の創造性と非常に密接につながる事なんですね。

要するに、キヤルスが普及しますと、二三人でやつている何かの仕事が、大手商社を超えるような利益をあげる場合があるというシステムなんです。たとえば、皆さんのなかの誰かが「私はここでこういう仕事がしたいんで手を上げる」とします。そうすると、その手を上げた瞬間に、世界中か

らそれに共鳴した人が、自分もやりたいといって、みんな手を上げるんです。そしてワーッとよってたかつて仕事をこなして、そして出来上がつた仕事を宣伝活動や広報活動は、またそのコンピューターネットで打ち込むのと同時に光の早さで世界中に伝わるんです。

要するに、たとえば中小企業が大手企業に追いつけない理由というのは、人件費と宣伝費の問題だけなんです。それがほぼ解決してしまうという、とんでもないシステムなんですね。

## 創造性は個人の

そうなるべくと、何が重要になつてくるかというと、世の中で今いちばん精神の世界から遠くにあるといわれている経済の世界の中での、その中でいちばん重要なのは、個人の創造性です。創造的なものに即、価値がつく時代になるんです。創造的なオーディナリティー溢れる個人の発想が、世界を相手に表現できる時代がくるんです。

ただそこで、いろんな国家間の闘争やら利権争いやら、いろんなものがあるでしょう。しかしそんなものを乗り越えてうまく活用すればよいのです。ただ、そこでもつとはつきりしてくことは、創造性なきものは滅ぶ時代になるであろうということです。

たとえば、ここにオシボリがありま

す。これを眺めたときに「オシボリはオシボリだ」と言っているだけでは創造性はゼロです。そこでゼロから何かを生み出そうとした場合に、このオシボリが会場全体ぐらいの大きさだつたらどうか、オシボリを逆さにしたらどうか、縮めたらどうか、三つに切り離したらどうか、ねじつてみたらどうか、広げてみたらどうか、黒く塗つてみたらどうか、青く塗つてみたらどうか、光をこうあててみたら何になるか等。ここから無限にいろんなアイデアやイメージを引き出す方法があるんです。

いま言ったようなこと、つまり「なぜ、なぜ」を沢山ぶつけてあげることですね。そこから出てきたものから、いろいろなアイデアや、商業的な価値が生まれると思いますよ。

たとえば私達がこうやって、関心をもつてウォッチングしてきていますUFOの問題一つにしても、これから大きく世界に情報が公開されてゆくと思います。事実、いま皆さんもうすすんでいます。事実、いま皆さんが、軍関係の情報等に関しても、もうこれ以上隠蔽しきれない状態のぎりぎりまできております。ほほ公開される期日は迫っているとみてよいでしょう。いろんな所から洩れ出てくると思います。

## 未来は世界が一体化する

さらそこから先には、宇宙人との

本格的なコンタクトの時代もやつてくるでしょう。たぶん二〇二〇年前後だと思います。

それ以前にまず私達が宇宙人になる時代がくるでしょう。宇宙に出てゆかなければなりません。本当に私達の創造性で、私達の足で、手で、宇宙に私達を表現してゆく時代が訪れます。そこに至るさきかけはまずコミュニケーションの変化から始まるでしょう。表現する範囲の変化、空間の変化から始まるでしょう。

そういうものの要求から生み出されてきているものが、このインターネットやキヤルスだと思います。ですから、そういうキーワードがあるんで、予言なんかも、私達の集合無意識といいますか、私達のそこでつながつてゐる全体的な意識そのものが、あれを気にし始めているんでしょう。

さらに、聖書の中のヨハネの黙示録の中に、この一節があります。「泣くな、見よ。ユダ族の獅子、ダビデの若枝が時を得たので、七つの封印を解く」

これは救世主出現の予言だと昔から言われてきました。ダビデの若枝。この若枝は、一人の救世主が突然出てきて、空中浮揚をして世界を救うというようなことではないんです。枝なんですね。若い枝なんです。新しく出てきたネットワークが七つの封印を解くという意味です。そうすると何でしょう、

七つの封印とは。

これは海です。七つの海を超えるんです。そして七つの海に隔てられた国々を、非常に自由に交流できる人対人。個対多。一即多。多即一のネットワークにしてゆくんです。ただここに向かうときに途中でいろんなワナが待っています。そこで集中管理をしようとする人達も出てくるでしょう。そういう国家も出てくると思います。

そうではなくて、我々の個性を表現する場として、ポジティヴに、我々自身がそういうものをウォッチングしていくことによって、そういうシステムは全部我々の創造性のために使われるものにかわってくるんです。ここに私達の未来があるようになります。

さて、私達の心の中には偉大な力が潜んでいる、そしてそれは即まわりにいる人達と密接にコミュニケーションしているということなんですね。時間空間を超えて、特にテレパシーがそうです。中国では古代から人間が持つてゐる無意識のテレパシー能力を、その一部をやはり氣というものの中にとらえました。(このあと、超能力の事柄でもあるのですが、これについてのお考えはどうですか。

**答** ほんとに世紀末になりますと、この種の問題は非常に心配になるところだと思います。まず回避されるであろうと、ただし、まず回避されるであろうと、いうふうに思います。というのは、ブルガーズが気にかけているところといふのは、こういった問題と、いうのは非常に誤解されやすい部分もありますので、どういうメカニズムかということを申し上げておきます。

地球の全体的な運行というのは、やはり地球のバイオレーシヨンと、その上に生息する人類のバイオレーシヨンのコムニケーションによつて成り立つてゐるわけです。たとえば地軸が立

## 質疑応答

講演後の

〈回答は講演者による〉

問1 某地球物理学者をはじめ、二、三の著書を読んだことについて質問致

します。地軸の移動について、近々軸の移動がある可能性があると仮説を説く学者がいます。その場合、大規模な地震をはじめ、いわゆる地殻変化があり、地球規模の大災害に見舞われ、人類の滅亡に近いものがあるというこ

とです。新アダムスキーニ全集にも二、三ヵ所スペースブールが心配している事柄もあるのですが、これについてのお考えはどうですか。

**答** ほんとに世紀末になりますと、この種の問題は非常に心配になるところだと思います。まず回避されるであろうと、ただし、まず回避されるであろうと、いうふうに思います。というのは、ブルガーズが気にかけているところといふのは、こういった問題と、いうのは非常に誤解されやすい部分もありますので、どういうメカニズムかということを申し上げておきます。

化して自然の中で大きな変化が起こるという問題にしても、それは変化を促してしまう私達側からのバイブルーシヨンがあるからなんです。

問題は、要するに私達の未来というものは扇を広げたようになっています。

ですから、ある程度広い範囲で自由に選べる選択性があるわけです。先へ行けば行くほど扇は広くなってきます。その扇の最悪のケースと最高のケースの両端があるわけです。最悪のケースの中の可能性としては、いまのところ地軸がひっくり返るとか核で滅びるとか、そういう問題が微妙に出たり入ったりしているような状況です。

基本的には今までの自然界の法則でいきますと、我々は扇の真ん中あたりにいるわけです。だからまずこのよな事は起こらないと断言してよいと思います。

**問2** ブラザーズはテレパシーで交信

しあつてているので、言葉を必要としないのでしようが、もし言葉を発するとしたら、どんな言葉でしょうか。もしかすると日本語にとても近い言葉ではないのでしょうか。というのは、日本語のアイウエオの四八音声は宇宙の響きを感じて作られていて、一音一音に規定思念がこめられているようなのです。日本語と宇宙語は何かの関連があるのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

**答** これはきわめて興味深い質問だ

と思います。（地球へ来ている）ブラザーズはテレパシーを使わない状態のときには、たとえば、英語をしゃべることもあるからなんです。

でも彼らの持つてる言語をしゃべることもあるんです。それは要するに私達に合わせているわけですが、ただし彼ら同士も彼らの持つてる言語をしゃべることもあるんです。それはちょっと表現しにくいやべる傾向があるように思います。

ただしこれはブラザーズから聞いたことがあります。それはちょっと表現しにくい感じですけれども、深い音で速くしゃべる傾向があるように思います。

それでも、非常に古い時代に太陽系に共通する言葉があつたというのです。それがあるんですが、やはり日本語に

お伺いしたことがあります。特にご質問の中に出でてきておりますアイウエオの四八音声に関しても、そういつた意味では非常に古い時代の太陽系語ともいうべき言葉の流れを非常に深く汲み言語ではないかと思います。

**問3** 世界各国で核実験反対と平和的

いのでしようが、もし言葉を発するとスや中国での実験強行に対し、スペースピーブルはどうに評価されておりますか。

**答** これも非常に重要な要素を含んでいる問題です。特に今回フランスの核実験は話題になりました。その間に中

いる状態があります。

ただし、想念的な観点からいきますと、ようやく本格的な世紀末がやつてきているのに、それに対する我々の恐

れの反動が表われてきたとみるべきだと思います。

本当に想念の価値観が理解して頂ける方が非常にふえている反

面、それを理解した上でふたたびまた恐怖を持たれる方が多いと思うんです。どうなるのかと。そういった部分が反動的に形に現われていると思います。

それも非常に平和な自然環境の象徴であるような場所で、ああいう実験がわざわざ行なわれることには、そういう想意的な背景といいますか、私達の潜在意識にある一つの恐怖の現われが出ているようにも思います。

だから、やはり恐れないと、これが大きなポイントだと思いますね。

それが大きいと思います。

会員一人一人に何を望んでいますか。

**答** これはスペースピーブルが以前に私におっしゃられたことがあるんですけどが、UFOの問題を知っている人ほどそれを活用しなさいというのです。これが重要だと言わされました。想念的な問題であるとか、スペースピーブルの文明がなぜ我々以上に自由になれたか、といったようなポイントを、我々がやはり生活の中で知っているがゆえに、より以上にそれを実践に移してゆくこと、これに尽きるということです。

**問5** 性の件ですが、病院での体外受

精などが行なわれていますが、これは宇宙的にはまずいでしょうか。

**答** これも大きな問題だと思います。私達が生存している自然な営みを機械的に行なう、またそれが変わつてゆくということが、いまいろんな分野で起きているのです。たとえば医療の分野でも非常に危機的な状況で生まれてきた胎児を救う技術はものすごく発達しましたけれども、その分、もともと生まれつき体の弱いお子さん達が世の中に沢山出でてきているわけです。

でも非常に危機的な状況で生まれてきましたけれども、その分、もともと生まれつき体の弱いお子さん達が世の中に沢山出でてきているわけです。

ですから、やはりこれも、そういうことが悪いとかいいとかいう問題以前に、バランスという観点からみるべきだと思うんです。たとえば我々がいまの肉体を持つたまま宇宙へ出でゆ

ます。そこでもし出産が行なわれたとしますと、これは非常に肉体的に負荷がかかつてまいります。たとえば宇宙空間に宇宙基地を作つたとしまします。いまの技術でいきますとね。

そういうことを超える意味で、私達は私達の体に対する科学というものを発達させる必要があるんですけれども、それを一つ間違えると、遺伝子操作であるとか、非常に一部の極端な権力の拡大、といったものに利用されることになりかねません。（以下次号）

筆者は日本GAP本部役員。オーラ透視、過去生透視等の力を有する超能力者。オーラ透視力開発法に関する著書等もある。以下は二千年前のイエスとそれをめぐる重要な群像にスポットをあてて、その実態を透視し克明に描寫した珍しい記事。筆者はオーラ透視によつて路上を歩くスペースブームを見抜いたり、病人の患部を透視する特異な能力も持つ一方、UFOの推進原理の科学的研究も行なつてゐる(詳細記事は本誌一三〇号に掲載)。

筆者は日本GAP本部役員。オーラ透視、過去生透視等の力を有する超能力者。オーラ透視力開発法に関する著書等もある。以下は二千年前のイエスとそれをめぐる重要な群像にスポットをあてて、その実態を透視し克明に描寫した珍しい記事。筆者はオーラ透視によつて路上を歩くスペースブームを見抜いたり、病人の患部を透視する特異な能力も持つ一方、UFOの推進原理の科学的研究も行なつてゐる(詳細記事は本誌一三〇号に掲載)。

## 過去生と生まれかわり

# イエスの時代を透視する

遠藤昭則

## ●永遠に生まれかわる人間の軌跡に意外な現実が展開!

「過去生」と言います。

また、過去生や生まれ変わりという言葉は、やつと現代社会でもその意味がよくわからなくとも聞いて知つてい

る人も多くなつてきました。しかしそれがいつたい何なのかということを表わす統一された定義というものはありません。

す。

アメリカインディアンのある種族、

オーストラリアのアボリジニ、東アフリカのある民族、北海道のアイヌ民族、

には数年間の期間が必要だという思想があります。

しかしそれらはどうも合点がいくものではありません。

それらのことを考慮にいれずに、單に生まれ変わりの思想を持つ宗教や民族、哲学を探すなら、それらが洋の東西を問わずに多くあることがわかります。

例えば仏教などには、人が動物に生まれ変わることもあるというような思想があり、また他の宗教では一つの生涯から次の生涯へと生まれ変わるまで

では、本当に人間は転生するのでしょうか。アダムスキーリーは、金星で女性として生まれ変わった妻のメリーリーと大母船内で再会したために転生の事実を確認したことが『UFOコンタクト』一三一号に出ています。スペースブームはそれを教えたかったのでしよう。

また新アダムスキーリー全集第七巻『二一世紀の宇宙哲学』、第一七章『リンゴの木の寓話』の中で火星人ファーコンがアダムスキーリーに次のように語りかけています。

「肉体という衣服が他の場所で活動を続けるために生命の炎を放つてしまふとき、細胞の知性は肉体の諸元素を元のチリに変えるのに多忙をきわめています。しかし『宇宙の觀知』の炎は更新されたエネルギーを注ぎ込む新しい容器を発見しています」

しかし自然界の中には、人の心の混乱に対し厳然として示してくれているものがあります。

その中でも最も身近な自然は私たちの身体です。そこには約六〇兆の細胞が活動しているといわれています。その広大な社会生活とでもいえる中で一秒間に約五千万個の細胞が死んでいきます。しかし、細胞が死んでいく新たに約五千万個の細胞が生まれるのだそうです。驚くことに、その交代劇はほぼ同時に進行しているともいわれます。昔は脳の細胞は一生変化しないといわれていましたが、それでさえも新しいものに入れ代わっている

カナダのエスキモーのある部族、バングラディッシュ、インド、チベット等々。また哲学者のソクラテス、プラトン、ショーペンハウエル、数え上げればきりがない程です。ましてや個人によつても考え方いろいろあるのですから、生まれ変わりの思想を持つ人にとってはこの地球上に多く存在しているのです。

地球ではそのようなことはまだ発見されていません。転生について調査している人はいます。例えばアメリカの医学教授であるイアン・スティーブンスが代表的な人物としてあげられるでしょう。しかしそのようないたたちの著書を調べると、過去の生涯を覚えているという人たちはたいてい二、三歳から一〇代前半の少年少女が多く、また国もアジア諸国に集まっているのが特徴です。

しかし自然界の中には、人の心の混乱に対し厳然として示してくれているものがあります。

その中でも最も身近な自然は私たちの身体です。そこには約六〇兆の細胞が活動しているといわれています。その広大な社会生活とでもいえる中で一秒間に約五千万個の細胞が死んでいきます。しかし、細胞が死んでいく新たに約五千万個の細胞が生まれるのだそうです。驚くことに、その交代劇はほぼ同時に進行しているともいわれます。昔は脳の細胞は一生変化しないといわれていましたが、それでさえも新しいものに入れ代わっている

赤ん坊が母親の体内から出てきたときに転生が行なわれると新アダムスキーリー全集第五巻『金星・土星探訪記』、質疑応答で述べています。

これらのことはスペースブームの有する、地球よりもはるかに高度な科学によって知られているものなのです。



## ●エルサレム市街全景

白い矢印の所がイエス磔刑地のゴルゴタの丘の跡。現在は聖墳墓教会の巨大な建物が磔刑地を覆って建てられている。内部にはイエスの十字架の柱の四角な穴が岩盤に残っており、そこが主祭壇になっている。画面中央の黄金色のドームは「岩のドーム」と呼ばれるモスクで、この中にはアブラハムが息子イサクを神に捧げようとした岩があり、後世にマホメットがこの岩から昇天したと伝えられている。

まさにエルサレムは聖地と呼ぶにふさわしい壮大な歴史を残す古都。

撮影／久保田八郎

ようだといわれるようになつてきまし  
た。

これらることは一つのドミノの中に  
ある「力」が、次のドミノに移行して  
それが次々と伝わってドミノが倒れて  
いくのと同じことです。死に行く細胞  
の生命力が新しい細胞の中に移行して  
活動を続けていくのでしょうか。

## 靈界は存在しない

人間は宇宙の叡知であるとアダムス  
キーは述べています。また、宇宙の叡  
知には肉体を創造するための設計図が  
あると新アダムスキーリー全集第三巻『二  
一世紀／生命の科学』にあります。

一枚の楓の葉の一部を少し切り取る  
と、そこには元の葉の形にオーラが見  
えます。つまり楓の葉の立体的な設計  
図は依然としてそこに存在しているの  
です。これは楓の葉の叡知がそこに働  
いていることを示しています。そして  
その立体的な設計図が元の形に見える  
オーラです。

となると、立体的な設計図を持つ人  
間の叡知が他の動物などに転生すること  
とは、非常に効率のわるいことになら  
ないでしょうか。つまり、人間は人間  
だけに転生することになるのでしよう。  
そしてその知性ある力はドミノのよう  
にすぐに移行していくのでしよう。だ  
から、靈界などというものがあれば、  
それはもつとも効率のわるいことにな

ります。つまり活気のあるこの大宇宙  
には靈界は必要ではないのです。アダ  
ムスキーリーも靈界は存在しないと言明し  
ています。

ところで、前生での記憶を持ちなが  
ら転生できるのであれば、生命は連綿  
と続いているということが実感できる  
はずです。そしてこのようなことを覚  
えている人はこの地球上には多いので  
す。

## 死とはなにか

では、次の生涯へと移行する死とは  
何なのでしょう。

哲学者のカントと食事をしていると  
きに、火事の現場を透視して驚かせた  
という一八世紀の科学者であり発明家、  
哲学者、そして超能力者（またコンタ  
クティーであったという説もある）イ  
マヌエル・スエーデンボルグは、死に  
が覚めるようなものだと述べています。  
新約聖書の中でイエスは磔になつて  
一度死んだと伝えられていないがらも、  
肉体を持つまま復活して（生き返つ  
て）弟子たちに会いに来ました。

また『ヨハネの黙示録』の中では、  
第二の死という、同じ肉体のままの心  
の変容を示す復活が出てきます。

スウェーデンボルグは死とは眠りのようなものだと述べましたが、眠りというのは何でしょうか。ユングが注目したといふ中国の道教の神秘的な教本、「太乙金華宗旨」には、眠っているときには力は肝臓にあると書かれています。それが正しいかどうかはわかりませんが、とにかく私たちは寝ているときに、周囲で人が何をしているのかわかりません。そして翌朝心地良く目覚めて普段の生活を始めます。

そしてアダムスキーはこの眠ることを、それによつて、「人間は毎日死んでいる」と述べています。

以上のことから考へるなら、死についても同じことがいえるのではないかと想う。

## 新生と転生

しかし眠りだけでは自分自身は進歩していません。転生とは自分自身が進歩するための新たなレッスンを得る段階です。

それならば逆に、死という段階を得なくとも、人は心の持ち方を変えることによって生まれ変わりができるともいえるでしょう。それは聖書の中では精神的な「復活」といわれているものだとアダムスキーは述べています。

しかしここで言う転生は肉体の死滅と新たな誕生を意味します。

## ケイシーの美しい転生の話

私たちの思いや行動には原因と結果の法則が働いています。したがつて転生においても、その前かいくつか前の生涯においての行ないの結果が今生において出てくることがあります。それは、こうしようと過去に思い描いていたことかもしれません。

アメリカ、ヴァージニアビーチの眠れる予言者といわれたエドガー・ケイシーが、ある美しい女性の過去生リーディングを行なつた次のような話があります。

その女性は、過去生のある時代に大金持ちの家の女中でした。もの静かで、まじめで、よく気のきく性格であつたためにどんな仕事にでも手を抜かずによく働いていました。

その主人はそんな彼女の良さに気づこうともせずに威張りちらし、なんでもしてくれた彼女にいろいろな用を押しつけるのでした。

くる日もくる日も奴隸のようにこき使われ、寒い冬の夜にも外で指が切れ、その冷たい水を使って皿洗いをし、朝にはもと凍えた水で洗濯をしていました。

「今度生まれ変わったときには、私もきれいな手になりたい」と、あかぎれやひびで痛々しくなつている手を見るのでした。

彼女は若くして亡くなり、今生に女性として転生してから人から羨ましがられるほどに美しく艶のある肌の手ですらりとした指を持つことができました。それは内部の輝きが現われているようでもありました。彼女は過去生のことは忘れていたのですが、内部の叡知は覚えていたのです。優しい善良な心を持つ人は来世で報われるのです。これを因果応報の法則といいます。

## 教会は転生思想を否定したのか

ところが教会は転生の思想を否定する傾向に六世紀頃からなってきたともいわれています。それは五五三年に開かれた第二コンスタンティノープル會議が境目となつているようですが、詳しいことはわかりません。それは聖書の記述をも変えるほどのものであつたという説もありますが、これらのことはヨセフ・ヘッド他著の『転生・不死鳥の炎のことく』(邦訳はない)に詳しいようですが、これから歴史の探究によつてわかつてくるでしょう。

## 過去生を知ることはできるか

自分の過去生を思い出すことはできます。それは単に眠る前に起きたことを目が覚めてから思い出すことと同じことだからです。

それができないのは、自分の中にまだ「今の生」と「以前の生」というような区別をしているからです。それが内部の叡知の情報をせき止めているのかもしれません。『黙示録』の中では、過去生の記憶は『記憶の書』として出てきます。その書が開かれるのはやはり叡知に心を開いたときのようなのです。

そして大きな障害は、人によつては転生を確信していながら、今の肉体そのものが転生するというようなことを思ひ込んでいることにあるのです。心は内部の「宇宙の意識」からのメッセージの増幅器であるとアダムスキーは言つています。もしもレコードがセットしてあるステレオに耳があり、話を意志があるとしたら、スピーカーから出てくる自分の音を聞いて、スピーカーこそ転生するものであると思うかもしれません。なぜなら、そこそこ外界に働きかけて自分が存在するだといふ認識のできる部分があるからです。

しかしスピーカーはレコードの情報を増幅しているにすぎません。レコー

ドにこそさまざまな情報があるのですが、それが外に表現されているということには気づいていないのです。

そこでもう少し心を開いて、自分を守るためにつまらない物事から心自身を開放してリラックスできるなら、過去生の情報はもつとたくさん得られるようになるはずです。私たちは恰好などつけなくて始めから宇宙と一体であるものなのですから。

そして、懐かしい小学校の校庭に久しぶりに立つと旧友の顔や当時の様子を思い出すことができるよう、それを思い出す何らかの鍵があるとさらに思いだやすくなります。

たとえたくさん思い出せなくとも、小学校に通つた道の様子ぐらいは覚えているように、過去生でのことを思いだせなくとも、その通つた道程度の、何となくこうしたいという気持ち、または例えば、何となくイエスのことに興味があるという程度のことが『記憶の書』の扉を開く鍵になるのです。

また本人が思い出すことができなくとも、その人の過去生を他の人がかいま見ることもあります。それを過去生透視といいます。

しかし今回私は苦しみました。過去生を見るのに、その過去生を誤つてみていると、胃の後ろ辺りの具合がおかしかったのです（これは身体の中にある第二の脳といわれる神経中枢が、そうではないよと言つてはいるようでした）。

守るためにつまらない物事から心自身を開放してリラックスできるなら、過去生の情報はもつとたくさん得られるようになるはずです。私たちは恰好などつけなくて始めから宇宙と一体であるものなのですから。

た）。それで二日間高い熱が出て、その後のメッセージを得ることができたのでした。するとウソのように熱がひいてしまったのです。

これから述べるのは、そのようなことを引き出されてきた、はるか二年前の過去のことです。

## 東京月例セミナーある日の日本GAP

今年（一九九五年）のある月例セミナーのことです。質疑応答の時間に、転生についての質問が出されました。

それについて久保田先生は、いつものように丁寧でわかりやすい説明をされた後、こう答えられたのです。

「そう、たとえば遠い二千年前の過去生でアリマタヤのヨセフであつた人が転生して現在生きていることもあるのです」

その声は誰も気づかずに風のように過ぎていきました。しかしその回答を聞いていて、私はハッとしました。

突然に変わった先生のオーラの色、そのときに感じた強い印象。ふと『UFOLONTAKUTEI』誌一〇四号にのせていました。それは次のように書いてありました。それが次のように書いてあります。これは今回さらに詳しく付け加えてありますので、当時の状況が鮮明になつてくることと思います。

透視といいます。

その間、私は朝日が射し込むようになります。中は朝日が射し込むようになります。とても明るいのがわかります。とても裕福な家庭です。

先生は体格のよい男性であり、サンダルのようなものを履き、白い、長い服を着て、赤い紐をボタンのようなものに結んでいました。

先生はイエスと、ときどき話をし、イエスから放たれるフィーリングをよく覚えておられました。それは他の人は違うフィーリングだったからです。またローマ総督ピラトとともに話のできる人であつたようです。

透視しますと、イエスが磔刑に処せられるゴルゴタの丘までよろめきながら歩いて行くビア・ドロローサ（嘆きの道）という道では、先生も当時路傍の群衆よりも見やすい位置で見ていました。それがどこであるのかはわかりません。

ピラトはローマ皇帝とは表面上うまくあわせているだけでした。しかしそれ以上に気にかけていたのは、やはり元老院の人々のことだったのでしょう。

ユダヤ人の中には、ローマ人ととの混血もいました。

イエスの母親のマリアを透視すると、

## イエスの時代の久保田先生

透視をしますとシュロの木が家の中に数本、壁際に並んでいる室内が見えます。石造りの当時にては高級な家です。中は朝日が射し込むようになります。そこから引き出されてきた、はるか二年前の過去のことです。

これはキリスト教の絵画のように弱々しい姿ではありません。

イエスの後ろには、身体のがっしりとしたローマ人たちや見物する人たちが見えます。しかしローマ人たちはどうもイエスを民衆から守っているように見えます。

それはもしもイエスが正しい人であったことがその後でわかつたら、ローマの元老院から厳しい処分を受けることを恐れるような、そんな彼らの不思議な二面性でもありました。

その人々から離れたところに沢山の人々が見えます。その中には、ローマ人よりも少しだけ背の低い人が見えます。これはヨハネでしょうか。その群衆はイエスの教えに共鳴して従つてた人々のようです。

ピラトはローマ皇帝とは表面上うまくあわせているだけでした。しかしそれ以上に気にかけていたのは、やはり元老院の人々のことだったのでしょう。

また、ローマ兵には怠け者が多く、ピラトは余計にいらいらするばかりだったようです。

## イエスの磔刑

に警戒しておられたのです。



▼イエスがゴルゴタの処刑場に通じる道（現在はビア・ドロローサ〈嘆きの道〉と呼ばれている）を歩いて何度も倒れるのを見たベロニカという女性が、イエスの顔に流れる血と汗をふくための布を差し出した。以来ベロニカは「優しい女性」の象徴とされている。イエスの弟子であったようだ。



▲ゴルゴタの丘の処刑場へ行く途中、十字架の重量に耐えかねて倒れたイエス。当時、十字架の柱はすでに現地に立ててあった。したがってイエスが担いだのは横木だけだったが、これでも推定40キロを超えていた。

（イラスト2点は久保田八郎が第2回目のエルサレム訪問で入手した資料による）

の人物が出てきます。彼がいなければ  
イエスは十字架から引き下ろされることはなく、また復活するための準備もなされなかつたであろう人物なのです。  
彼の名はアリマタヤのヨセフ。アリマタヤというのは地名で、現在のエルサレムの北西約三五キロメートルにあるレンティスという所であろうといわれています。

アリマタヤのヨセフ

あるように、このときすでに、イエスは気を失っていたのでしょうか。このとき上空に別な惑星の宇宙船がいて、イエスに放射線を浴びせかけていたようです。さらに大気を湿潤することによって、兵士の士気を低下させていた感じがします。

後世のキリスト教会が言つているような明るい印象ではなく、やや暗く、もつと不思議な何ともいえない印象を受けます。

また、イエスの磔刑の場面では、マリアその他のイエスに関係のある人が随分と出てくるのに、イエスの父親、ヨセフがどうして出てこないのかも不思議です。ここに何かの謎を解く鍵が隠されているのかもしません。

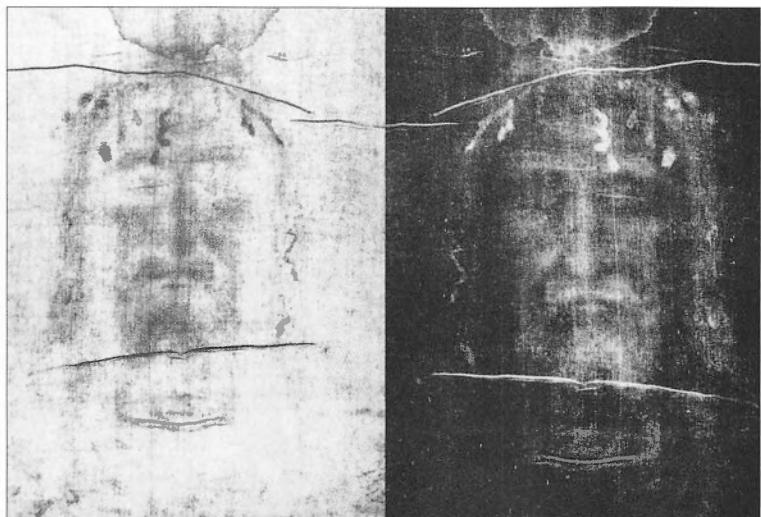
アリマタヤのヨセフは  
エッセネ派だった！

その後、ある友人からおもしろい資料が送られてきました。それは『磔刑』と名付けられた書物に関するものでした。

それはアレクサントリ亞の古い教会跡でアビニア人が発見したラテン語古写本であり、その内容は、アレクサンドリアにあつたエッセネ派教団が書き残したもので、イエスの磔刑の現場にいたエッセネ派が当時の様子を描いたものだというのです。

その内容によると私が見たものと同じようなところが三カ所あるというのです。そのうちの一つは、死海から赤みがかった霧が発生して、月が赤く染まつて見えたというのです。これは大気が湿潤化してきたことと関連があるのでしょうか。

また十字架上でイエスはすでに氣を失っていたということです。つまり仮死状態になっていたのです。このことは西暦三世紀頃の書にも磔刑に処される前に何らかの薬を（ワインとともに）飲んで磔刑時に仮死状態になつていたという記述があります。



▲イエスの遺体を包んだといわれる聖骸布。古代から伝わるもので現在はバチカンが所有している。左半分が元の布に転写された人物の顔で、これを撮影したネガフィルムが右半分。これが謎の顔を正しく現わしたものとして世界の学会の注目の的になっていた。1988年バチカンが布の一部を切り取ってヨーロッパ各地の研究所に送って炭素14年代測定法で検査させたところ、14世紀の物だという結果が出たという。これについて秋山眞人氏は、カトリック内部の抗争のためにわざと偽物情報を流してケリをつけたと言っている。

、さらに面白いことに、アリマタヤのヨセフとニコデモはエツ、セ、ネ派の一人として、ヒーリング（治療）の技術に長けたといけていたというのです。彼らは十字架上のイエスの腹からまだ血が流れているのを見て、イエスは死んでいないことを知りました。

そこで、アリマタヤのヨセフがイエスを下ろして引き取り、二人で特別な薬草や軟膏、酒などで手当をしたとい

うのです。（もちろんそのようなことだけでイエスは癒されるはずではなく、上空の宇宙船からの放射線、また聖書に出てくる「白い衣の二人の天使」と呼ばれるスペースピープルによつて助けられたようです。そのときの宇宙船からの放射線によつて、聖骸布にあのようにくつきりとしたイエスの形が出たのではないでしようか。）

赤い色を放つまでに熱せられた金属が聖骸布と同じように刻印されることを発見しました。

赤外線は身体を癒すことによく使われるのですが、単にそれだけではない光線がイエスの身体に照射されたのではないでしようがないでしよう。

しかしイエスはまだ死んではないだろうと思つていた人物がもう一人いました。それは意外にも総督ピラトだつたのです。彼が丁度よい布を用意していたのはなぜなのでしょうか。この書には、そんなことも出でてきます。

そしてここで特筆すべきことは、アリマタヤのヨセフがエッセネ派であったということです。

## エッセネ派同胞団

当時はいろいろな派があり、その中に律法を守り行なうものという意味のエッセネ派というものがあつたといわれています。

そしてエッセネ派というと、死海の近くにあるクムランの洞窟で活動していたクムラン教団とすぐに結び付けて考えられることが多い、エッセネ派イコール、クムラン教団とまでみなされることがあります。

ところがエッセネ派というのはクムランだけではなくて、エルサレムその他の地にも広く分布して活動していた派であり、その派はまた今日エッセネ派についていわれているような極端な禁欲主義や菜食主義、また障害を独身で過ごすというものはなかつたようです。ただその派の中にもそのようなことを信条としていたグループがあつたようなのです。

しかしイエスの教えを実践し、宇宙的な哲学を学ぶ集団であつたことはいえません。

ですから、アリマタヤのヨセフがエッセネ派であつたということは充分に考えられることなのです。彼はエルサレムで裕福な家庭にありながらエッセネ派であつたということがいえるわけです。

そしてエッセネ派というのは本当のところ、いろいろな派とも接触が自由であつたようです。そこで、イエスがエッセネ派の中で言われていた「義の教師」であつてもいつこうに不自然ではないわけです。つまり、イエスはエッセネ派を指導してあつたと考えられるわけです。

しかしここで謎が出てきます。クムランの洞窟から発見されたクムラン教団の『死海文書』には、エッセネ派とかしその言葉はだんだんと、「ニイザルエ」となつたのです。つまりこれは、

う言葉はフラビウス・ヨセフスの書物にみられます。

そしてある書物によると、エッセネ派の語源について調べてみれば、なんと当時は、それに近い言い方か、または違う呼ばれ方をしていたというので過ごすというものはなかつたようです。

それは「ナゾレ派」という言い方です。それはやはり律法を守る者という意味なのです。

そうなると、イエスはナゾレ派（ナゾレ派）にいたとも言えます。また、イエスがナザレで生まれていなくとも、後世の聖書を編集する人が、イエスはナザレで生まれたとすることができたそうですから。

この書物に出会う以前、私がアリマタヤのヨセフやその周囲の人々に関する透視をしていたときのことです。何だか見たこともない言葉のつづりが見えたのです。それはアルファベットでした。カタカナにすると、

「ニーハザール」

「えつ、北のザイール？」 それともナ

イジエリア？」

そんなことを思つたものでした。しかしその言葉はだんだんと、

「ニイザルエ」

となつたのです。つまりこれは、

派と呼ばれていたのではないでしようか。

さらに、洗礼のヨハネがエッセネ派に喜んだのは、それも何か他の意味を示しているようでもあります。そうなると、洗礼のヨハネにイエスが会いに行き、そのヨハネが喜んだのは、そもそも何か他の意味を示しているようでもあります。

さて、洗礼のヨハネがエッセネ派にいたのなら、彼らは街中で何くわぬ顔をしていても、その派の中でイスの教えに接してそれを充分に研究できたことも考えられるわけです。

また、アリマタヤのヨセフが宇宙哲学のようなことの書き物をするときは、クムランの洞窟のような所でもするのでした。しかし当時そのような洞窟や、またそれに似た住居が多くあるのが透視で見えます。ですから、洞窟が見えたからクムランにいたとは一概には言えないのかもしれません。

そして、当時洞窟で一緒に活動して、いた人たちが転生して、現在の日本G.A.P.にも何人かいます。

その上、このヨセフは、イエスの磔刑直後という場面において重要な役割

を果たすのですが、それはまるで誰かと打合せをしておいたように、てきぱきとうまく行動しているのです。

そこである人物の名前が心に浮かんできます。それはヨハネです。彼がアリマタヤのヨセフとニコデモに打合せをしておいたと思われます。

そして、マグダラのマリアは墓を見に行く役割をして、イエスが墓にいることをシモン・ペテロとヨハネに知らせたのではないかと想われます。

ですから、アリマタヤのヨセフは、それまでイエスを陰で支えてきた人物であるということを何とはなしに匂わせているようになります。

付け加えるなら、対するピラトはなぜイエスを処刑したがらなかつたのかという一つの理由には、ピラトの奥さんもエッセ派と何らかのつながりがあつたと思えるところがあるからです。それは奥さんが夢をよく活用していたらしいことがあります。これはエッセ派もそうでした。そしてイエスに病気を治してもらったことがあるということが、フラビウス・ヨセフスのアラム語版『ユダヤ戦記』に出てくるといふ話もあります。

## 教会の聖書の奥にある真実

それではと聖書を調べても、その記述には当時の様子を知るには物足りない面が多くあります。

聖書は教会に都合のよいように原文を訳し、付加削除もわざかに行なわれ、また記述された順番が入れ代わっているところもあるのではないかという説も以前からありました。

それは歴史の真相を知ることができないのではないかといわれる에서도うが、それがまた謎解きの面白さにもなっています。

また、イエスはアラム語という言葉で話していたと言われています。それはその近辺の国々でも通じる言葉であつて、イエスはそれによって誰にでも語ることができたようです。

## ヨハネの福音書が謎を解く鍵

マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの四つの福音書の中で最も描写に富んでいるのはヨハネの福音書です。あまりにも他の三つの福音書とは書き方が異なるので、日本でも疑問視されていることが多い過去にはあつたほどのものなのです。しかしそれだけ気になる福音書であるともいえます。

そして昇天していく前にイエスはペテロにいうのです。

「彼（ヨハネ）は私が戻つてくるまで生き続けるだろう」

と。それもこの福音書にだけ書かれていることです。それで他の弟子たちは、ヨハネは死なない人だと噂し合うことになります。

## アダムスキーリーはヨハネだつた

これはイエスが（地球へ）戻つくるときにヨハネはこの地球で会う約束があることを示しているのだと久保田先生は以前話しておられました。

そしてアダムスキーリーは二千年前のヨハネであり、またその約束があるカリフォルニアのデザートセンターでなし遂げられたということも『UFOコンタクティー』誌一八号で先生が詳述されています。

そしてその記事からは、深遠な宇宙哲学と壮大な転生の法則を感じさせるものがあります。

そしてアダムスキーリーの日本での唯一のコーワーカーとなり、また先生がスティースピーブルに援助されていることをアダムスキーリーがじかに彼らスペースをアダムスキーリーと先生は関係があつたのだと思われます。

## イエスとピラト

ピラトがローマ皇帝に宛てた書簡というのがあります。これはパチカンやイスタンブルの聖ソフィア寺院に埋もれていたさまざま書簡の中の一つもアダムスキーリーと先生は関係があつた。彼らはイエスが（私から）自由を見ており、彼に自由に話させていました。

しかしユダヤ人たちは怒り始めました。彼らはイエスが（私から）自由を与えられたことを知り、イエスを妨害し始めたのです。

私はイエスを官邸に呼んで言いました。「あなたは聖人の言葉で、ソクラテスやプラトンのように話すことができるし、また簡単でわかりやすく、しかも威厳のあることを話しますね。

それは危険だ。ソクラテスを見てもわかるように、民衆の餌食になつてしまふよ。気をつけなさい」

ある日イエスが説教をしている横を通りかかりました。イエスは多くの民衆よりも幾分か背が高く（注）これは当時のユダヤ人は背が低かつたため、その中で高かつたということで、たぶん一六〇から一七〇センチメートルくらいの間であつたと思われます）、木にもたれかかりながら話をしています。

ある日イエスが説教をしている横を通りかかりました。イエスは多くの民衆よりも幾分か背が高く（注）これは当時のユダヤ人は背が低かつたため、その中で高かつたことで、たぶん一六〇から一七〇センチメートルくらいの間であつたと思われます）、木にもたれかかりながら話をしています。

「私（ピラト）はイエスをユダヤの友人というよりもローマの友人のように思っています。

した。

『あなたの言葉は本当の知恵から出でいるのではないでしよう』

私は彼の言葉に心を打たれてしまい

ました。そこで言いました。

『あなたの血が流されないように私が守ろうじゃないか。だから過激に話をしないでくれないか』

彼は微笑をうかべて、

『私の避難所は天にしかありません』

といつて出てきました。

その後、ユダヤ人はイエスに復讐ふくしゅうをしようと領主のヘロデに訴えてきました。

ヘロデは元老院に対して自分の力が弱いことを知っていたので、このことによつて自分がどうなるのかと心配なようでした。またイエスを恐れていたのかもしれません。

彼は私のところに来てイエスはどんな人物かと尋ねましたので、私は、『イエスは偉大な国々から出る大哲学者の一人ではないかと思います』

と答えました。

ヘロデは意地悪く、形だけの敬意を示して帰つていきました。

イエスが磔刑に処せられた日、私は悲しみにあふれて官邸に戻りました。すると階段の途中に一人の老人がうずくまつて泣いていました。

『何をお嘆きか?』

私が問うと彼がいました。

『私は(アリマタヤの)ヨセフです。イエスを葬る許可を私に与えて下さ

## イエスは小柄であつた

い

この記事の中に出でくるイエスは小柄です。身長は一六〇~一七〇センチメートルの間でしょう。

あるとき、イエスがそんなに大男ではなかつたようだということを私が友人に何かのきっかけで話したことがありました。すると彼はあつさりと言いました。

『そうでしょう。低かつたのです』

私は面食らいました。

「えっ?」と心中で叫びました。私の中には、イエスは一八〇センチ以上の大きな人なんだと思いたい気持ちがあつたからです。

しかしよく考えてみると、もし私が当時生きていたなら、イエスの偉大なフィーリングに接し、また深遠な話を聞くなら、彼を身長以上に大きく感じたのではないかと思いました。

ましてや当時の私の身長が低ければなおさらです。

その記憶があれば、彼は当時大きかつたと今になつて思つていても不思議はありません。

(編注)コンタクティーのM氏が別な惑星の大母船の中で見せられたイエスの記録画像も小柄だったと言つているし、スペースビープルもそのように言つていたという。したがつて「小柄な

体格たいけいが本当なのだろうと思われる) イエスの磔刑と聖骸布

さて、アリマタヤのヨセフがイエスの遺体を引き取りに来た所に戻りました。

ヨセフはピラトから垂麻布あまのぬを受け取りました。これにはヨセフが自分で葬儀屋から布を買っておいたという説もあります。

それでイエスの遺体をくるんで自分の庭の仮の墓に運んだのです。

ところで、現在いわれている聖骸布をさまざま角度から調査した結果、まぎれもなくそのときの布であるといふことがわかつてきました。それを否定することはもうほとんどできません。

久保田先生が『UFOコンタクト

イー』誌一八号に詳説されています。

そこで過去生のことがまた現われてきます。その布をくるんだヨセフが転

生して今どこかにいるなら、その布について大きな興味や関心を抱くのではないかということです。なぜなら、自分が生きるんだと考へることもできます。

この二人の姉妹には兄弟がいました。

それはイエスが生き返らせたラザロです。

このラザロの復活の話は、どうも後

のイエスの復活の例えではないかと思えるフシもあります。なぜなら、このときイエスは、姉のマルタに「永遠の生命」についての話をします。それは始めの方で書いたように、宇宙の観察と一体になれば生きたまま新生で

なることをする、つまり人が精神的に新生する(宇宙の觀知と一体となつて活動する)ための基礎を整える、そ

の基礎を人々に教えるという象徴があるのではないかと思われるのです。

## マルタとマリア

さて、もう二人気になる人物がいます。それはベタニアという小さな村(この村の近くから後にイエスは昇天しています)に住んでいたマルタとマリアの姉妹です(マリアはマグダラのマリアと混同されることが多いです)。

ヨセフはピラトから垂麻布あまのぬを受け取りました。これにはヨセフが自分で葬儀屋から布を買っておいたという説もあります。

それで、もう二人気になる人物がいます。それはベタニアという小さな村(この村の近くから後にイエスは昇天しています)に住んでいたマルタとマリアの姉妹です(マリアはマグダラのマリアと混同されることが多いです)。

ヨセフはピラトから垂麻布あまのぬを受け取りました。これにはヨセフが自分で葬儀屋から布を買っておいたという説もあります。

それで、もう二人気になる人物がいます。それはベタニアという小さな村(この村の近くから後にイエスは昇天しています)に住んでいたマルタとマリアの姉妹です(マリアはマグダラのマリアと混同されることが多いです)。

にもてなしの準備をしているのに、妹のマリアはイエスの言葉に聞き入つて、いたということも出でてきます。そしてマリアが香油をイエスの頭にぬつたとき、イエスは自分の葬りの準備をしてくれたということです。

ラザロの復活といい、香油でのイスの磔刑をおわす言葉といい、どうも「宇宙の意識の働きによって新生できる」ということを象徴するよう思えてなりません。

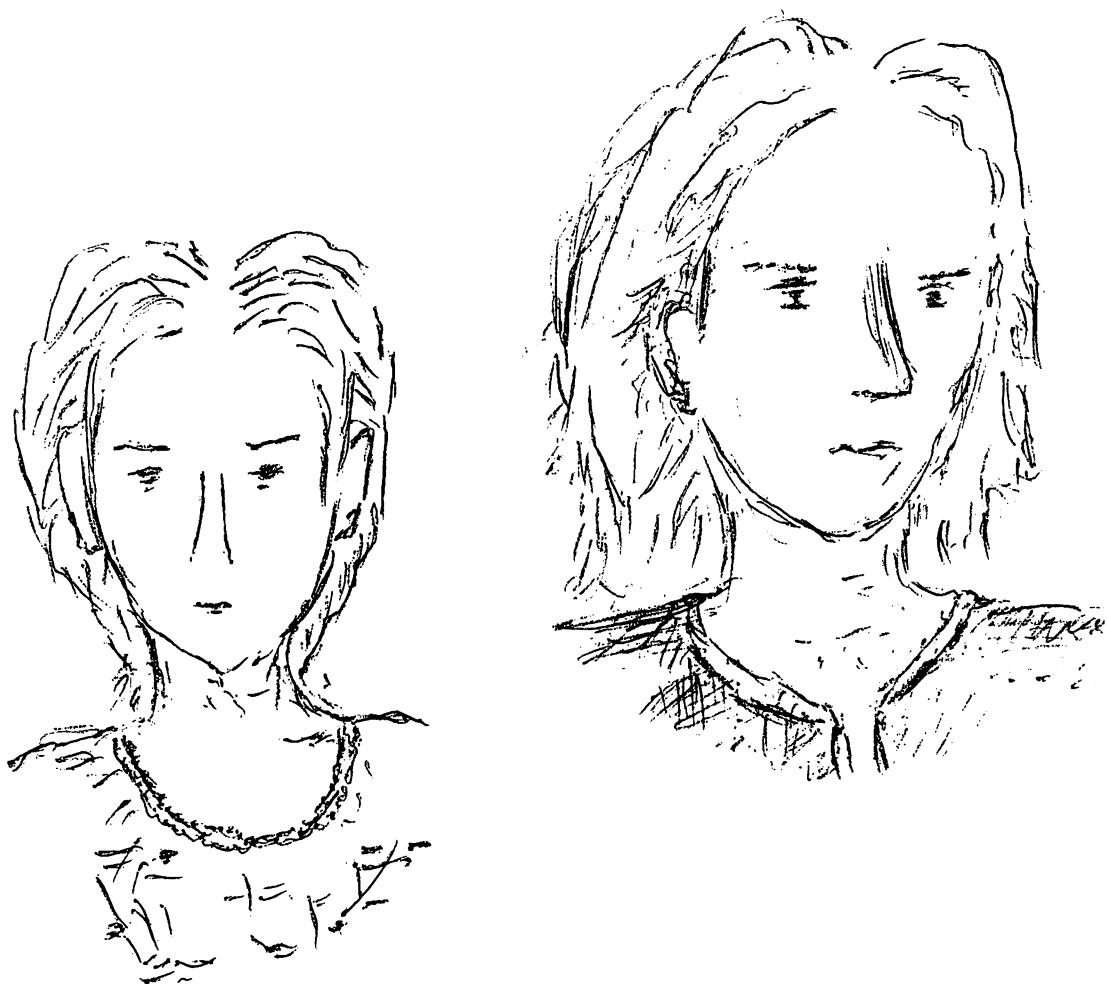
そして姉妹それぞれは、姉のマルタはシモンという病人の妻だったのですが、透視すればそこには「奉仕」という語が見え、また妹のマリアには「感受する」という語が見えます。

またマルタとマリアは、単に一寒村に住んでいたというのではなく、イエスの教えをナゾレ派の中で伝えている光景が透視で見えます。

## 今生では誰なのか

ここまで書いてきますと、その人達は今生に転生して誰になつているのかと、読者から聞かれるかもしれません。もちろんアリマタヤのヨセフはK氏です。そしてベタニアのマルタは、今生で多年K氏を助けてきたS氏です。マルタの妹のマリアは誰でしょうか。その印象ははつきりとあるのですが、ここでは伏せることにします。

私達がGAPのイスラエル旅行のと



筆者・遠藤昭則氏が透視して描いたベタニアの姉マルタ（右）と妹マリア（左）



筆者・遠藤昭則氏が透視して描いたアリマタヤのヨセフ。



▲エルサレムでイエスが弟子達と最後の晩餐を行なった部屋を模して11世紀に建てられた「二階広間」と呼ばれる部屋。

撮影／清水 正

きに見たベニアのラザロの家は、透視して見える二千年前の家とはまったく形の異なるものでした。後世の人があり直したものなのでしょう。

右の人々は今生においても二千年前の過去生と同じような目的を果たすため今も近い関係にあると思われます。

## 壮大なスペースプログラム

ここまで書いてくると、やはりスペースプログラムの壮大なスペースプログラムは聖書のどの場面にも出てくるものなのだなど心させられてしまいます。

「ニコデモ書」の中でイエスはピラトに、「あなたに与えられた役割を果たしなさい」と諭すところがあります。

それは、「あなたの役割を演じきりなさい」と一つの舞台で監督が演技指導をして

いるように聞こえてなりません。

## 二千年が過ぎても気づかな

アダムスキーリーは、もう西暦二千年は過ぎていると新アダムスキーリー全集第八巻で述べています。彼は一九三九年が二千年目だったと述べています。

ところが、私たちはその二千年が過ぎてもこの壮大なスペースプログラムのあつたことに気づいてはいません。

そして、そのスペースプログラムは何の目的があつたのでしょうか。それはもちろん地球の人々を宇宙的な方向に導くためだつたのではないでしょか。それは平和に幸せに導くことと同じことでしょう。

それによって地球の大気に放たれる

## その目的

アダムスキーリーは、もう西暦二千年は過ぎていると新アダムスキーリー全集第八巻で述べています。彼は一九三九年が二千年目だったと述べています。

ところが、私たちはその二千年が過ぎてもこの壮大なスペースプログラムのあつたことに気づいてはいません。

そして二千年が過ぎたのに、それでも終論を期待する必要はあるのでしょうか。むしろ未来に大いなる希望をもつぼうがるかに重要なмыслいます。

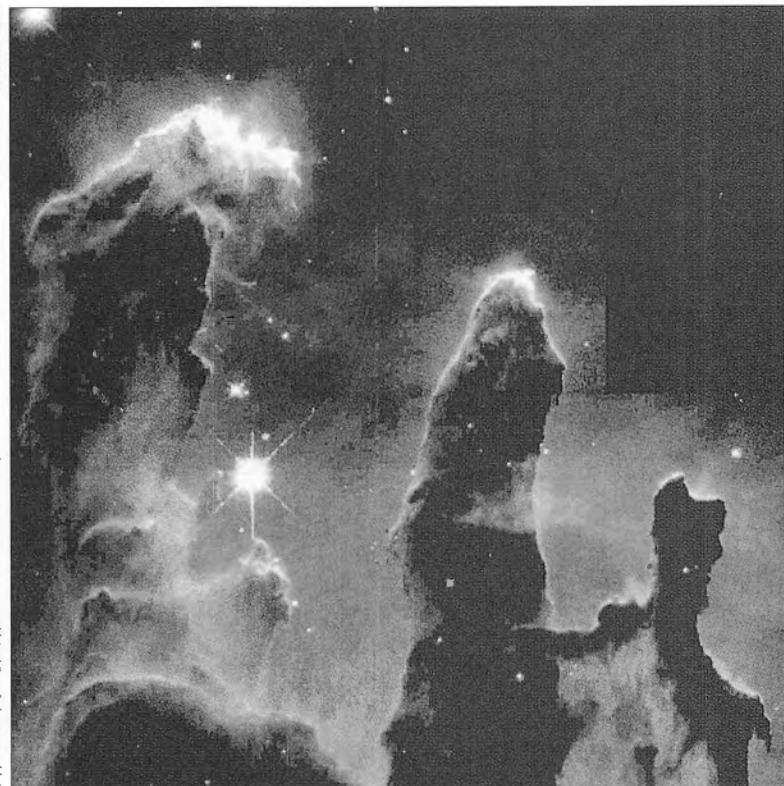
人々の想念波動も高くなることでようから、それはこの地球 자체をも救うことであつたのかかもしれません。

## なぜその時代に

では、なぜその時代にそのような大きなプロジェクトが行なわれたのでしょうか。旧約の時代からいわれていたことではあるようですが、なぜ今から約二千年前なのでしょうか。

アダムスキーリー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』にあるように、また他の巻での土星会議で知らされた他惑星間が地球で行なってきた過去の出来事ともつながりがあるのでしょうか。

それは旧約の中に、それ以上に何かもっと深い意味が込められているからなのでしょうか。



### 星の誕生

米航空宇宙局（NASA）のハッブル

宇宙望遠鏡が星雲から星が孵化するよう

に誕生する姿を鮮明にとらえた。画像は

わし星雲（M16）と呼ばれる水素ガス

と塵でできたガス雲の柱の突端から、複

数の星が分離して生まれる姿である。

M16はへび座にある若い星が集まつ

た星団を取り巻くように形成されている

星雲で、地球から七〇〇光年離れている。画像では、縦に伸びた柱の突端に生

まれようとしている星が光り輝いて映っている。（11・4 読）

### 若い胃癌患者は九割が細菌感染

若くして胃癌にかかった人のうち約九

割もの患者が「ヘリコバクター・ピロリ」

という細菌に感染していることが、順天

大医学部衛生学教室のグループの調査

で明らかになり、ピロリ菌と胃癌の関係

が濃厚になつた。

同グループは関東地方の病院に入院し

た胃癌手術前の患者六四八人と健康診断

受診者一〇〇七人の血液検査を実施し、ピロリ菌に対する抗体の有無を年齢別に比較した。

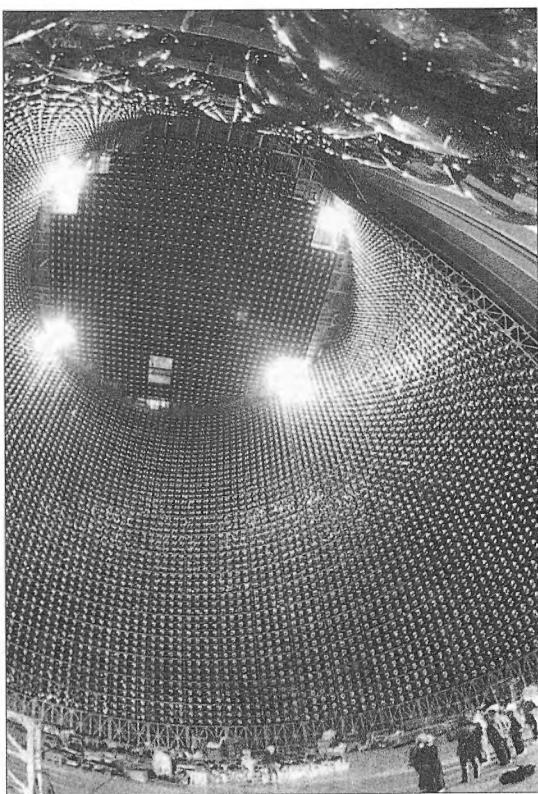
その結果、若い人は癌患者と健康な人の間の感染率に大きな開きがあり、二〇歳代では健康な人の二八パーセントしかピロリ菌抗体陽性の人がいなかつたのに對し、胃癌患者では九四パーセントもが陽性だった。三十歳代でも健康な人の陽性率が四三パーセントであるのに対し、胃癌患者では八九パーセントと大きな開きが出た。日本ではピロリ菌の感染率は高齢になるほど高いが、胃癌患者では年齢にかかわらず、九割前後の高い感染率だつた。（10・4 読）

素粒子を追う一万個の目

岐阜県の神岡鉱山に東大宇宙線研究所が建設している「スーパーカミオカンデ」が完成した。厚さ一キロメートルの岩盤を隔てた地球深くで約一〇〇〇〇個の電子の目が銀河系の中心部からやつてくる謎の素粒子「ニュートリノ」を検出するため、巨大な水槽の中を見つめようとしている。

直径三九メートル、高さ四一メートルの水槽に五〇〇〇〇トンの水をたたえ、一一二〇〇個の光電子増倍管（光センサー）が、ニュートリノと水がぶつかって出る微弱な光をとらえる。（9・21朝P CCB分解バクテリア

強い毒性がありながら処理が困難なPCB（ポリ塩化ビフェニール）を分解し、トルエンなどの有機溶媒の中でも生きられるバクテリアを、神奈川県環境科学セ





ンターと民間企業が共同研究で発見した。P.C.B.を分解するバクテリアはこれまでも見つかっているが、このバクテリアは従来のものより一〇倍高い濃度のP.C.B.を分解する能力があり、P.C.B.に汚染された土壤の浄化などに利用できるといふ。

同センターが一〇〇ppmの高濃度P.C.B.にこのバクテリアを加えて培養したところ、一五日間で六四・五パーセントを分解した。しかも、通常は微生物にとって有毒なトルエンなどの有機溶剤に対して強い耐性があった。(10・6読)

**幅一ニメートルの古代道**  
東京都国分寺市内で進んでいる古代日本行政区「東山道」の発掘現場で、幅一ニメートルの古代道

# GAP短信

GAP NEWS

## ●久保田会長、名古屋で講演

去る一月二三日、名古屋駅前のホテルアソシアの大ホールで開催された日本薬局協効会愛知合同支部大会で、日本GAP久保田八郎会長は特別講師として招待を受け、二〇〇名の薬局経営者を前にして二時間半にわたり「太陽系文明と宇宙哲学」と題する講演とスライド映写を行ない大好評であった。大会の実行委員長である古川弘明氏が日本GAP会員であるため実現したものの。

## ●会長、東京造形大学でUFO講演

続いて一二月一日には都内八王子市の東京造形大学で一五〇名の学生を対象に「UFOと宇宙哲学」と題して一時間半、講演とスライド映写を行ない、これも大成功であった。この大学でUFO関係の講演を行なうのは今回で二度目。これは日本GAP会員である同校の佐藤彰教授の招待によるもの。

## ●茨城支部が会報発行

日本GAP茨城支部は昨年九月より「茨城支部通信」を発行している。B5判二頁だが、各種行事やUFO目撃報告等が要領よくまとめてある。入手希望者は左記宛申し込まれたい。

〒三一五一〇一茨城郡新治郷八郷町  
柿岡一二三〇一六九 石井晴美

電話〇二九九一四四一一五三五

●誤字の謝り  
本誌先号の本欄に掲載した「黎明会報発行」の記事で、申込先が大曾根

テルアソシアの大ホールで開催された日本薬局協効会愛知合同支部大会で、日本GAP久保田八郎会長は特別講師として招待を受け、二〇〇名の薬局経営者を前にして二時間半にわたり「太陽系文明と宇宙哲学」と題する講演とスライド映写を行ない大好評であった。大会の実行委員長である古川弘明氏が日本GAP会員であるため実現したものが、日本GAP会員であるため実現したもの。

匡史となっていたが、これは大根田匡史の誤りであった。その他の頁にも数カ所この誤植が散見され申し訳ない。

## ●ご注意

本誌先号の本欄で知らせたが、かねてから千葉県市川市在住の林慎子・寛子姉妹が、誰が見ても飛行機と分かる物を「飛行機型UFO」または「擬態UFO」と称して、その体験を書いたチラシや飛行機の写真等をGAPの会員に配布し、GAPに大迷惑をかけながらも当方の忠告を聞かないでの、昨年七月一七日付をもって日本GAPより除名した。しかしその後もこの双子姉妹に同調する数名がグローバル化して飛行機をUFOと称するチラシや、ジエット旅客機、自衛隊機、セスナ機、ヘリコプター等の写真をUFOだと説明して多数の日本GAP会員にばらまきながらGAP内部の攪乱工作を行なっている。このグループの主義と活動についての会報は和気あいあいたる素晴らしい雰囲気に満ちているので、初めは日本GAPとはいっさい無関係なので注意されたい。

## ●裏りある東京月例セミナー

東京本部が開催している月例セミナーは、昨年の八月で通算三〇〇回に達した。今年一月で三一七回に達している。それで昨年三月には三〇〇回達成記念の盛大な特別セミナーを開催して大盛況であった。これは久保田会長の不屈の信念、偉大な勇気、高度な知性によるものであり、またこれを支えた本部役員団、多数の会員の方々の熱烈

なご援助の賜物である。

東京月例会は原則として毎月第一曜日の午後一時から五時まで開催される。会場は東京都港区芝公園（本物の公園ではなくてたんなる地名）の世界的なタワーとして名高い東京タワーの前にある機会振興会館（地下三階の第二研修室）。日曜日は会館正面の玄関は閉鎖されているので、向かって右横の入口から入り、エレベーターで地下三階で降りてすぐ。

プログラムとしては、まず会員による語体験に関する講演、続いて久保田会長による宇宙哲学の解説講義（今年度は新アダムスキー全集第三巻「生命の科学」をテキストとして使用）、全員による超能力開発練習、近況報告、質疑応答で構成されていたが、今年度から少し内容を変更して新機軸を打ち出した。会場は和気あいあいたる素晴らしい雰囲気に満ちているので、初めで来る人は驚いている。

## ●日本GAP特別維持会員制度

日本GAPは普通会員とは別に特別維持会員制度を設けている。これは一種の寄付制度であり、普通会員がさらにはGAPの運営と発展に貢献するための援助活動であつて、絶大な役割を果たしている。これに加入すれば久保田会長が個人で毎月発行している「意識の声」と題する小冊子のエッセイが各維持会員に直送される。これは本誌に掲載されない秘話、会長独自の宇宙的能力開発法、会長の珍しい体験、行事の速報、その他、興味深い記事が掲載されている。これを綴じて保存している人が多い。特徴は常に読者に大いなる信念と勇氣と希望を起こさせるよう激励に満ちている点にある。

エッセイ「意識の声」はA4判紙面にぎっしり印刷された記事が三頁分ある美麗オフセット印刷。いずれ頁数をふやす予定という。

特別維持会員に加入希望者はハガキに「特別維持会員案内書」と書いて日本GAP宛に出せば案内書と専用振込用紙が送られる。ただし普通会員でない人が特別維持会員になることはできない。退会は自由。

歓迎する。ときには富山県や長崎市から日帰りで参加する人もある。会員でなくとも入場可能。ときには日時と教室の変更があるが、これは事前に本誌の「全国月例セミナー案内」に掲載されるので目を通されたい。

# 奇跡を起こす イメージ療法

筆者はブラジルのサンパウロ大学医学部をトップの成績で卒業後、帰国して慶應大学医学部病院で研修。現在は群馬県内の病院に勤務する古くからのGAP会員で優秀な医師。

医 師 原 永 倉

アダムスキーフィルモント哲学の実践によって奇跡的な事象が起こると言われていますが、GAP会員なら誰でも知っているイメージ法を日常的に応用して、奇跡とは言えないまでもしばしばその劇的な効果に驚くことがあります。

イメージ法は久保田会長を始めとして既に多くの人々も効果を上げて発表されている方法ですが、個人的な目標達成を越えて他人のために活用することも可能です。超能力とは無縁の私でも、仕事としての病気治療に応用して一定の効果を認めていることから、この方法が誰にでも実行可能で普遍的なテクニックであると考えます。

イメージ法そのものはかなり以前から応用していましたが、病気治療の一助にと実行し始めたのは一〇年ほど前からになります。一般にイメージ治療というと、病気を克服して健康になつた姿をその病人自身がイメージングする方法が強調されますが、昏睡状態にある場合やイメージ法を理解してマス

アダムスキーフィルモント哲学の実践によって奇跡的な事象が起こると言われていますが、GAP会員なら誰でも知っているイメージ法を日常的に応用して、奇跡とは言えないまでもしばしばその劇的な効果に驚くことがあります。

液体（命力・宇宙のエネルギー）を頭から注ぎ込みます。患者の身体が次第にその液体に満たされ、やがて全身が黄金色に光り輝く情景をしっかりと思い描きます。そしてさらにその人が健康を取り戻し、喜んで歩いているシーンまでイメージして終了します。

以上はたった二〇分ほどのプロセスですが、いかに金色をイメージできるかがポイントになります。

このようにいたって簡単な方法ですが、注意すべき落とし穴もあります。このイメージ療法を始めた最初の頃はビギナーブラック的にかなり顕著な効果を認め、それに気を良くして次第に日常的に反復実行するようになつてつた九年前のことです。通常の治療を受けて施して万策尽きたという状態の消化器系末期ガン患者を同時に三人担当した時期がありました。当然のごとく懸命にイメージして三人とも若干病状が軽くなつたか？と思うまもなく、私自身がちょっとした油断から体調を

崩したのでした。ところがイメージ法の対象であった相手が苦しんでいたのと同じ三人分の症状、すなはち私の場合はほとんどいつもこのような状況で、以下に記すテクニックを行っています。

仰臥した状態で静かに複式呼吸を繰り返し、雑念を自然に消滅させて行きます。そしてベッドに寝ていて患者を明瞭にイメージしながら、金色に輝く

液体（命力・宇宙のエネルギー）を頭から注ぎ込みます。患者の身体が次第にその液体に満たされ、やがて全身が黄金色に光り輝く情景をしっかりと思い描きます。そしてさらにその人が健康を取り戻し、喜んで歩いているシーンまでイメージして終了します。

以上はたった二〇分ほどのプロセスですが、いかに金色をイメージできるかがポイントになります。

このようにいたって簡単な方法ですが、注意すべき落とし穴もあります。このイメージ療法を始めた最初の頃はビギナーブラック的にかなり顕著な効果を認め、それに気を良くして次第に日常的に反復実行するようになつてつた九年前のことです。通常の治療を受けて施して万策尽きたという状態の消化器系末期ガン患者を同時に三人担当した時期がありました。当然のごとく懸命にイメージして三人とも若干病状が軽くなつたか？と思うまもなく、私自身がちょっとした油断から体調を

崩したのでした。ところがイメージ法の対象であった相手が苦しんでいたのと同じ三人分の症状、すなはち私の場合はほとんどいつもこのような状況で、以下に記すテクニックを行っています。

仰臥した状態で静かに複式呼吸を繰り返し、雑念を自然に消滅させて行きます。そしてベッドに寝ていて患者を明瞭にイメージしながら、金色に輝く液体（命力・宇宙のエネルギー）を頭から注ぎ込みます。患者の身体が次第にその液体に満たされ、やがて全身が黄金色に光り輝く情景をしっかりと思い描きます。そしてさらにその人が健康を取り戻し、喜んで歩いているシーンまでイメージして終了します。

以上はたった二〇分ほどのプロセスですが、いかに金色をイメージできるかがポイントになります。

このようにいたって簡単な方法ですが、注意すべき落とし穴もあります。このイメージ療法を始めた最初の頃はビギナーブラック的にかなり顕著な効果を認め、それに気を良くして次第に日常的に反復実行するようになつてつた九年前のことです。通常の治療を受けて施して万策尽きたという状態の消化器系末期ガン患者を同時に三人担当した時期がありました。当然のごとく懸命にイメージして三人とも若干病状が軽くなつたか？と思うまもなく、私自身がちょっとした油断から体調を

崩したのでした。ところがイメージ法の対象であった相手が苦しんでいたのと同じ三人分の症状、すなはち私の場合はほとんどいつもこのような状況で、以下に記すテクニックを行っています。

仰臥した状態で静かに複式呼吸を繰り返し、雑念を自然に消滅させて行きます。そしてベッドに寝ていて患者を明瞭にイメージしながら、金色に輝く液体（命力・宇宙のエネルギー）を頭から注ぎ込みます。患者の身体が次第にその液体に満たされ、やがて全身が黄金色に光り輝く情景をしっかりと思い描きます。そしてさらにその人が健康を取り戻し、喜んで歩いているシーンまでイメージして終了します。

以上はたった二〇分ほどのプロセスですが、いかに金色をイメージできるかがポイントになります。

このようにいたって簡単な方法ですが、注意すべき落とし穴もあります。このイメージ療法を始めた最初の頃はビギナーブラック的にかなり顕著な効果を認め、それに気を良くして次第に日常的に反復実行するようになつてつた九年前のことです。通常の治療を受けて施して万策尽きたという状態の消化器系末期ガン患者を同時に三人担当した時期がありました。当然のごとく懸命にイメージして三人とも若干病状が軽くなつたか？と思うまもなく、私自身がちょっとした油断から体調を

崩したのでした。ところがイメージ法の対象であった相手が苦しんでいたのと同じ三人分の症状、すなはち私の場合はほとんどいつもこのような状況で、以下に記すテクニックを行っています。

仰臥した状態で静かに複式呼吸を繰り返し、雑念を自然に消滅させて行きます。そしてベッドに寝ていて患者を明瞭にイメージしながら、金色に輝く液体（命力・宇宙のエネルギー）を頭から注ぎ込みます。患者の身体が次第にその液体に満たされ、やがて全身が黄金色に光り輝く情景をしっかりと思い描きます。そしてさらにその人が健康を取り戻し、喜んで歩いているシーンまでイメージして終了します。

以上はたった二〇分ほどのプロセスですが、いかに金色をイメージできるかがポイントになります。

このようにいたって簡単な方法ですが、注意すべき落とし穴もあります。このイメージ療法を始めた最初の頃はビギナーブラック的にかなり顕著な効果を認め、それに気を良くして次第に日常的に反復実行するようになつてつた九年前のことです。通常の治療を受けて施して万策尽きたという状態の消化器系末期ガン患者を同時に三人担当した時期がありました。当然のごとく懸命にイメージして三人とも若干病状が軽くなつたか？と思うまもなく、私自身がちょっとした油断から体調を

崩したのでした。ところがイメージ法の対象であった相手が苦しんでいたのと同じ三人分の症状、すなはち私の場合はほとんどいつもこのような状況で、以下に記すテクニックを行っています。

仰臥した状態で静かに複式呼吸を繰り返し、雑念を自然に消滅させて行きます。そしてベッドに寝ていて患者を明瞭にイメージしながら、金色に輝く液体（命力・宇宙のエネルギー）を頭から注ぎ込みます。患者の身体が次第にその液体に満たされ、やがて全身が黄金色に光り輝く情景をしっかりと思い描きます。そしてさらにその人が健康を取り戻し、喜んで歩いているシーンまでイメージして終了します。

以上はたった二〇分ほどのプロセスですが、いかに金色をイメージできるかがポイントになります。

このようにいたって簡単な方法ですが、注意すべき落とし穴もあります。このイメージ療法を始めた最初の頃はビギナーブラック的にかなり顕著な効果を認め、それに気を良くして次第に日常的に反復実行するようになつてつた九年前のことです。通常の治療を受けて施して万策尽きたという状態の消化器系末期ガン患者を同時に三人担当した時期がありました。当然のごとく懸命にイメージして三人とも若干病状が軽くなつたか？と思うまもなく、私自身がちょっとした油断から体調を

## ● 宇宙船に適した形はあるのか?

世界のあらゆる地域でUFOが目撃されている。それは赤道付近の熱帯地域や、日本などの過ごしやすい地域ばかりではなく、北極の厳しい気候地域などにも出現している。エスキモーの住んでいる地域で多くのUFOが目撃された事件についての書物もアメリカで出ている。

しかしこんなに多くのUFOが地球上にやつて来ているのに、その形態については少年向けのUFOの書物の中でも分類紹介されているにすぎない。

それもなぜそのような形態なのかということについては一切ふれずに、ポイントについて拾いだしてまとめるところである。

「私たちは静電気の海の中で生活しており、その静電気を集めて脈動させると、それは磁気的な推進力となる」

『小型円盤には互いに逆回転する二重のリング（実はフランジの中にある二重のスカートの裾の部分）がある。それは高圧静電発電機であり、また船体にジャイロスコープ的な安定を持たせることになる』

それらの形態の中には、実際の形とは全く異なる物ではないかと思われるのもある。宇宙船の作り出した「力の場」によって光線が屈折作用を起こし、実際の形と異なって見えるのだ。

そしてその他の事柄なども考慮して実際の形態に迫っていくと、そこには

自然と宇宙船で使われている推進装置に適した構造になっていることが分かってくる。

## ● 宇宙船の基本原理

私の研究から考えると、他の惑星の宇宙船について大体次のようなことがわかる。

まず新アダムスキー全集からそのヒントについて拾いだしてまとめるところである。

「私たちは静電気の海の中で生活しており、その静電気を集めて脈動させると、それは磁気的な推進力となる」

『小型円盤には互いに逆回転する二重のリング（実はフランジの中にある二重のスカートの裾の部分）がある。それは高圧静電発電機であり、また船体にジャイロスコープ的な安定を持たせることになる』

## ● どんな形態が必要か

そこで、それにうまく合う構造が船体には必要となる。そのためには、

① 高圧静電気を集めるための二重の船体構造。

② 静電気を集めるために内側の船体が自由に回転できなければならない。こ

れに最も適しているのは、平面図形を、ある軸を中心にして一回転させたときにできるような立体（回転体）である。それは葉巻型や円盤型である。

③ 船体表面は高圧静電気場を作り出

のっている。

『自然の力は磁気柱で集められて三個の球型着陸ギアに送られる。母船ではそれが船体を取り巻いている数個のベルト群に送られる』

『宇宙船は三位一体の原理によって動き、またその船体の構造もその原理に従っている』

そして、三位一体の原理から考えるところがアンテナになってしまい、やはりエネルギーがそこから失われてしまうことになり、したがつて他の惑星の宇宙船が地球の飛行機を偽装するなどということは荒唐無稽な話になる。

まとめると、逆回転する二重のスカラートによって作られた高圧静電気の場を、磁気柱、球形着陸ギア、パワーコ

イルの高振動によって脈動させるという簡単な原理で宇宙船は動いていると いうことになる。母船においてもそれと似た構造となるようだ。

④ 静電気の場を、高い振動数を持つ脈動状態にするために、突起物が出てい

るところがアンテナになってしまい、やはりエネルギーがそこから失われてしま

うことになり、したがつて他の惑星の宇宙船が地球の飛行機を偽装する

などといふことは荒唐無稽な話になる。

⑤ うまく飛行するには、船体の極性を惑星のように一軸方向にしなければならない。したがつて、船体はやはり回

転体の形態になる。そこで地球の飛行機のような尾翼や主翼などは極性を作り出す上で付けてはいけないものとなる。

なぜなら、そこに新たな極が生ずることになるからである。これはスペ

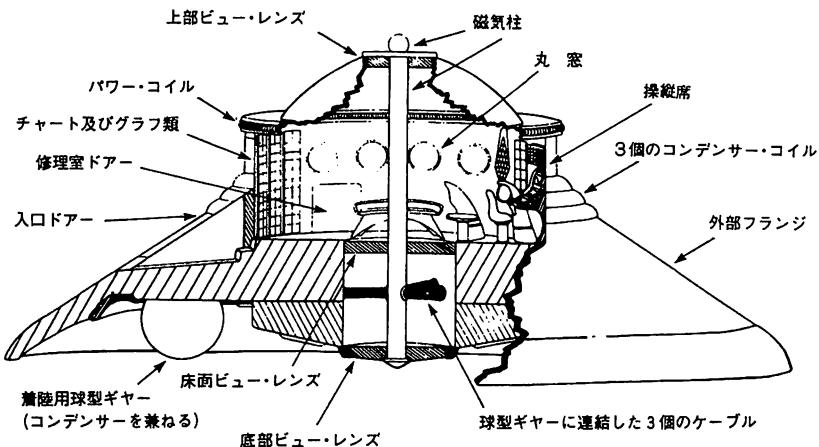
ースピーパルからの援助もあつたといふ『宇宙・引力・空飛ぶ円盤』の著者レナード・クランプも指摘していることである。

⑥ 宇宙船が地球の飛行機のようにさまざまな突起物を持つてゐるなら、お互いに宇宙船同士が近づいたときに、船体の各原子を縛りつけている高振動の磁気が、その突起物の先端から引き出されることになる。つまりたくさんのが、ビーズ玉を貫いていた糸を引き抜いたところを考えるとよい。それによつて



●飛行機型つくりながらねのが存在しない理由——遠藤昭則

# 金星のスクワード・シップの断面図



各原子はバラバラになり、船体は細かい塵よりもさらに細かくバラバラになつてしまふ。

したがつて、宇宙船の形態は葉巻型や円盤型になるのである。

## ●マンテル大尉事件

新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』二六七頁の第一章『有名なUFO事件の真相』の中で、

アダムスキーが、一九四八年一月七日に米空軍のマンテル大尉が巨大な円盤型UFOを追跡して惨死した事件についてたずねたとき、土星人がつぎのように答えていた。

「あれは私たちがたいそう遺憾に思つてゐる事故です。彼が追跡していた宇宙船は巨大なものでした。(中略) 彼らは(異星人たちは)大尉の関心がまじめなもので挑戦的でないことを知つていました。彼らは円盤の速度を落として、大尉機の装置を通してコンタクトしようとしたのです。みんなは円盤

からパワーが放射されていることをよく知っていますから、大尉機を傷つけることなしに機の接近を阻止するだらうと思つたのですが、さらに接近したとき、機の翼がパワーの中を通過し、そのため吸引作用が起り、機体全体がパワーの中に引っ張られて、即座に機体と人体が分解してしまったので

続いて土星人は、これは磁気放射線す」

によつて物質の分子が分離し、その位置を完全に転換させたからだと説明し、もし大尉の機体が円型かそれとも葉巻型だったら事故は起らなかつただろう。大尉機は全体の型が一樣でなかつた。翼が機体から突き出していた。事故の原因はあの翼だつたと言つてゐる。

そして地球の飛行機は我々の宇宙船が放射するパワーのために危険であるばかりか、自然の磁気の流れの中に入れば機体がねじれて破壊される可能性がある。飛行機の機体から突き出ている部分が多すぎるので、パワーがそのどれかに触れれば機体は助からないという意味のことを述べている。

以上の説明からみても飛行機型UFOなどが存在しないことは明白であるが、それよりも、誰が見ても飛行機とわかるジェット旅客機や自衛隊機やセスナ機などを「飛行機型UFOだ」といつて、その写真などを人に見せる感覚というのは荒唐無稽を通り越している。

UFOの推進原理は超高度に科学的なもので、心霊的な神秘的なものではない。それについては新アダムスキー全集六巻『UFOの謎』四〇頁の「円盤や母船はどのようにして作動するか」と題する章に詳述してある(もちろん、肝心の推進理論の最重要的部分は隠してあるが)。四二頁を見ると、重力場を発生させて作動する。この重

力場は大体に球体をなして船体を取り巻いている。この重力場は惑星の磁場と調和して共振するように、すなわち混ざるよう調節している。すると、この共振重力場が船体を無重量にしてしまうのである。無重量つまりバランスのとれた状態にあると、船体はどこにいてもわずかな推力で動かすことができるのだ」とある。この共振原理については、私の研究による先に述べた理論が該当すると思う。

次にアダムスキーは宇宙船内の発生器によって生み出される推進力は、地球の物理研究などで用いられるファンドグラーフ静電気発生機で発生する力にたとえられると述べて見事に説明している。

以上のアダムスキーによる宇宙船の推進理論に関しては、国内でトップクラスの科学者によつて研究されているという情報もあるし、むかし米海軍がアダムスキーの理論を応用して宇宙船の模型を作つて成功したとアダムスキー自身が述べており、これは真実だつたという説もある。アダムスキーの著書は重大な意味を帯びてゐるといえるだろう。

重要きわまりない科学的哲学的要素を含むUFO問題が、一部の異常な人々により幻想化され童話化され一般の人々の揶揄と嘲笑の的になるのは残念である。これも地球社会の宿命なのだろう。

# アダムスキーノの思い出と彼の宇宙哲学

●アリス・ポマロイ／久保田八郎訳

ポマロイ女史はアダムスキーニに最後まで師事した現存する唯一の高弟。この記事は昨年（一九九五年）九月八日、米シントン市で開催されたアダムスキーニ大会における女史の講演全文。高齢の女史が公開の席で語る師の思い出話としてはこれが最後となるかも知れない。内容は高度な宇宙的思想に満ちており、読者にはこよなき指針となるだろう。

## アダムスキーニの書物に感動

まずはじめに、私をご存じない方に申し上げますが、私はいなか者でござります。家の外を走り回るお、んば娘のまま大きくなつて、結局、レイディーにはなれませんでした。女の子らしいことをするのも好きでしたが、男の

うに思いました。私はそんな彼にぜひ会いたいと考えていました。そしてある日、彼の講演が予定されていた、ある遠い町まで、友だちと二人で出掛けました。その町に着いた最初の晩、講演が始まると前に、私は何人かの友人と一緒に会場の入口付近に立っていました。人々が集まつてきていました。やがて、開演時刻が迫つてきました。

## 不思議な三人の男

そのときです。三人の男性が入つてきて入場券売り場の前で立ち止まりました。彼らを見た瞬間、私はハッとしていました。私は彼らから目が離せなくなりました。彼らが急ぎ足で階段を登り二階席に向かう頃には、すでに私は、アダムスキーニがいつも言っていたように、まさしく私たちと同じよう見えた。彼らは濃い色のスーツにトップコートをはおり、帽子はかぶつていませんでした。私は彼らから目が離せなくなっていました。彼らが急ぎ足で階段を登り二階席に向かう頃には、すでに私は、アダムスキーニがいつも言っていたように、まさしく私たちと同じよう見えた。彼らは濃い色のスーツにトップコートをはおり、帽子はかぶつていませんでした。

三人のうち、私に最も近いところにいたのは、グレーのトップコートを着た男性でした。彼は薄茶色の髪と灰色の目をしていました。私は親しみを込めてその男性と目を合わせようとした。それがブラザーズを確認するための確かな方法の一つであることを知

の強烈な視線を受け続けて、焼け焦げていたかもしれません。

講演が終わると、聴衆はアダムスキーニの後を追い掛けました。結局アダムスキーニは出口付近で立ち止まり、彼らの質問に答え続けねばなりませんでした。いつのまにか、例の三人の男性もその集団の中に加わっていました。彼らはアダムスキーニから少し離れた所に静かに立ち、黙つて話を聞いていました。私はできるだけ目立たないようにして彼らを観察していました。彼らはアダムスキーニがいつも言っていたように、まさしく私たちと同じよう見えた。彼らは濃い色のスーツにトップコートをはおり、帽子はかぶつていませんでした。

三人のうち、私に最も近いところにいたのは、グレーのトップコートを着た男性でした。彼は薄茶色の髪と灰色の目をしていました。私は親しみを込めてその男性と目を合わせようとした。それがブラザーズを確認するための確かな方法の一つであることを知

人々の進歩を援助しようとしているよ

うな好きでした。家の外で泥んこ遊びなどをしていると、家の中でケーキの粉をこねているときと同じくらい、いや、おそらくそれ以上に、楽しかったものです。でも、これまで常に真実を追い求めてきたと自負しています。





▲講演中のアリス・ポロマイ女史 撮影／伊東芳和

ついたためです。でも彼は、私と目を合わせることを避け、明らかに意図的に自分の足元に視線を送っていました。そのとき私に強い印象がやってきました。もはや、彼が私の心中にあるものを理解していることは明らかでした。言葉などは全く不要でした。その印象はどんな言葉よりも強い確信を私は与えました。私は喜びでいっぱいでしたが、そのことは誰にも言いませんでした。

その次の日、和気あいあいとした雰囲気の中で、昼食会を兼ねた非公式のミーティングが開かれました。その昼食会のとき、アダムスキーエは何人かの人たちと食堂の椅子に座つていました。すでに彼は、その威厳と魅力とカリスマ性で私の心をしっかりととらえていました。

私は、興奮ぎみで食事がのどを通らなかつたものですから、食堂の入口付近に立つて、あまり目立たないよう心

## アダムスキーエに見つめられる

掛けながら、アダムスキーエの話に耳をそばだてていました。すると何かの拍子に彼が顔を上げて、私の目をじっと見つめたのです。さほど長い時間ではありませんでした。彼はすぐに視線をそらして、近くにいた人たちとの会話をに戻っていました。でも彼は少ししてまた私の目を見ました。そしてまた同じようにして視線をそらしました。

そのようにして、あの深みのある、すべてを見透すような黒い瞳が三度私の目をとらえて解放したのです。私は、どの場合にも、彼が解放してくれるまで自分の視線を彼の目からそらすことができませんでした。その間私は、自分の想念やファーリングがすべて見透されていると感じていました。彼がどんなことを考へているかを正確に知ることはもちろんできませんでしたが、「彼は私を仲間だと認識した」ということだけは、確信できました。それ以来私は彼からの同じような視線を何度も体験することになりました。そしてそのつど、そうされることを、とても光榮なことだと感じたものです。

## 過去生を透視できた アダムスキーエ

「目は魂の鏡である」とはよく言わることです。私たちの魂の中には、私たちがこれまで生きてきた多くの人生の記録がすべて収められています。そしてアダムスキーエは、その「生命の

本」あるいは「宇宙的記録」の内容を読み取る優れた能力を持つていました。

アダムスキーエは、すべての人間の過去生、才能、運命といったものを、とても正確に知ることができました。彼はそれを自分自身の関連性の観点からも知ることができました。そのため、過去生で関係のあった人間を容易に認識できたのです。彼が後になつてから言つたことですが、私は、過去生でも彼と一緒に何度も働いたことがあるようです。そして、そんな人間は私だけではありません。私はここにおられるほとんどの方々も過去生において、彼と何度も関わってきた方々であることを強く信じて疑いません。

## 常人ではなかつた

昼食が済んでから、私たちはアダムスキーエの話に耳を傾けました。それはある家庭で行なわれた、いわば内輪の会合でした。私は、彼の話を注意深く聞きながら、彼の深い知識と理解力の源を探ろうとしていました。すぐに私は彼が常人ではないことを確信しました。私たちがどんな疑問を持ち出して、彼自身の言葉で見事に説明するのです。彼はとてもユーモアに溢れた人でもありました。そして、よく無神論者だ

と言われたりしましたが、現実はその正反対です。彼は話の中に、ときおり聖書用語を交えたり、特定のポイントを強調するために聖書の一節を引用したりもしていました。しかも彼はそれを私の知るいかなる牧師よりも上手に口にするのです。そして何よりも、創造性とあらゆる生命に対する大きな敬意を頻繁に表明していました。彼に会った人間は皆、彼の万物への深い思いやりと愛を容易に感じ取ることができたはずです。

彼の考え方は、常に論理と秩序と常識からなる、しっかりとした枠組みを持つていました。そして、その点が私はとても気に入っていました。それは、こういつた新しい分野（訳注：UFOや宇宙関係問題）の情報の真偽を判断するための、とても良い物差しとなります。ものだと私は考えています。彼の話は私たちの誰もがなじんでいたテーマに関するものでしたが、その内容はとても幅の広い知識で構成された驚くほどに包括的なものでした。

## 超人的なテレパシー能力を発揮

その日私は、彼のもう一つの超人的な能力にも気づくことになりました。それは、後で一緒に働くようになつてからは、しおりゅう目の当たりにした能力でした。彼は自分が話をしているときに、人々が何を考えているかが

手に取るように分かつたのです。そのため彼は、人々が疑問に思っていることを、それが質問として出される前に回答してしまうという芸当を頻繁に行なっていました。またこれは後に気づいたことですが、彼はときおり特定の質問を聞かなかつたふりをして、全く関係のない話をすることがありました。

彼がそうしたのは、彼が「この人物にはまだ、この答えを聞かされる準備ができていない」と判断したときでした。彼はいかなる人間をも混乱させたくなかつたのです。そこには私がとても親近感を感じる、私がとても永い間親友であり続けてきたと思われる素晴らしい魅力的な男がいました。

## 講演に必ず来るブラザーズ

アダムスキーの別の講演の後で、こんなこともあります。夕食後のくだけた会話の中で、私が「今日の会場にブラザーズは来ていたの?」とたずねると、彼は突然眼の色を輝かせました。そして「あんたが見たままを言つてごらん」と興奮したよう言うのです。

私は自分が会場で見た男たちの様子と、そのときの自分の行動を話しました。

すると彼はとても喜んで、「よくわかったね。そう、彼らはブラザーズなんだ」と言つてうなづいていました。彼が言うには、彼らのブラザーズは彼の講演のときに、彼を援助する目的で

都合がつくときには必ずやつて来るということでした。

## 多くの人が気づかずに会つてゐる

そこで私は「彼らは私のことをもつと信頼してくれてもいいのに」と不平めいたことを口走りました。するとアダムスキーは、すかさず言つたのです。「いや、それは違う! 彼らはそんな危険なことを絶対にしない。もしもあなたが彼らの正体を誰かにばらしたら、彼らは地球での仕事を中途半端にして、すぐに自分たちの惑星に帰らねばならなくなるんだ」

少しして、別のアダムスキーの講演のときにも、彼によれば、私はまたもやブラザーズを目撃しました。アダムスキーは「私たちは、ふだんの生活の中で彼らと何度も会い、会話を交わしているのだけれど、彼らのことを異星人だとは気づかないでいる」ということを、よく語っていました。私ももしかしたら、そのような形で彼らと接触したことがあるのかもしれません。でも残念なことに私はまだ、それだと認識して彼らと接触したことは一度もありません。アダムスキーが他界してから多くの人々がブラザーズとの接触を望んできました。でも彼は生前、ブラザーズとの接觸を願っていた人々に許可を願い出ていさえすれば、何の問題もなかつたはずなのにね」と言つて、

## テープ録音を消したブラザーズ

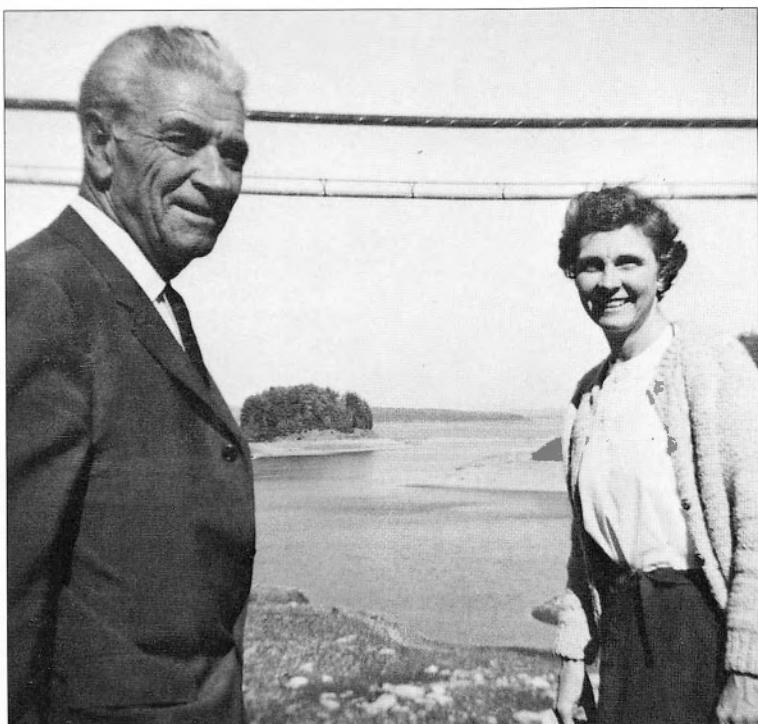
いないんだ。それなのに彼らがこれ以上的情報を我々に与える必要がどこにあるんだい?」と答えていたものです。

## アダムスキーは、自分の講演の録音を、請われればいつでも許可していました。ところがある講演のときに、二人の空軍将校が内緒で録音を試みたことがあります。彼らは録音の許可を願い出ても却下されると考えて、テープレコーダーをコートの下に隠して、こつそりと持ち込んだのです。

「何が起こったと思う?」とアダムスキーは目をキラキラさせながら言いました。彼はこの種の話をするのがとても好きだったのです。まるで少年のような目の輝きと仕種と笑顔を見せながら彼は言つたものです。「ブラザーズは言つたものです。『ブラザーズが、連中が録音したものを全部消してしまったんだよ!』

ブラザーズの技術をもつてすれば、そんなことはわけもないことでした。結局、空軍将校たちは後にテープを再生しても何も聞くことができなかつたのです。アダムスキーは、「ちょっと許可を願い出ていさえすれば、何の問題もなかつたはずなのにね」と言つて、

おかしそうに笑つていました。ブラザーズも單に賢いだけではなく、アダムスキーと同様、ときおり、このような



▲ありし日のアダムスキーとポマロイ女史（1964年撮影）

楽しめるほどに、なかなかユーモアにあふれた人たちのようです。

## 私達が地球人である理由

私は典型的なキリスト教徒の家に生まれ、私から見ればイエスの教えに完璧に従つていた両親によつて育てられました。私が今でも大切にしている基本的な価値観は、その当時に培われたものです。あるとき私は、アダムスキー

から自分の価値観を聞かれて、それを話したところ、彼によれば、私はまさにプラザーズと同じ法則に従つて生きようとしているということでした。アダムスキーの基本的な教えはすべて宇宙の法則に他ならないのです。私はアダムスキーに会うはるか以前から、儀式や典礼などを含むいくつかの点に疑問を感じつゝも、キリスト教徒として真実の追求を続けていました。ただ、アダムスキーの教えを研究してすぐに

彼への手紙の中でも告白したのですが、私の心は全くもつて始末をおえませんでした。それから長い年月が過ぎた今でも、それは相変わらず始末をおえません。数々の決意を固め、自分なりに努力を積み重ねたにもかかわらず、私の心は、それ自身のやりたいことを、いまだに好きほうだいにやつているのです。結局、私は、地球上で延々と生存を続けてきた祖先の血をしっかりと引きついでいるのです。私には四人の妹がいますが、私も妹たちも、自分の本性をとてもよく知っています。何か問題が発生したら、私たちはその責任が誰にあるのかをいつも知っています！ それはいつも自分以外の誰かなのです！ ただし念のために申し上げておきますが、私たちには、悪いところばかりではなく、良いところもたくさんあります。

でも私は、これまでの真実を追求する努力の中で、三つのことを挙げました。まず一つは、「この惑星には私のような人間がたくさんいる」ということです。私たち地球人は、これほどまでに未熟だからこそ地球人なのです。二つ目は、「私たち、話すことによりも聞くことによって、はるかに多くのことを学ぶことができる」ということです。そして三つ目は、「もし心が、自分はすでに知る者であると信じているとしたら、そのときは、より偉大な知恵のための入口を、しっかりと

## ダイヤモンドの譬え

アダムスキーがダイヤモンドの譬えを語っています。かつてそれは最低レベルの表現であるただの炭素でした。それは一つ上のレベルに移動するたびに、それ自身を捧げねばなりませんでした。それは、ゆがめられ、ひっくり返され、押され、引かれ、つぶされ、圧縮されるなどをくり返して、一步一歩レベルを上げ、最終的に光り輝くダイヤモンドとして、それ自身を表現するに到つたのです。

あらゆる生命が進歩を果たすために、は、それと同じパターンに従わねばなりません。アダムスキーは譬えを用いるのがとても好きでした。彼は、人々に進歩に関する理解を深めさせるためには、単純な物語がとても有効だと考えていました。

彼はこんな譬えも語っています。まず最初の王国があります。それは、土中の微小元素や宇宙空間を満たしている

る様な元素で構成されている、いわば生命の一年生です。それらはやがて草などによって吸収され、植物王国すなわち二年生に進級します。次にその草は牛に食べられて動物王国に入り、よりハイレベルの生命を体験することになります。

もし牛に食べられることがなかつたら、草はしおれて枯れてしまうだけです。そこで生命的な進歩は終わってしまうことになるわけです。このあたりに来るとアダムスキーはいつも興奮が抑え切れないといった様子でした。

続いて、そこに私たちがやつて来ます。そこで私たちは牛を殺して食べる事になります。その結果、牛は私たちの一部となり、私たちを通じて、さらにハイレベルの生命を体験することになります。結局、あらゆる生命が成長のために互いに関連し合い、依存し合っているのです。

## 惑星から惑星への進歩の旅

あらゆる進歩が、同じパターンに従っています。人間もまた、一步一步、よりハイレベルの存在へと進歩しています。人間もまた学習を通じてさらには成長することになります。形を持つものの頂点に立つ人間の進歩は、形状的なものではなく、あらゆる形あらゆるものに関する、より深い理解を意味しています。私たちは、新鮮なアイデ

アの数々に、心を大きく開き続けねばなりません。アダムスキーが常々語っていたように、私たちの学習はいつになつても終わることがないのです。

文明もまた同じパターンで進歩しています。アブラハムから、モーゼ、イエス、オーランへと、次々とリーダーを変えながらです。アダムスキーはそれをこのように説明していました。彼によれば、私たちが今入りつつある「時代」の終わりに、この太陽系のある惑星で必要なレッスンを学んだらゆる人々が、一緒になつて別なり進んだ太陽系の惑星へと移動する事になる、ということです。そしてそれは同じパターンに従つてさらに延々と進歩を続けることになります。私はこの希望に満ちたアイデアに思いを巡らすことが大好きです。

## 自然界の観察を

自然と、その中に存在する万物についてアダムスキーは大きな興味を示していました。そのため彼は、自然のことにつれずには講演を終えたりすることは、まずありませんでした。彼は、「地球人は自然を教師と見るアイデアをないがしろにしている」と語っていました。そして、多くの「プロ」たちが教育といふものを理解していないと言つて、とても憂慮していたのです。

一般に、人々はプロとなり、続いて

権威と呼ばれるようになると、ものはや教わることをやめてしまいます。そして誰かに、なぜ自然界を観察しないのかとたずねられたりすると、すこさず「自然界がいつたいどうしたつていうんだい？」まさか、自然界が私よ

りも知的だなんて言うんじゃないだろうね！」などと反発してくるのが常なのです。アダムスキーは、「そこが問題なんだ」と言つた後で、「歴史を振り返つてごらん。ほとんどの価値ある発見はアマチュアによつてなし遂げられている、ということがよくわかるよ。プロはいつも功績のみを追い求めているんだ」と指摘していました。

## アダムスキーの真実性を知つていた米政府

プラザーズとの接触を公表してからアダムスキーは、常に非難と中傷の対象であり続けました。しかし彼を中心とする人々が、当時はもとより今になつてもまだ存在するという事実は、裏を返せば、彼が自分が話していたことが真実性を知つていたということの明らかな証明でもあります。かつてアダムスキーは、「米国政府はウソばかりついている人間と深く関わつたりは絶対にしないよ」と言つて笑つていたのです。アメリカの政府も軍部も、アダムスキーと彼の「情報源」のこと

何を、どこで話すか」を把握できなかつたために、ひどく恐れていたのです。アダムスキーは、世界中のあらゆる米軍施設に自由に出入りできる特別な許可証を手にしていました。これは大変なことです。極めて異例の特權です。私もそのカードを見せてもらいましたが、それを彼は財布に入れて、どこに行くときにも携帯していました。彼はそれを手にしていることを、つまり、この国の権威者たちから信用と信頼を得ていたことを、とても誇りに思つていました。

アメリカが最初の人工衛星を打ち上げようとしていた頃のことです。それは、二一インチ（五二・五センチ）の黄金の球体でした。その表面が宇宙空間のチリと衝突して傷ができないように、科学者たちは、その周囲にマイナス（負）の電磁場を張り巡らしました。宇宙空間の粒子は皆マイナスに帶電しています。これに関してアダムスキーはこんなふうに説明したものです。「マイナスとマイナスは、互いに反発し合うようにできているんだ。女性同士がうまくいかないのは、そのためだよ。彼女たちは互いに反発し合うようにできているのさ。男性同士も同じことだ。プラスとプラスも、やはり反発し合うわけだからね」アダムスキーは

本当に冗談が好きでした。

それは別としてアダムスキーによると、科学者たちはあの球体の内部に五〇万ドルもする装置類をセットしました。そして、それを試運転してみたところ、内側の装置がすぐに焼け焦げてしまつたということです。何度試みても結果は同じでした。「彼らは、自然の法則の片側にしか目をやつていなかつたんだ」とアダムスキーは言つていました。

彼の説明はこうでした。

「それで困り果てた彼らは、私のところに相談に来たんだ。まず私は彼らに構造を正確に教えてくれと言つた。でも彼らはそれは最高機密だから教えられないと言つた。でも結局、それがわからなければアドバイスのしようがないと私が言うと、彼らも渋々それを教えてくれた。それで最終的に私は彼らにこう説明したんだ。

『君たちは、この球体の外側にマイナスの電磁場を張り巡らすことになつたわけだが、マイナスの電磁場が出現すると、どこかにそれと相対するプラスの電磁場も出現することになるよね。このケースでは、それが、装置類のある、君たちがニュートラルの状態に保ちたいと考えている。この球体の内側に出現することになるわけだ』

そこまで言うと、彼らは『そこを二ユートラルにするにはどうすればいいと思う?』と聞いてきた。それで私は

こう言つたんだ。

『これよりも一回り小さな、もう一つの球体を作ればいいのだ。それを内側に入れて、外側の球体と触れ合わないよう固定して絶縁する。そうすれば、マイナスの電磁場が外側にできたとき、プラスの電磁場はこの二つの球体の間の隙間にだけ発生し、装置類の収まっている中心部はニュートラルの状態に保たれることになる』

それで彼らは、その通りのことを行なつて打ち上げに成功したというわけだ』

アダムスキーは、「彼らがもつと早く相談に来さえすれば、あんなに多くのお金と時間をむだにすることなどなかつたのに」とでも言つた。まさに、人間による自然の法則の無視の典型的な実例でした。

アダムスキーは、ある強力な敵対勢力の妨害を受けていました。そのグループは、彼が私たちに伝えてくれた真実を必死でおおい隠そうとしていました。彼はそのことを、決して秘密にしておきませんでした。彼はそのことを、自由に話し、ときおり、「敵対勢力は私を絶対に止められない!」と力説したりもしています。そして彼は、そのグループの人々を見分ける方法と、彼らから学ぶための方針を、あれこれ教えてくれたものです。

## 心靈とは無関係

アダムスキーと一時期親しく関わつた人間の一人として、私は、彼が、彼自身の体験とブラザーズから教えられない真実を、正直に、誠実に、真剣に語り続けた人間であることを神に誓つて断言できます。彼は、自分が真実のみを語つているのだということを大衆に知つてもらおうと懸命の努力を続けていました。彼はまた、自分とブラザーズは心靈主義や神秘主義とは完全に無関係であるということを、常に明確にしていました。

アダムスキーは、ブラザーズと接触するための時間と場所を確保することに、いつも大きな注意を払つていました。旅行中、彼はブラザーズが誰にも気づかれずに会いにれるようにと、特別な場合を除いては、いつもホテルに泊まつていました。それと、ブラザーズはときおり、「彼らがアダムスキーに会いにきたことに気づきうる人間を、ぐつすりと眠らせてしまう、ある特別なテクニック」を用いてもいました。それは、極めて強力で、持続時間

アダムスキーが、アリス・ウェルズに「タベはよく眠れたかい」と訪ねました。アリスは、少し考えてから、とてもよく眠つたと答えました。そこでアダムスキーは意味ありげな視線をアリスに送りました。するとアリスは小刻みにうなずきながらクスクスと笑い出したのです。アダムスキーも同じように笑つていました。アダムスキーとアリスは素晴らしく心が通い合つっていました。私は二人がテレパシーを用いて、まるで言葉を用いて語り合つているかのように意志疎通をする場面を何度も目撃したのです。

アダムスキーは、「この時代に人々を援助するために地球にやつて来たのは自分が最初ではない」とも語つていました。彼よりも先にやつて来た人々の中には、モルモン教の先駆者、ジョセフ・スミスもいました。アダムスキーによると、彼は真実を広めるための基盤作りの過程で一部の信者に殺害されてしまつたのだそうです。

## 謙虚であつたアダムスキー

アダムスキーは、若い頃の彼は自信が短い、全く無害な睡眠薬のように機能しました。彼は、彼がアダムスキーの自宅にも、夜間によく訪ねてきていたようです。ある朝、こんなことがありました。起きてきたばかりのアダ

ムスキーが、アリス・ウェルズに「タベはよく眠れたかい」と訪ねました。アリスは、少し考えてから、とてもよく眠つたと答えました。そこでアダムスキーは意味ありげな視線をアリスに送りました。するとアリスは小刻みにうなずきながらクスクスと笑い出したのです。アダムスキーも同じように笑つていました。アダムスキーとアリスは素晴らしく心が通い合つていました。私は二人がテレパシーを用いて、まるで言葉を用いて語り合つているかのように意志疎通をする場面を何度も目撲したのです。

アダムスキーは、「この時代に人々を援助するために地球にやつて来たのは自分が最初ではない」とも語つっていました。彼よりも先にやつて来た人々の中には、モルモン教の先駆者、ジョセフ・スミスもいました。アダムスキーによると、彼は真実を広めるための基盤作りの過程で一部の信者に殺害されてしまつたのだそうです。



▲アダムスキーの秘書として長く奉仕した  
故アリス・ウェルズ女史。 撮影／山木益巳  
(この写真は日本GAP旅行団がカリフォルニア州ビ  
スタの女史宅を訪問時に撮影)

克服できなかつた強いポーランド訛り<sup>なまり</sup>がありました。もつとも彼は、その訛りを、彼の父に敬意を表して意図的になくさなかつたのだと、おそらく冗談で言つていました。

でも、あるとき彼は、イエスからの強い印象を受け取つたということです。それは、「私はすでに、あなたのためには、いろんなことをしてあげた。あなたは私のために何をしてくれるのだろうか?」という印象だと語つていていました。そしてそれが彼に、「自分が手にしている真実を、可能な限り多くの人々に分け与えよう」と決意させたのです。(訳注)アダムスキーは二千年前、イエスの弟子のヨハネであつたと伝えられている)

**重要なのは異星人のメッセージ**

ジョージ・アダムスキーが特に強調していました。

は、「最も重要なのは、他の惑星の宇宙船が地球にやつて来たという事実ではなく、彼らがもたらした人類の進歩を促すメッセージなのだ」ということを、常に語っていました。彼は、人々のより良い未来作りを援助することに全身全霊を打ち込んでいました。

それと彼は、自分が眞の自分以外に偉大な人間として見られることを決して望みませんでした。高いところに奉られたり、神のよう<sup>いは</sup>に崇められたこと<sup>あが</sup>りすることをとても嫌がっていました。彼は、自分も他のあらゆる人間と同様に数々の欠点を持つていることを知っていました。そして、どんなときにも、普通の人間として、私たちと同じよう<sup>ひきよ</sup>に数々の欠点を持つていることを知りました。

それでもう一つは、彼はプラザーズもずいぶん援助してくれたようです。彼はプラザーズと会つたり、宇宙旅行を体験したり、彼が「マスターたち」と呼んだ人々と貴重な会話を交わしたりできることを、自分に与えられた素晴らしい特権だと感じていました。ただ、「私は、こんな特権を与えられるにふさわしいことをしたのだろうか」と、いつも謙遜していました。

**アダムスキーは古代中国の賢者?**

ジョージ・アダムスキーとは、どんなん人間だったのでしょうか? そして、彼の教えとは、どんな教えだったのでしょうか? 彼が私たちに語ったことですが、彼は三千年ほど前に中国にいたようです。しかも傑出した賢者の一人としてです。老子の教えの中には、アダムスキーの教えと一致する箇所がたくさんあります。一節によると老子は伝説上の人物で、彼の教えは数人の賢者たちの合作だということです。アダムスキーがそれらの賢者の一人であつたか、彼らと何らかの深い関係にありましたか、彼らと何らかの深い関係にありましたかといふことは、アダムスキーがその弊害を良く認識していました。地球上の人は、これまであまりにも頻繁に、偉大な予言者や教師たちの崇高なメッセージを忘れ続けてきました。予言者や教師を神として祀め、そのことにばかり頭が行つてしまつたためです。大切なのは教えた人物ではなく、教えたものなのです。アダムスキーはこのことをいつも強調していました。

ジョージ・アダムスキーが特に強調していました。

アダムスキーはこの最初の一節も、全く同じことを経の最初の一節も、全く同じことを経ていました。

言つてゐるのです。

どうやら、この宇宙には、三位一体の原則という根本的な原則が永遠に存在し、それに従つて万物が、我々にその真実の足跡をくり返し残しつつ、休みなく進化を続けているようです。この原則が様々な異なる源から出現していくのを見るたびに、私はアダムスキーとプラザーズの教えの正しさを再確認するとともに、大きな心の鼓舞を得きました。

## 幼少時からプラザーズの援助があつた?

私が手にしている情報を総合すると、ジョージ・アダムスキーは、彼以前に出現した多くの教師たちもおそらくそうであつたように、まず間違いなく、人生のかなり早い時期から、プラザーズの援助を受けていたと思われます。まずアダムスキーは流星雨の中でUFO抜きの月の写真を撮影していた頃にすでに、近隣の他の惑星に人間が住んでいることを知つていて、語つていました。彼はその時期にそんな情報をどこから入手したのでしょうか? 彼はまた、幼い少年時代にアメリカ行きの船に乗る直前、波止場で見知らぬ男に散歩に誘われていますが、その男がプラザーズの一人であつたことは、疑いもありません。アダムスキーはまた、その同じ男と二年後にもアメリカで会っています。そして、そのと

きにもやはり散歩に誘われたのですが、どうもそのときにアダムスキーはすでに成長の途上にあつた彼の肉体の中に

転生してきました。

さらに、アダムスキーはその直後にチベットに行き、何年かを向こうで過ごしていますが、それにもおそらくその同じ男が深く関わっていたはずです。

アダムスキーの当時の年齢と境遇からして、彼が一人でチベットに行つて戻つて来ることなど、とうてい不可能なことだつたはずです。

彼はまた、まだ若い指導者として活動中にロサンゼルスに頻繁に出掛け

ていき、彼の言う「マスターたち」に会つていましたが、彼らもまた間違いなくスペーススピーブルだったと思われます。そしてこれには物証があります。

アダムスキーは、あるクリスタル製のペンダントをとても大切にしていました。彼はそれはプラザーズがくれたもので、金星で作られたものだと明言していました。そして、私たちは今、

彼がまだ若い頃に人々に教えていた様子を撮影した一枚の写真を持っていました。それが、彼がはじめて異星人とコントクトしたとされている時期よりも、

アダムスキーはるか以前に撮られたものであることは、誰の目にも明らかです。ところが、

その写真に写っている彼の首には、彼がプラザーズからもらつたと明言した黒い幅広のリボンに取りつけられたペンドントが、しっかりと掛けられてい

るのです!

アダムスキーは、一般的には一九五二年に例の砂漠(デザートセントラル)

に降りてきたオーソンと会うまでは、

プラザーズに会つたことがないという

ことになつていています。でも彼は、そのはるか以前から、明らかに彼らの導きを受けっていました。実際、あの砂漠に

出掛けいつたのも、彼らによつて導かれたからに他なりません。

アダムスキーが、それらの人々が異星人であつたことを最初から知らされ

ていたかどうか、あるいは、そう言わ

れても信じていたかどうか、あるいは、

彼がたびたび言つていたように、ずつ

と後になるまで、彼にとつて彼らは單なる進歩した地球人にすぎなかつたのか、といつた話の真相は、私たちには知り得ないことかもしれません。

私たちはまた、アダムスキーが私たちに洩らす情報をプラザーズが制限していたという事実も知っています。そしてアダムスキー自身も、私たちを混乱させてしまいそうな情報を極力伝えないと心掛けていました。しかし、

そのあたりの事情がどうであれ、プラザーズが、アダムスキーの全人生に、私たちが以前に考えていたよりもはるかに深く関わつていたことだけは、確かなことのようです。



▲講演中の若き日のアダムスキー。胸にペンダントをかけている。これは水晶のような材質に非常に複雑なカットをほどこした物で、1975年11月に訳者(久保田八郎)がアリス・ウェズル女史宅を訪問時に見せてもらったことがある。直径5~6センチの大きな物で、胸にあてるときポーッと熱くなった。アダムスキーは、このペンダントはスペーススピーブルからの想念波動を増幅する作用をなしたと言っていたという。

# UFO contacteeバックナンバー主要記事

★在庫は101号と105号以降全部（100号以前と102,103,104号品切れ絶版）。代金後払い可。ハガキに号数、冊数、住所、氏名、電話番号を明記して日本GAP宛気軽にご注文下さい。バックナンバーに限り送料は当方サービス。

No.131

1995年(平成7年)10月25日発行 ￥900

アダムスキー問題と日本GAP——久保田八郎  
ワシントン、ニューヨーク市でUFOがひんぱんに出現！一加藤淳一  
私もワシントン市でUFOを見た！——清水 正  
カイバーベルトはアダムスキーの主張を立証するか——植木淳一  
アダムスキー大会を思う—岡田茂/西川太/大根田匡史/加藤路徳  
熱烈な呼びかけに応えたUFO——石井一江  
私のUFO目撃と宇宙的な生き方——忍田裕昭  
宇宙時代の夜明け——村上博一  
人間の実体・意識・テレパシー原理——G・アダムスキー

No.130

1995年(平成7年)7月25日発行 ￥900

M氏の「UFOと異星人」体験——久保田八郎  
アダムスキー型UFOの飛行原理を解明——遠藤昭則  
超能力者ティナの驚異的パワー——久保田八郎  
異星人女性との出会い——佐々木八郎  
スペースピープルを見かける私——原垣内良子  
透視・臨死体験・不思議な女性——千葉福造  
白山のUFO——沼倉孝彦  
父と従兄が「UFO」目撃——高橋克彦  
人間の実体・意識・テレパシー原理——G・アダムスキー

No.129

1995年(平成7年)4月25日発行 ￥900

地獄の大地震からの奇跡の脱出——平塚和義  
大地震を前夜予感した私——西村悠子  
偉大な教訓となった大地震——田辺健司  
ロスで見かけた異星人女性——加藤純一  
アダムスキーの大地を訪れて——黎明会有志  
巨大母船、安比高原に出現！——秋山和広  
サイコメトリーによる書物の質の感知法——林 国宣  
UFOの速度・肉体と魂——  
真の科学・長寿法——G・アダムスキー

No.128

1995年(平成7年)1月25日発行 ￥900

アダムスキー・永遠の真実と栄光——グニエル・ロス  
わが母の驚異のUFO目撃——ミシェル・ジルガー  
総会の日にUFO出現——堀江健一  
那須高原で巨大母船出現！——堀江健一  
ダニエル・ロス氏宅訪問記——久保田八郎  
あなたもオーラが見える——遠藤昭則  
予知能力を持つ土星人女性の援助——G・アダムスキー

No.127

平成6年10月25日発行 ￥900

UFO出現の国——メキシコ——久保田八郎  
ロズウェル事件とMJ12文書——坂本貢一  
UFO目撃と不思議体験の旅——4名執筆  
私もアダムスキー型円盤を見た！——田口邦雄  
UFOとオーラと想念——山崎和子  
奇跡的に難病を治す方法——久保田八郎  
異星人とUFOの真相(2)——G・アダムスキー

No.126

平成6年7月25日発行 ￥900

驚異の瞬間移動とUFOの超低空降下——久保田八郎  
UFOを頻繁に見る私のカルマ(2)——溜池みゆき  
GAP活動と共にUFO出現頻発——林 寛子  
東北自動車道に母船が出現——林 優子  
私も母船を見た！——津田篤孝  
ムー大陸から見た原日本人——澤入達男  
昔のUFO目撃の思い出——橋本恵一  
異星人とUFOの真相(1)——G・アダムスキー

No.125

平成6年4月25日発行 ￥900

UFO、デザートセンター上空を飛ぶ——久保田八郎  
私はアダムスキー型円盤を至近距離で見た——大野義和  
UFOを頻繁に見る私のカルマ——溜池みゆき  
不思議な予知透視——米川宣雄  
突然出現した不思議な人間——千葉敏江  
生命と物質と超能力——伊藤睦史  
異星人はなぜ地球へ来るのか——G・アダムスキー

No.124

平成6年1月25日発行 ￥900

信念の力、希望の力、絶対に諦めない力を起こす方法——久保田八郎  
今世紀末、大変動発生なし！——秋山眞人  
私を助けてくれる異星人達——上原則子  
アダムスキー型円盤、長時間出現——石井佳子  
浅草上空に出現したUFO——堀江健一  
UFO・宇宙・人間——G・アダムスキー

No.123

平成5年10月25日発行 ￥900

凄い超能力者のUFO目撃と遠隔透視——編集部  
私を助けてくれる異星人(1)——上原則子  
山梨県に出現した巨大UFO——編集部  
エゼキエルはUFOを見た？——久保田八郎  
私はアダムスキー型円盤を見た——海瀬宏子  
UFOと異星人の実態——G・アダムスキー  
謎の古代マヤ遺跡とUFO——久保田八郎

No.122

平成5年7月25日発行 ￥900

金星文字を解読してUFOの推進原理を解明！——バシリ・バン・デン・バーグ  
星々への切符——遠藤昭則  
オメ教授が発見した金星?文字——久保田八郎  
不思議な体験連続の人生——千葉福造  
オーラで異星人を見分ける——紙屋光孝  
私だけが見る UFO——須山有美子/宮本浩子  
万物は人間の想念に感應する——塩谷信男  
四感・生命の息・転生——G・アダムスキー

No.121

平成5年1月25日発行 ￥900

パロマー山にUFO出現——久保田八郎  
宇宙ボタルはUFO——  
アダムスキー型円盤、超低空で東京をかすめる！——  
江戸川堤防の怪光体——鈴木 武  
不思議な筒状の雲——沼倉孝彦  
人間・イメージ・波動——佐々木八郎  
驚異の超小型円盤と宇宙の永遠の活動——G・アダムスキー

No.120

平成5年1月25日発行 ￥900

宇宙的な信念と勇気を起こす方法——久保田八郎  
二人の異星人からの忠告——辻 俊昭  
テレパシーで植物を動かす方法——遠藤昭則  
人間は生来テレパシー能力を持つ——堀江健一  
夜空の不思議な「映像」——田辺優子  
重力と宇宙の自然のパワー——G・アダムスキー  
モアイとUFOの島へ——伊東芳和

## 貴重な苦しい人生体験

彼が地球での生涯を終える数日前、私は彼と二人でボストンの空港にいました。聖金曜日の朝のことです。私が彼とはじめて会つた感激を胸に帰途につき、車を走らせていましたのは、そのちょうど一年前の聖木曜日のことでした。私はあの一年間に永遠に感謝し続けるつもりです。私にとっては、まさにもつたいないほどの一年でした。

アダムスキーを知つてから現在に至るまでの、長年に渡る学習人生の中で、私はとても多くの苦しい体験をしてきました。そしてもちろん多くの幸せな体験もありました。どれもが忘れがたい体験です。すべてが貴重な体験です。これまで私は、苦悩のどん底から歓喜の頂点に到るあらゆる種類の体験を経てきました。でも、私が多くの学んだのは、いつもつらい体験からでした。私は今後も、苦悩し、また喜びながら生きていくことになるでしょう。それを通じて、今後もまた、少しでも多くのことを学べればと考えています。

同時に、これからも、他の人々を少しでも援助できるよう、精一杯の努力を続けるつもりです。それが結局は、私たちが今ここにいる、真の目的なのです。

「もし我々が、自分以外の人間の進歩を真の意味で援助できたとしたら、たゞ一生でたった一人の人間しか援助できなかつたとしても、それだけで我々は、充分に良い人生を生きたことになる」と説明してくれました。そして彼は、「それが、どんなに難しいことか!」と強調したものです。彼の言つた進歩とは、もちろん、表面的な知識を得ることではなく、真実を心の奥底で理解し、それを実践することを意味しています。そのとき、彼はさらに、「人間は、一つの小さな進歩を果たした後で、千年もの(転生の)間全く進歩しないこともある」とも語っています。

歩を果たそうとして真摯な努力を続けた。彼のその指摘は、もちろん、進歩を念頭に置いたものです。

「常に希望をもつことだ。未来を見る人々ではなく、そんなことなど全く意に介さない、他の大多数の人々を念頭に置いたものです。

「彼はいつも、若者たちのことを、とても気づかっていました。

「我々は若者たちを援助し、導き、勇気づけねばならない。彼らは我々の未来なんだ」

アダムスキーは、いつもそう言つていました。イエスは、この世が続くかぎり常に私たちとともにいると約束していました。

## 他人を援助することの難しさ

あるときアダムスキーは、私に、「もし我々が、自分以外の人間の進歩を真の意味で援助できたとしたら、たゞ一生でたった一人の人間しか援助できなかつたとしても、それだけで我々は、充分に良い人生を生きたことになる」と説明してくれました。そして彼は、「それが、どんなに難しいことか!」と強調したものです。彼の言つた進歩とは、もちろん、表面的な知識を得ることではなく、真実を心の奥底で理解し、それを実践することを意味しています。そのとき、彼はさらに、「人間は、一つの小さな進歩を果たした後で、千年もの(転生の)間全く進歩しないこともある」とも語っています。

歩を果たそうとして真摯な努力を続けた。彼のその指摘は、もちろん、進歩を念頭に置いたものです。

「常に希望をもつことだ。未来を見る人々ではなく、そんなことなど全く意に介さない、他の大多数の人々を念頭に置いたものです。

「彼はいつも、若者たちのことを、とても気づかっていました。

「我々は若者たちを援助し、導き、勇気づけねばならない。彼らは我々の未来なんだ」

アダムスキーは、いつもそう言つていました。イエスは、この世が続くかぎり常に私たちとともにいると約束していました。

ボストンの空港で、私たちは飛行機を待っていました。アダムスキーをワシントンに乗せて行く最後の飛行機です。搭乗待合室の椅子に座つていた私たちの前を、多くの人々がざわざわと行き来していました。と、そのとき、私の脳裏にある質問が浮かびました。私はそれを大声で口にしました。「人々を援助しようとして、こんなに頑張っているのに、ほとんどの人々が全く関心を示さないのを見ても、あなたはがつかりしないのですか?」彼は、「いや、ときにはね」と答えた後で、強い口調で続けました。

「でも、そんなふうに考えただめなんだ」「じゃあ、どんなふうに考えればいいのですか?」私がそうたずねると、彼は確信に満ちて答えたものです。

「常に希望をもつことだ。未来を見る人々ではなく、そんなことなど全く意に介さない、他の大多数の人々を念頭に置いたものです。

「彼はいつも、若者たちのことを、とても気づかっていました。

「我々は若者たちを援助し、導き、勇気づけねばならない。彼らは我々の未来なんだ」

アダムスキーも私たちの進歩を永遠に援助し続けると約束しました。彼は言いました。

「私はいつでもあんたらと一緒にいるよ。私は、自分の意識の中からあんたらを絶対に追い出さない。プラザーズもきっとそうしてくれる!」

アダムスキーはいつも、「それでは、ありがとうございます。時間がきました」と言って講演を終えていました。私もこの講演を同じようにして終わらせていました。

「それでは、ありがとうございました。伊東芳和振替00140-8-13811 ☎03-3351-9526

## ★★久保田会長英語講演ビデオ★★

●1995年9月9日、米ワシントン市で開催されたアダムスキー大会で、日本GAP久保田八郎会長は約2時間にわたつて「アダムスキー問題と日本GAP」と題する講演とスライド映写を、日本人離れした流暢な英語で行なつた。このビデオはその前半の講演部分。英文の原文付き。日本語訳は本誌131号に掲載。ご注文は下記へ郵便振替か現金書留でどうぞ(前金払い)。

1本￥3000 送料￥390 2本以上3本まで￥700

〒162 東京都新宿区富久町36-18  
富久マンション103 伊東芳和  
振替00140-8-13811 ☎03-3351-9526

アダムスキーも私たちの進歩を永遠に援助し続けると約束しました。彼は言いました。

「私はいつでもあんたらと一緒にいるよ。私は、自分の意識の中からあんたらを絶対に追い出さない。プラザーズもきっとそうしてくれる!」

アダムスキーはいつも、「それでは、ありがとうございます。時間がきました」と言って講演を終えていました。私もこの講演を同じようにして終わらせていました。

「それでは、ありがとうございました。伊東芳和振替00140-8-13811 ☎03-3351-9526

時間が参りました。

# 好評、名古屋の講演

Kubota Talks about Adamski and UFOs in Nagoya

昨年一月二三日、名古屋市のホテルアソシアの大ホールで九五年度社団法人日本薬局協議会愛知合同支部大会が開催され、この席で私（久保田）は特別招待を受けて、「太陽系文明と宇宙哲学」と題するスライド映写を行なった。

この大会は薬局経営者である薬剤師の方々の集まりで、いわば理系の集団であるから哲学的な話はどうかと危惧したが、さすがは実業家の集まりで、最後まで非常に静謐であった。

講演を午後二時より三時半まで行ない、続いてスライド六〇点を映写し、その後質疑応答を行なって、計二時間半、約二〇〇名の参会者に熱弁をふるつて多大の感銘を与えたと思つていたが、終了後のアンケートによると、短時間の講演にもかかわらず、ちょうど

ど半数の人がアダムスキーリー問題の真実性を確信。残る半数の人は信じられず、中間はなかつたと大会の実行委員長の古川弘明氏が言つておられた。しかし二人に一人は信じたという結果であるからかなりの好成績であったと思う。

また中間の半信半疑の人のがゼロという方は理系の方々の特徴をあらわしているようだ。マルかバツのどちらかといふ戦後教育の影響なのかもしれない。

私としては確信をいたかせる切り札を出したかたたのだが、喉まで出かかるまで出かかっていたのをグイとこらえた。

主催者の側から出席者全員に新アダムスキーエンサイン第一〇巻『超人・ジョー・アダムスキーリー』が贈られた。

また当日は日本GAP名古屋支部代表・林国宜氏その他の支部会員約一〇名が特別の許可のもとに出席して講演

を聴き、終了後はレストランで歓談して旧交をあたためた。

大会実行委員長の古川弘明氏は日本GAP会員で、その関係で氏が私を特別講師として委員会に推薦し、全員一致で可決したと聞いている。氏に深謝したい。氏は名古屋市北区東味鋤二一七〇一でタカラ薬局を経営。GAP名古屋支部の有力メンバーで、非常に明朗な生き方。名古屋支部一同でUFO観測会を実施したときに本物のUFOが出現したのを目撃して大感動し、以来、GAP活動に熱意をもつて参加しておられるという。

私の印象では、この種の大会では絶対的な確証になるものをスライドで示すのがよいと思う。アダムスキーリーの宇宙船の写真類はあまりにもシャープに写っているために、かえつて信憑性



（久保田）

## Kubota Gives a Lecture Speech about Adamski and UFOs at Tokyo University of Art and Design

## 東京造形大学で講演

昨年一二月一日、私（久保田）は東京造形大学より招待を受けて「UFOと宇宙哲学」と題する講演を行なつた。一昨年にもここで同様の講演を行なつたので今回で二度目である。これは同校教授の佐藤彰先生が日本GAP会員であるため、その引きによつて実現したものである。先生はご自分の授業時間によくUFOや宇宙哲学の話をされるという。

この大学はデザイン研究所の大御所であった故・桑沢女史が創立された学校で、横浜線の相原駅から徒步一〇分の小高い森の中に、いかにもデザインや美術の学び舎にふさわしい築後数年の美しいモダンな校舎が清楚な姿を見せてゐる。芸術家を目指す学生の集団だから、きわめて個性的な人が多く、しかも自由な雰囲気に入り込んでいる。

佐藤先生は一般教養の体育を専門とされる方で、ドイツ留学の経験をもたれるが、現在はスポーツ整体も手がけて多くの病人の治療もされる。宇宙哲学の実践家でもあり、先生の研究室のドアには「太陽になろう」というポスターみたいなものが貼りつけてあり、室内には新アダムスキー全集をはじめとして各種の精神世界探究の書物が沢山書棚に収まっている。脇机の上には「愛されることは滅びるが、愛することは滅びない」という素晴らしい文章が書かれた紙片が透明板にはさんだつた。愛の精神の実践家であるから、

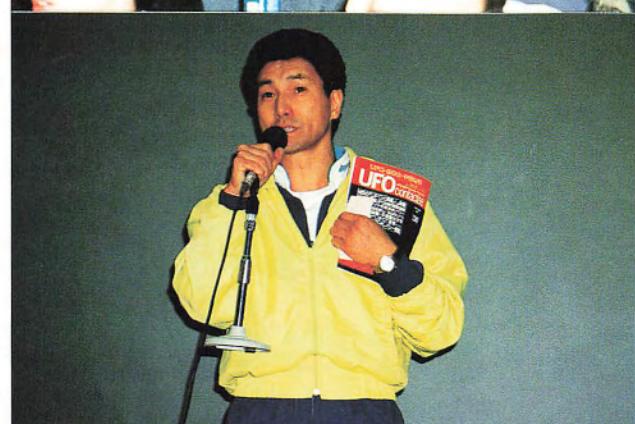
学生さん方の敬愛の的になつてゐるらしい。



▲上より講演中の久保田会長、熱心に聴講する学生さん達、佐藤彰教授。  
撮影／西川 太



摄影 / 西川 大



この大學は元サイン研究所の方術所であつた故・桑沢女史が創立された学校で、横浜線の相原駅から徒歩一〇分

今回の講演は、もう一人の女性の体育の先生である荒井和子女史が、佐藤先生の「聴きたい講義」の項目表を用いて学生からアンケートをとつたところ、「UFO問題」が最多であった。

講演は午後一時二〇分から一時間半となつていたので、一時間を講演、三分をスライド映写に割り振りした。GAPの黎明会から西川太、岡田茂の両君が助手として同行してくれた。階

講演は名古屋で行なつた内容と大体同じだが、なるべく学生に興味が起ることのように配慮して話す。すごく珍しい話だと思うのか、好奇心に満ちて聴いている人が多く、今回ばかりはかなり静かに聴講してくれた。

スライド映写がまだ数点残っていたとき、時間切れとなつたので終了したが、一応拍手喝采裏に壇上を降りた。ご配慮頂いた佐藤、荒井の両先生に衷心より感謝致したい。

以前にここで講演を行なつた経過を  
アメリカのUFO研究家ウイリアム・  
シャーワッドに知らせたところ、大学  
でUFOやアダムスキー問題を講演す  
るとはアメリカでは考えられないこと  
だと感嘆の書簡をよこしたことがある。  
アイビーリーグあたりの大学が聞いた  
ら仰天するだろう。日本でも超進歩的  
な学風の大学であることは間違いない。  
学長先生にもお会いしたが非常ににおお  
らかな温和な方であった。今春も講演  
を依頼されている。喜んで参上したい。

## Letters

# ヨーロッパ広場

### 昨年度総会の大成功を讃える

広島県 粕田雅則

昨年九月の日本GAP総会の大成功おめでとうございます。出席者は二七〇名に達して大盛況でした。

毎年、素晴らしい総会をありがとうございます。

秋山眞人先生のご講演は、体験に裏づけられた力強く自信に満ちたお話しで、我々を未来に向けて前向きに導く重要な内容が豊富に含まれていました。まさにGAP会員必聴の講演で、我々がお聞きしたかった金星人の社会、哲学、またこれから我々が二一世紀に向けてどのように歩んで行かなければならぬのかのアドバイス等、多くの重要な情報を提示して下さいました。その中で特に「悪い習慣を打ち破るために、目標を設定し、イメージの中に常に引き続ける事が重要である。そうすることによってより心の力が働き、宇宙的な方向に改善されてゆく」といわれていたことが心に残っています。これはGAPのミラクルイメージと同じであり、これから社会に最も重要な指針になると思います。このノウハウを少しでも生かせるように努力する所存です。

今回の総会出席は、私にとって福音支部を設立しての第一回目であり、重要な意味があつたと思います。多くの人に激励されて大変勇気づけられました。また総会前と総会中に不

投稿歓迎 字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

思議な事がありました。(以下略)。

### 素晴らしい総会

岐阜県 蒲 史雄

月日のたつのは早いものでございました。GAPの総会では初めて会長にお会いできて本当に嬉しく感じております。

つねづね名古屋支部の代表・林氏

より久保田会長のことをお聞きしておりました。会長が数十年にわたってユーロン誌を発行し続けてこれら

の話を林氏から聞いたとき、深く感動しました。その信念にあやかりた

て有難く感じて帰つてしまひました。

初めてのGAP総会でしたが、

色々な意味でとても刺激となりま

した。アダムスキーワーク博士の仕事を通じて少しでもよいから関わる

病気の人々に伝え、意識のありかた

の重要性や、本質を見極めることの重要性、そして私達が本来なさなければならぬ事を伝えるように頑張つて精進したいと強く感じております。今後ともよろしく御指導をお願い申し上げます。

### 総会のパワーに驚く

北海道 林寺正俊

澄み渡る秋、ますます御精采の多くの人に激励されて大変勇気づけられました。また総会前と総会中に不

回の総会の大成功を心よりお祝い申しあげます。おめでとうございます。私は今回初めて総会に参加させて頂いたのですが、総会のパワーのすごさに驚いて、その感動が未だ覚めやらぬ状態です。肌で感じることができた総会の雰囲気はどうやら忘れられそうにありません。当日出席していた方々の真摯な姿に接して、自分も頑張らなければ、と大変よい刺激を受けました。素晴らしい総会を開催して下さいました先生にお礼申し上げます。ありがとうございました。

夕食会でも楽しく過ごさせて頂き、さらに先生とも少しお話しさせて頂きました。北大ではクラーク博士とより久保田会長のことをお聞きしておりました。会長が数十年にわたってユーロン誌を発行し続けてこれら

の話を林氏から聞いたとき、深く感動しました。その信念にあやかりた

て有難く感じて帰つてしまひました。

初めてのGAP総会でしたが、

色々な意味でとても刺激となりま

した。アダムスキーワーク博士の仕事を通じて少しでもよいから関わる

病気の人々に伝え、意識のありかた

の重要性や、本質を見極めることの重要性、そして私達が本来なさなければならぬ事を伝えるように頑張つて精進したいと強く感じております。今後ともよろしく御指導をお願い申し上げます。

### 感動のヨーロッパ誌|三|印

愛知県 宮崎雅子

に知れ渡つてしまつたよい例なのでしょう。巷間に氾濫するUFO情報についても、クラーク博士の言葉と同様のことが言えるのかも知りません。

(久保田注) ウィリアム・S・クラーク博士はアメリカのマサチューセツ農科大学学長であつたとき、一

年の休暇を得て来日し、北大前身の札幌農学校で一年間教えた。一八七年(明治十年)学校を去るにあた

つて、内村鑑三、宮部金吾らを含む

学生達に、「Boys be ambitious!」

(少年達よ、大志を抱け)と叫んだといわれているが、実際には篤信のクリスチヤンであつたクラーク博士が叫んだ言葉は Boys be ambi-

tious of the things of Christ! (少年

達よ、キリストの事についてうんと勉強せよ)であった。このことを總

会後の大夕食会で林寺君に話したものが、ながら同君は北大でサン

スクリットを学んでいると言つてい

たようと思う。そうすると古代イン

ド哲学を専攻しているのだろうか)

来年も是非総会に参加したいと思つておりますが、まだ学生ですので、

経済的にそれほど簡単に東京へゆく

ことができるわけではありません。

つい東京近辺にお住まいの方々のこと

が羨ましくなってしまいます。しかし順縁、逆縁という言葉がありますように、地方にいるという逆縁も

何らかの意味で順縁になると考えて

何事もプラス思考でやってゆきたい

と思います。今後とも御指導を宣し

くお願い致します。

### 感動のヨーロッパ誌|三|印

愛知県 宮崎雅子

ヨーロン誌|三|号をお送りいたしました。ありがとうございます。巷間に氾濫するUFO情報についても、クラーク博士の言葉と同様のことが言えるのかも知りませ

ん。

(久保田注) ウィリアム・S・クラーク博士はアメリカのマサチューセツ農科大学学長であつたとき、一

年の休暇を得て来日し、北大前身の

札幌農学校で一年間教えた。一八七年(明治十年)学校を去るにあた

つて、内村鑑三、宮部金吾らを含む

学生達に、「Boys be ambitious!

(少年達よ、大志を抱け)と叫んだといわれているが、実際には篤信のクリスチヤンであつたクラーク博士が叫んだ言葉は Boys be ambi-

て何らかの影響なども大きいのでは

ないかと思います。

本当にすべてがひとつなのだと

うことが体感できれば、すべてがわ

かるのでしょうか。

また九月二三日のGAP総会も

大成功に終了されました。おめで

とうございました。次号の秋山氏の講

演記事など楽しみにさせていただき

ます。毎日お忙しい日々をお過ごし

のことだと思いますが、どうかますま

すお元気にて、よろしくお願ひ申し

上げます。

### 素晴らしい東京日例セミナー

東京 早川真智子

今年のお正月。何か本を読みたいな

あと図書館へ行き、五冊借りてきた

うちの一冊が『デレバシー開発法』

(文久書林出版のものでした)だった

のです。(編注)これは現在、中央

アート出版社より新アダムスキーワーク全

集第二巻『超能力開発法』という題

で出ている)。「私が求めていたも

のが書いてある。嬉しい!」

それから他の全集もすべて借りて

きて読破。大事な部分はすべてノー

トに書き写し、その部分を今度はワ

ープロに打つて親しい友達に送る毎

日が続きました(今でも続きます

が)。

たぶん書店に行けば売っているか

もしれない、新宿の紀伊国屋へ行

きましたら、やはり新アダムスキーワーク

全集というかたちで売っていました。

## GAPについて良かつた

東京 岩本 悟

それをすべて買ひ込み、毎日毎日、読む、書く、実践する（これがなかなかできないのですが）の繰り返しが今も続いているという次第です。先月の東京月例セミナーには初めて出席させて頂きました。私がそこでの会場で味わった思いというのは、「やすらぎ、暖かさ」、これにつきます。普通、初めての会などに出席しますと緊張したりドキドキしたりするのですが、それが全くなく、私はちょうどお腹の中にいる赤ちゃんのよう、ゆったり、のんびりすることがでてきて、自分自身でも驚いたぐらいです。

そのとき、どこがこれまでの勉強会と違うのだろうと、自分なりに考えてみたのですが、一つわかったことは、会員の方達に意識の高い方が多く、人に比べるといったものがないうことです。よく宗教の勉強会などに行きますと、表面はとても素晴らしいことを述べているのです。が、腹の中ではそれとは裏腹ということが多く感じられ、嫌な気分になつて帰つてきたことを覚えています。今思うとまだまだエゴが取れていなかつた人が多かつたせいだらうなあと思うのですが、その違いに驚かされたという次第です。

ただ逆に考えますと、私が以前に行っていた宗教団体のレベルは、当時の私が意識が低かつたまでのことで、アダムスキーの宇宙哲学を学び、実践してゆくなかで少しずつ変わっていったのかかもしれません。

これを「濃度」が等しいと言います。濃度を基準として、さまざまなもの

読む、書く、実践する（これがなかなかできないのですが）の繰り返しが今も続いているという次第です。先月の東京月例セミナーには初めて出席させて頂きました。私がそこでの会場で味わった思いというのは、「やすらぎ、暖かさ」、これにつきます。普通、初めての会などに出席しますと緊張したりドキドキしたりするのですが、それが全くなく、私はちょうどお腹の中にいる赤ちゃんのよう、ゆったり、のんびりすることがでてきて、自分自身でも驚いたぐらいです。

そのとき、どこがこれまでの勉強会と違うのだろうと、自分なりに考えてみたのですが、一つわかったことは、会員の方達に意識の高い方が多く、人に比べるといったものがないうことです。よく宗教の勉強会などに行きますと、表面はとても素晴らしいことを述べているのです。が、腹の中ではそれとは裏腹ということが多く感じられ、嫌な気分になつて帰つてきたことを覚えています。今思うとまだまだエゴが取れていなかつた人が多かつたせいだらうなあと思うのですが、その違いに驚かされたという次第です。

ただ逆に考えますと、私が以前に行っていた宗教団体のレベルは、当時の私が意識が低かつたまでのことで、アダムスキーの宇宙哲学を学び、実践してゆくなかで少しずつ変わっていったのかかもしれません。

これを「濃度」が等しいと言います。濃度を基準として、さまざまなもの

集合を数え始めました。

久保田先生におかれましては、ます御健勝の事と存じます。私も振り返つてみますと人生の半分をGAPで過ごさせて頂きまして、年月の経過の早い事を感じます。

考えてみると、GAPに出会わなかつたら、変な宗教に走つていたかもしれません、その事を考へると、宗教ではないGAPに出会えて良かったと思います。先生やGAPの方達に多大の恩恵を感じており、感謝しております。

来年はその恩に報いる為にも、新世纪を創る若い人達の為に何かできる事を行なつてゆきたいと思つています。

## 超常現象を科学する

東京 浜田敏博

1 無限を数える驚き

数を数えるということはどういうことでしょうか。私達は通常、自然数を1、2、3と数えるのですが、ドイツの数学者カントールは、この数えるという行為の本質を見抜き、その仕組みを無限を数えることに適用しました。

基本に立ち返つてみると、数えるということは、自然数を数える対象となる集合の要素に「一对一」の対応をさせることです。

この場合、外からの力を受けなければ、この二つの物体の運動量の総和は変わりません。たとえば、二つの物体が静止していたとして、一方の物体はいつまでも静止しているのに、他方の物体だけが動き始める。というような奇妙なことは起こり得ないと考えられます。これを運動量保存の法則、または作用・反作用の法則と言います。

この法則はニュートンの時代から、別無限集合について「一对一」の対応を調べると、互いに無限である集合の大小を比べることができます。一对一の対応がつく二つの集合は互いに等なのですが、数学ではこれを「濃度」と言います。

この法則は、アインシュタインのものですが、アインシュタインの相対性理論が発見され、ニュートン力学が古典物理学として相対論の中に取り込まれた現代においても、依然と物理学の基本原理として存立

たとえば、自然数全体の集合の濃度は、整数全体の集合の濃度に等しく、また有理数全体の集合の濃度にも等しいことを示しました。

また彼は、直線上の点全体の濃度と平面上の点全体の濃度、さらには空間に含まれる点全体の濃度とが互に等しいことを証明しました。直線は一次元、平面は二次元、空間は三次元と、互いに次元が異なるにもかかわらずです。

カントールはこの発見の驚きを、「見れども、信じるあたわざ」といふ言葉で表現しています。

視点を転じてUFO問題を考えますと、現在、多くの物理学者の方々はUFOの存在を否定していますが、もし、彼らの目の前にUFOが現われたならば、カントールの場合と同じ感歎の驚きを表わすことになるのでしょうか。

2 気功のパワー

一般に二つの物体が互いに力を及ぼし合う場合、外からの力を受けなければ、この二つの物体の運動量のパワーハ三次元的でないエネルギーだという視点でみると、あり得ない現象ではないと思われます。

現代科学の先端を担う一分野として位置づけられる量子論の世界においても、奇妙なものとしてワームホールの存在が考えられましたが、それは大変微小なものだとされました。そこでは時間間隔がプランク時間(一〇のマイナス四乗秒)より短くなるとエネルギーのゆらぎが生じ、それが時空の構造を変化させる要因になると考えられましたが、このレベルでのワームホールはプランク長(一〇のマイナス三乘センチ)の長さを持ち、プランク時間のスケールで瞬時に生まれては消えていくことがあります。

ここまででもプランク長、プランク時間の世界では同じ時空の別の地点へテレポーテーションするのかのような事が可能になると考へられますが、さらにペアノ曲線のように有限の極限状態を考える数学を用いれば、実物の大の大きさのUFOが通れるような実用的なワームホールの存在も考へられるようになり、UFOの瞬間移動なども現実的な科学の問題として扱われるようになると思いま

す。この結論が私達の常識では考えられないことは、例えば1メートルの伸び縮みする細いヒモをもつてきて、

# George Adamski 新アダムスキー全集

ジョージ・アダムスキー=著／久保田八郎=訳

全面改訂・改訳／全10巻／各 四六判



超絶した文明を持つ、太陽系の他の惑星群の人々とコンタクトしたアダムスキーを米政府機関は確かにマークしていた！UFOや惑星群の驚異的実態と深遠な宇宙思想を伝える本全集は、地球人類に宇宙的覚醒の必要性と真の生き方を示す永遠の古典。UFOと宇宙哲学の研究者にとって必読の名著。旧全集を全面改訂した最新決定版。世界に類書なき金字塔！

## ① 第2惑星からの地球訪問者 ●352頁●定価=1,980円

UFO研究家として世界的に著名なジョージ・アダムスキーの、1952年11月20日、米カリフォルニア州の砂漠に着陸した円盤から出てきた金星人との会見から始まる驚異的なコンタクト実録。著者自ら円盤や母船に乗り込み、他の惑星の超絶的大文明の実態を明かにする、本全集の中心の書。写真多数収録。

## ② 超能力開発法 (テレパシー、遠隔透視その他) ●192頁●定価=1,300円

世間に氾濫する通俗的な超能力開発法とは根本から異なる宇宙的能力の発現法を説いたもの。目、耳、鼻、口、の四官をコントロールして、肉体内部の宇宙の意識から来るメッセージを感じ、真の意味でのテレパシー、遠隔透視その他の超能力を身につける方法を具体的に詳述。類書皆無の重要文献。

## ③ 21世紀/生命の科学 ●208頁●定価=1,300円

アダムスキーが他界する前年に出了した12冊分の講座を一冊にまとめたもの。アダムスキー宇宙哲学の総括的な一大金字塔。特に人体細胞の実態と真実のテレパシー、及び霊界通信の誤り等を科学的に解説した超能力開発指導書。心靈現象への接近を警告する画期的な理論を明快に説く、第5巻の統編として必読のテキスト。

## ④ UFO問答100 ●216頁●定価=1,300円

1958年にアダムスキーは、世界中から来る質問の洪水を分類して質疑応答集を出した。全部で100問のUFO関係の質問に懇切な回答を与えている。現在の混迷した世界のUFO研究界に的確な示唆と回答を示すものとして、内容は今も驚くほど新鮮で有用である。UFO研究者の素晴らしいガイドブック。

## ⑤ 金星・土星探訪記 ●380頁●定価=2,400円

アダムスキーが大母船に乗せられて、想像を絶する進歩をとげた金星と木星を訪れた体験記。特に金星人の少女として生まれかわった亡き妻メリーラーとの劇的な対面が圧巻。第2部には1958年以来、日本におけるアダムスキーの代理人として啓蒙活動に専念している久保田八郎宛の多数の書簡を収録。

## ⑥ UFOの謎 ●262頁●定価=1,980円

UFOの推進原理をはじめ、聖書とUFOとの関連などを詳述して様々なミステリーを解明した重要な文献。第2部はアダムスキーの世界講演旅行記で、各国GAP網の活動状況が克明に描寫されていて1960年代のUFO研究界の実情と一般人の宇宙観がよく理解できる。第1巻の統編。

## ⑦ 21世紀の宇宙哲学 ●148頁●定価=1,030円

地球人が真に宇宙的な成長をとげるための基本的思想として、マインド（心）と肉体内部に宿る宇宙の意識との一体化を説いた書。既成のあらゆる宗教や哲学では理解し得なかつた人間の意識と万物との関係を説いて21世紀の思想を先取りした。第5巻、6巻と合わせてアダムスキー哲学の三部作をなす。

## ⑧ UFO・人間・宇宙 ●370頁●定価=2,400円

アダムスキー支持活動団体として世界のトップクラスをゆく日本GAPの機関誌に掲載された、アダムスキーのUFOと宇宙哲学関係の論文、講演録等を編集。他界する直前の最後の講演が圧巻。第2部には訳者・久保田八郎が再三渡米してアダムスキーの今は亡き高弟たちと接したインタビュー記事を収録。

## ⑨ UFOの真相 ●320頁●定価=1,980円

アダムスキーの薫陶を受けた人達の論説・講演録等を収録。宇宙的実像と人間味豊かな庶民性をあわせもつ偉人の素顔を多角的に描写。アダムスキー氏の高弟アリス・ボマロイ、キース・フリットクロフト、ハンス・ビーターセン、金星文字を解説して画期的な永久モーターを開発したバジル・バン・デン・バーグらの証言が白眉。「サンビエトロ大寺院の異星人」と題する久保田八郎の体験記も興味深い。

## ⑩ 超人ジョージ・アダムスキー ●232頁●定価=1,300円

膨大な新アダムスキー全集の最後をしめくくる完結篇。アダムスキーの宇宙的な活動と深遠な哲学を集約して伝えるとともに、彼の伝記をも加えてこの巨人の人間像を克明に描写。これ一冊でアダムスキー問題の何たるかが理解できる全集のコンパクト版。豊富な写真入り。国際的なアダムスキー研究家・久保田八郎が書き下ろし執筆。

## 別巻 UFO-宇宙からの完全な証拠 ●480頁●定価=2,800円

ダニエル・ロス=著／久保田八郎=訳

アメリカの気鋭UFO研究家ダニエル・ロス氏が全力で展開したUFO問題の真相。月・惑星探査結果に関するNASA（米航空宇宙局）の隠蔽工作を暴露し、アダムスキーの体験の真实性を科学的に実証した画期的な内容の本書は、UFOの研究者のみならず、宇宙科学に关心ある人にきわめて有益な知識情報の源泉となる。写真多数掲載。



中央アート出版社

〒104 東京都中央区京橋3-7-13

TEL=03-3561-7017／郵便振替=00180-5-66324

\*新アダムスキー全集全巻をまとめてご注文頂きますと定価の10%引き+送料がサービスとなります。

\*定価は、全て税込みです。

# UFOと宇宙哲学の行方(ゆくえ)

●久保田八郎著 定価1650円 送料310円 四六判・288頁

本書はわが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が「UFO contactee」に長年にわたって掲載してきた記事や講演から選りすぐって編纂したもので、UFO問題とアダムスキー哲学に関する著者の研究の集大成ともいえる内容になっています。2部構成になっている本書は、まず第1部でUFOと異星人に関する様々な問題について著者の見解を示し、続いて第2部では、アダムスキー哲学を人生に生かしたり、難病の治療に応用する実践法を明らかにしていきます。UFOを研究する人のガイドブックとしても最適の書です。



# UFOと異星人の真相

●久保田八郎著 定価1650円 送料310円

四六判・256頁



UFO研究の第一人者・久保田八郎が書き下ろした本書は、別な惑星へ行ってきた青年の驚異の体験をもとにUFOの内部の様子や作動原理、異星人の文明の実態等を明らかにしていきます。加えて超能力等の問題や、氾濫するUFO関連情報の真偽にも迫るUFOを研究する人の必携の書です。

※上記の書籍は日本GAPでも取扱います。著者の署名捺印入り。

ハガキでご注文下されば代金後払いで直送します。

# UFO・遭遇と真実—日本編—

●久保田八郎著 定価1500円 送料310円

四六判 · 264頁



日本で発生した驚異的なUFO事件を8件選び、わが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が書き下ろして読みやすく編纂した本書は、実証主義をつらぬく著者が徹底的に調査した結果、真実そのものであると確認した事件のみを流麗な筆致で活写。読者を大気圏外の世界へ誘います。

CAP

中央アート出版社

〒104 東京都中央区京橋3-7-13

TEL=03-3561-7017／郵便振替=00180-5-66324

英文版「UFO contactee」No.11

日本GAP発行英文版「UFO contactee」誌は、たんなる興味本位や獣奇趣味を排した理想主義的なUFO専門誌として、世界のUFO研究団体や個人研究家から絶賛をあびています。多数のUFO専門誌はオバケ宇宙人、誘拐事件、その他恐怖心をあおるような記事に終始していますが、日本GAPは日本語版、英文版とも地球上の未来に大いなる希望をもち、人間の無限の可能性を引き出すための指針に満ちた記事を満載しています。英文版第11号には1994年度総会におけるミシェル・ジルガー氏の英語講演の全文を主体に、きわめて有益な記事と写真を流麗な英文で掲載。ご注文は代金後払い式結構です。

A small, stylized illustration of a flowering plant or tree branch with dense foliage and small flowers, positioned at the top right of the page.

日本GAP専門誌、季刊  
UFO contactee  
編集発行人 久保田 八郎  
発行所 日本P.A.P.  
〒107 東京都江戸川区本一色1-12-1  
電話 03-33651095  
振替 00140-2-35912  
定価九十七円(本体九十九円)・送料二十四円  
※ 本誌掲載の記事は、官能小説、他の印刷物  
への無断引用、転載を禁じます。

CLUB「宇宙哲学研究会」(FCF)写真、超能大解説、発体験、宇宙哲学研究実践体験、宇宙哲学の原稿や資料を募集しています。ふるうってこ応募下さい。掲載分には薄謝を呈します。■本書は多數のボランティアにより活動の主書店に直販で販売されています。この活動に参加希望の方はハガキでお申し込み下さい。説明書をお送りします。

●アリスト・ボマロイ女史はアダムスキーザの晩年に最後まで師事した貴重な証人です。この方の記事「アダムスキーザの思い出と彼の宇宙哲学」ですが、「一時間の講演では彼女の想いだけの百分の一も吐露してはいない」と思われるまでの迫真的証言です。いずれ女史を取材して決定的なアダムスキーザ像を伝えるつもりです。

●本号は長文の記事を三本、重点的に掲載しました。いずれも重要な内容を含む極めて興味深い佳篇で意義深いものです。

秋山氏の講演をあらためて文章で読んでみると、氏の講演度をあらためて迫力に驚嘆のほどあります。反復熟読するたびに人間の宇宙的な生き方に目覚めさせられて、大いなる希望と勇気が湧いてきます。

「エイエスの時代を透視する」も興味満点。それにしてお藤代氏の透視の超能力には魅せられます。本来はオーラ透視の大家ですが、過去世透視もいたしましたのです。日本GAP会員には超能力者が多いのですが、アダムスキーリーも大変な超能力者であった事実を考えますし、この能力は宇宙的な人々に昇華するための手段であるからこそ想つべき

編集後記

23

# 日本GAP全国月例セミナー案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※今年5月のみは第2日曜日の12日に変更。会場も6階67号室に臨時変更。 ※日本GAP会員でなくても入場可能。	港区芝公園3丁目5-8 「機械振興会館」地下3F第2研究室。 ☎03-3434-8216。JR浜松町駅下車。東京タワーの正面前。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-3651-0958  ※日曜日は正面玄関が閉じられているので、右へ回って建物の右側の入口から入る。	会 場 費 ¥1000 セミナー受講料 ¥1500 計¥2500	1:00→1:30 会員による講演。 1:30→3:00 久保田会長による講義。 テキスト=「生命の科学」 3:10→5:00 超能力開発練習／近況報告／質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-411-2367	¥500	東京月例セミナーにおける久保田会長の講義のビデオまたは録音テープを公開。テキストは上記と同じ。
新潟支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	新潟市東万代町9「新潟市青年の家」(万代市民会館と同じ建物) ☎025-246-7711。JR新潟駅より徒歩5分。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141㈹。JR東海・名鉄・地下鉄の金山駅より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同上
仙台支部	毎月第3日曜日 午後1:10→4:20 ※当分の間、セミナーは中止。	連絡先=笠原弘可 ☎022-284-2910	¥300	同上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※日時は変更があるため、毎月事前に柴田宛電話で問い合わせること。	山形県天童市老野森1丁目1-1 「天童市中央公民館」 ☎0236-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥500	同上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時と会場は不定につき、事前に高野宛問い合わせること。	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821 連絡先=高野省志 ☎011-783-6393	¥500	同上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市五条4丁目「旭川ときわ市民ホール」3F 302研修室 ☎0166-23-5577 連絡先=川上三秀 ☎166-61-0044	¥500	同上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→4:30	宜野湾市嘉数1-6-5早川宅 ☎098-890-1324 連絡先=里 孝人 ☎098-869-9964	¥500	同上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2 「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377 連絡先=伊藤正治 ☎0188-52-2831	¥500	同上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	横浜市中区万代町2-4-7 「横浜市技能文化会館」 ☎045-681-6511。JR関内駅、地下鉄伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎03-5951-3518	¥500	同上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:20→5:00	水戸市梅香1-2 「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番地「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1233 連絡先=博田文喜 ☎0264-24-3012	¥500	同上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※日時については事前に松口に問い合わせること。	和歌山県新宮市春日1番35号 「新宮地域職業訓練センター」工業コーナー ☎0735-23-0005 JR新宮駅下車、徒歩5分、新宮市役所隣。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0384	¥300	同上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市市役所裏「御殿山会館」1F 小会議室。 ☎0289-64-4334。JR鹿沼駅から西へ1.5km。東武新鹿沼駅から北へ1.5km、市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同上
南九州支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	鹿児島市与次郎2-3-1 「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111 連絡先=曾我部勇人 ☎0992-53-2315	¥500	同上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:30→4:30 ※日時は変更があるため事前に電話。	香川県坂出市寿町1-3-5 「坂出勤労福祉センター」 ☎0877-46-2463。JR坂出駅より徒歩10分。 連絡先=関 高明 ☎0875-72-2698	¥500	同上
伊豆支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時に変更があるため事前に高梨宛電話。	静岡県三島市一番町20-5 「三島市民文化会館」第3会議室。 ☎0559-76-4455。三島駅より徒歩3分。 連絡先=高梨十光 ☎0558-72-7832	¥500	同上
福山支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:00 ※日時は変更があるため事前に電話。	広島県福山市丸の内1-3 「びんご荘」 ☎0849-25-3977。福山駅から徒歩3分。 連絡先=森田(なつめだ) 雅則 ☎0847-52-6306	¥500	同上



## オーソン肖像写真

1952年11月20日、アダムスキーが米カリフォルニア州のデザートセンターで会見した金星人を、目撃者の一人アリス・ウェルズ女史が双眼鏡で観察しながら描いたスケッチをもとにして女流画家ゲイ・ベツツが油絵に仕上げた絵画の写真。10.5cm×17cm(不許複製転載)

¥1,000 送料¥130



## 金星のシンボルマーク

中央の眼は万物を見透す宇宙の意識、つまり人体を生かす生命パワーと叡知をあらわし、周囲の4層の放射状ゾーンは人間のマインド(心)の発達状態をあらわしています。人間のマインド(心)は眼・耳・鼻・口の四つから形成されるので4層になっているのです。

¥500 送料¥80



## ESPカード(超能力開発用)

テレパシー、遠隔透視等の能力開発用としてアメリカのデューク大学で開発されたカード。5種類の図形カードが各5枚ずつあり、計25枚のセット。堅牢な厚紙製。重さ40g、5.7cm×8.9cm。携帯に便利なポケット用。どこでも気軽に練習できます。使用説明書付き。

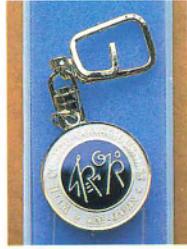
¥1,500 送料¥130 (2~5個)¥190



## テレフォンカード

日本GAP特製テレフォンカードの第7弾。1951年3月15日、午前10時30分、アダムスキーがパロマ山で6インチ反射望遠鏡を使用して連続4枚撮影した金星の母船の4枚目です。母船から6機のスカウトシップ(円盤)が発射されているのが見えます。

¥1,500 送料10枚まで¥80



## GAPキー ホルダー

日本GAPがデザインして製作したオリジナル・キー ホルダー。シンボルマークの周囲を「WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識とともに)」の金文字が取り巻く優雅なデザイン。円形部分は直径3.2cm。鎖とも全長9cm。非常に堅牢に出来ています。

¥1,900 送料130



## 会員バッジ

金星のシンボルマークが金色に輝く優雅なデザイン。表面の透明樹脂がキズを防ぎ、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏の留め金が心棒ネジ留め式。女性用は安全ピン式。ご注文の際は、いずれかを明記して下さい。実物の直径は1.7cm。

¥2,000 送料4個まで130



## ブックカヴァー

主として新アダムスキー全集用に作られたカヴァーですが、同じ大きさの四六判の書籍ならどれにも使用できます。表側の中央にシンボルマークと「宇宙の意識とともに」を意味する英文が金色で箔押しされた濃紺色の優美なデザインです。人造皮革製。

¥1,200 送料¥190 5枚まで¥270



## GAPシール

シンボルマークを「宇宙の意識とともに」の英文が取り巻く優雅なデザインのシールです。カバンその他の持ち物に最適。

1枚に大小5個1組 ¥200 送料10枚まで¥80



## 新アダムスキー全集

訳・著者 久保田八郎の署名捺印入り

中央アート出版社刊「新アダムスキー全集」を日本GAPでも取り扱っています。各巻とも扉に久保田八郎の署名と捺印を入れてお届けします。詳細については本誌の広告を参照して下さい。全巻注文の際の定価割引はありません。送料は1冊310、7冊まで¥660、10冊まで¥900。ハガキでご注文下されば代金後払いでお届け致します。

**申込先** 上記各商品のご注文の際は住所、氏名、品名、個数、電話番号をご記入の上、郵便振替が現金書留でご注文下さい。代金後払いも承ります。その場合はハガキに上記のとおりにご記入の上お送り下さい。商品の中に郵便振替用紙を同封しておきまますから、現品当着後、最寄り郵便局からご送金下さい。消費税は無関係です。



## 日本GAP能力開発力セット テープ

### ★日本GAP東京本部月例セミナー

毎年開催される日本GAP東京本部月例セミナーが、久保田会長の「超能力開発法」解説講義と質疑応答その他を録音したテープ。これを聴けば絶大な信頼と勇気がわきあがり、あらゆる障害を超えて成功に到達できます。

#### ●テープ① ¥1500

(内容) 久保田会長による新アダムスキー全集第2巻「超能力開発法」の講義。近況報告。

#### ●テープ② ¥1200

(内容) 会員による講演、超能力開発練習、質疑応答。

#### ●1995年度日本GAP総会 2巻セット ¥2700

(内容) 超能力者、秋山眞人博士の「別なる惑星の文明と創造性」を題する素晴らしい講演と質疑応答。※総会でのパネルディスカッションあり、往復ハガキでお問い合わせください。送料=4~6本 ¥190、2~3本 ¥270、4~6本 ¥390。



## 日本GAPビデオ

臨場感溢れる画像があなたを会場に引き込み、宇宙的な一体感を起こします。全巻VHS。

### ●東京本部月例セミナー 全1巻 ¥3000

(内容) 久保田会長の解説講義、他、約120分。

### ●日本GAP総会 全2巻各¥3000

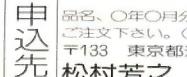
(内容) 毎年開催される日本GAP総会を完全収録。(1993年度分から在庫あり)。

### ●日本GAP海外研修旅行 全1巻 ¥3000

(内容) 旅行のハイライトをまとめた楽しいビデオ。(1993年度分から在庫あり)。

### ●米ワシントン市のアダムスキー大会における久保田会長の講演(英語) 全1巻 ¥3000

(内容) 1995年9月8日、久保田会長が英語で長時間講演しためざらしいビデオ。英語テキスト付き。日本語訳文は本誌11号に掲載。送料はビデオ1本¥390、2本以上3本まで¥700。



品名、〇年〇月分、個数、氏名、住所、電話番号をご明記の上、郵便振替でご注文下さい。(テープの代金後払いは不可)

〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202

松村芳之 振替 00100-2-162644 ☎03-3653-9387



ご注文の際は品名、〇年〇月分、上下巻の区別、個数、住所氏名、電話番号をご明記の上、郵便振替でご申込み下さい。(ビデオの代金後払いは不可)

〒162 東京都新宿区富久町36-18 富久マンション103

伊東芳和 振替 00140-8-13811 ☎03-3351-9526

